

令和4年度文部科学省委託事業  
専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト  
「福祉人材リスタート教育事業」

# 成果報告書

令和5年2月

学校法人大庭学園 沖縄福祉保育専門学校



# 目次

I 事業概要 .....	1
1 事業の趣旨・目的等について .....	1
2 就職氷河期世代を取り巻く現状 .....	1
3 課題とその解決策についての考察 .....	2
II 事業計画 .....	3
1 令和2年度 .....	3
2 令和3年度 .....	3
3 令和4年度 .....	4
III 事業実施体制 .....	5
1 福祉人材リスタート教育事業実施機関 .....	5
2 実施体制イメージ図 .....	6
IV 令和4年度事業成果.....	7
1 福祉人材確保に向けた市場アンケート調査結果 .....	8
2 福祉人材の継続的人材確保に向けた検証講座 .....	15
3 福祉リカレント短期講座.....	49
4 福祉リカレント短期講座を効果的・効率的に実施するための成果物 .....	93
5 福祉人材リスタート教育事業委員会 .....	94
V 令和5年度以降への展開.....	95
Appendix.....	96
1 福祉人材確保に向けた市場アンケート調査資料一式 .....	97
2 福祉人材の継続的人材確保に向けた検証講座関連資料 一式.....	102
3 福祉リカレント短期講座関連資料 一式.....	111
4 福祉人材リスタート教育事業委員会資料.....	150

# I 事業概要

## 1 事業の趣旨・目的等について

本学園は今年で創立 74 年目を迎え、服飾及び福祉人材養成を中心に教育活動を展開してまいりました。特に福祉に関しては幅広い分野で社会に貢献できる人材を輩出しており、12,000 名を超える多くの卒業生が福祉を支える人材として活躍しております。

沖縄県におきましても福祉を担う人材不足を課題としており、少子化に加え福祉職を目指す若い世代が減少し、保育士や介護福祉士の人材確保が年々厳しくなっている現状にあります。そこで、就職氷河期世代といわれる 30 代から 50 代の人たちに再度学ぶ機会を提供することで、福祉の仕事への興味と新たにチャレンジする勇気を与え、福祉人材の確保・充実に繋げていきたいと考えております。

また、就職氷河期世代には、保育士等の資格を取得しながらも経済的理由等(非正規雇用が多いため)により、保育士以外の業界に就職している潜在保育士も多く存在しています。10 年前に比べ県内の保育園・子ども園は正規雇用も増え給与水準も上昇しており現場復帰を望む声もありますが、転職が進まない背景には長年のブランクが不安材料となり行動に移せないことも考えられます。

加えて、社会から孤立しひきこもり状態となっている中高年は 30 代後半から 40 代半ばの年齢に差しかかっており、既に 80 代の親が 50 代の子どもの経済的に支える「8050 問題」という言葉もささやかれ始めました。そこで本事業では行政の協力の下、「学び直し」「体験実習」「就職・進学」の多目的な視点で課題に取り組みました。例えば、どのような状態の人でも学びやすくするため、座学、オンライン、e-Learning などで講座を実施し、業務に展開可能な実践的演習や多方面に応用可能な基盤的知識(理論)で構成する、短期習得を目的とした「福祉人材のリスタート教育事業のプログラム」を開発・検証し、福祉の人材不足解消に繋げていく予定です。

## 2 就職氷河期世代を取り巻く現状

就職氷河期世代の中には、希望する企業や業種または希望雇用環境(正規雇用希望が非正規雇用への就職等)へ就職ができず、不本意ながら不安定な仕事(非正規雇用等)に就いている人や無業の状態にある人が多くいるといわれています。こうした非正規雇用労働者は正規雇用労働者と比較して、能力開発機会に乏しいこと、職務の範囲が限られていること、それにより労働条件や賃金に格差が発生していることなどが問題視されています。また、昨今の少子高齢化などの影響もあり、中小企業を中心に人手不足感が広まっている一方で、企業は業績悪化により従業員を育成する力も不足しているため、即戦力を採用する傾向が強くなりました。しかし、不安定な就労を繰り返している就職氷河期世代は、企業に評価される職務経歴を積めていないことも考えられます。一方、福祉の現場では有資格者でありながら、施設の運営状況により非正規雇用が多く、正規雇用へ転換されずに将来に不安を抱えている人も多くいるといわれています。なお、労働法の改正により5年以上勤務し、かつ本人の希望がある場合は無期雇用への転換が義務付けられましたが、無期雇用となった場合でも賃金については据え置きの人が多いともいわれています。一般的には年齢を重ねること

により「学び」の機会も減っていくことが多く、たとえ有資格者であっても学び直しの機会は必要であると考えます。そして特に、就職活動の失敗などを機にひきこもり状態となった就職氷河期世代の中には、人間関係で悩み、他者とのコミュニケーションがうまく取れない人も多いのではないかと推察します。

### 3 課題とその解決策についての考察

就職氷河期世代の非正規雇用からの正規雇用転換だけではなく、同世代の有資格者等についても、同じように学び直しの機会を与えていくことも重要な課題と考えております。特に、社会復帰を望んでいても対人関係が不安材料となり、一歩踏み出すことができずにひきこもりが続いている人については、その実態やニーズを明らかにするとともに、必要な支援が届く体制を構築することを目指し、アウトリーチ等による積極的な情報把握に努めます。

なお、プログラムの開発に際しては、各フェーズで実施するアンケート調査やヒアリング調査の結果に基づき、本学園既存のカリキュラム(こども未来学科、ヒューマン介護福祉学科)のカスタマイズを行います。具体的なプログラムの検討は、福祉人材リスタート教育企画推進委員会のメンバーにて行います。当該委員会では、本学園教員のカリキュラム担当の知見を生かし、就職氷河期世代がリスタートするためにどのような科目が必要で、それをどのようにカスタマイズすべきか検討し開講科目を選定します。その上で、短期間で習得でき、業務に展開可能な実践的演習や多方面に応用可能な基盤的知識(理論)等の講義科目と就業体験(インターンシップ)等を組み合わせた、就職氷河期世代に向けた「福祉人材のリスタート教育事業のプログラム」を開発します。さらに、e-Learning等のICT技術を活用し、求職者や非正規雇用労働者などを含め、どのような状態の人でも受講しやすくするため、自宅からでも参考資料等を利用できるように電子図書館も設置いたしました。

さまざまなツールの活用を進め、事業を通して就職氷河期世代の福祉人材リスタート教育への提案を実施いたします。

## Ⅱ 事業計画

令和5年1月時点の事業計画書を一部抜粋して記載

### 【各年次計画】

#### 1 令和2年度

##### 1. 委員会の開催(1月)

- ①事業の目的と最新業界動向等情報共有
- ②課題と人材ニーズを整理
- ③氷河期世代の現状を体系的に整理
- ④次年度のスケジュール策定

##### 2. ヒアリング調査(2月～3月)

###### 【調査内容】

- ①福祉現場のニーズを調査
- 学生をインターンシップ等で派遣し、業務に展開可能な実践的演習の在り方を調査する

###### 【調査・分析】

- ①実態と課題を分析

###### 【県外視察】

- ①県外の福祉人材リカレント教育現状をヒアリング調査

##### 3. 報告と成果物(3月)

- ①調査分析報告書
- ②事業報告書
- ③Web サイトでの活動報告
- ④成果報告 PR 動画

#### 2 令和3年度

##### 1. アンケート・ヒアリング調査(8月～11月)

###### 【調査内容】

- ①福祉人材の継続的人材確保に向けたニーズアンケート調査(就職氷河期世代対象)

###### 【調査・分析】

- ①実態と課題を分析
- ②課題解決に向けたプログラムの開発

###### 【県外視察】(2回) 10月、11月

- ①県外の福祉人材リカレント教育に関する現状をヒアリング調査

##### 2. 委員会の開催(2回) (9月、11月実施)

- ①アンケート集計結果の報告
- ②講座内容の整理
- ③カリキュラム内容検討

##### 3. 就職氷河期世代向けプログラム

開発・実践・検証①(11月～2月予定)

- ①プログラムの開発
- スキル・能力を体系的に整理

- ②指導法及び評価手法の開発  
シラバス、コマシラバスの作成
- ③合同講座の開催(12月～2月)  
募集(チラシ、Web 制作等)  
合同講座運営、評価・次年度プログラム内容検討

#### 4. 報告と成果物(2月)

- ①プログラム(成果物一式)
- ②事業報告書
- ③Web サイトでの活動報告
- ④成果報告 PR 動画

### 3 令和4年度

#### 1. 委員会の開催(3回)

(7月、11月、2月予定)

- ①講座内容の整理
- ②プログラム見直し検討
- ③プログラム総合評価

#### 2. 就職氷河期世代向けプログラム

開発・実践・検証②(7月～2月)

- ①福祉人材確保に向けた市場アンケート調査  
より深い学びにするために、福祉業界のニーズに合った専門性を高める学び直しするための調査
- ②福祉人材の継続的人材確保に向けた検証講座  
令和4年度の課題を踏まえて再開発、シラバス・コマシラバスの見直しするための検証講座
- ③福祉リカレント短期講座の開催(1月)  
募集(チラシ、Web 動画等)  
短期講座運営、評価

#### 3. 報告と成果物(2月)

- ①プログラム(成果物一式)
- ②事業報告書
- ③成果報告 PR 動画

### Ⅲ 事業実施体制

本事業は、学校法人大庭学園が中心となって組織した実施委員会の管理・管轄の下、以下のような構成機関からの参画者により実施委員会を組織し、事業を推進してまいります。

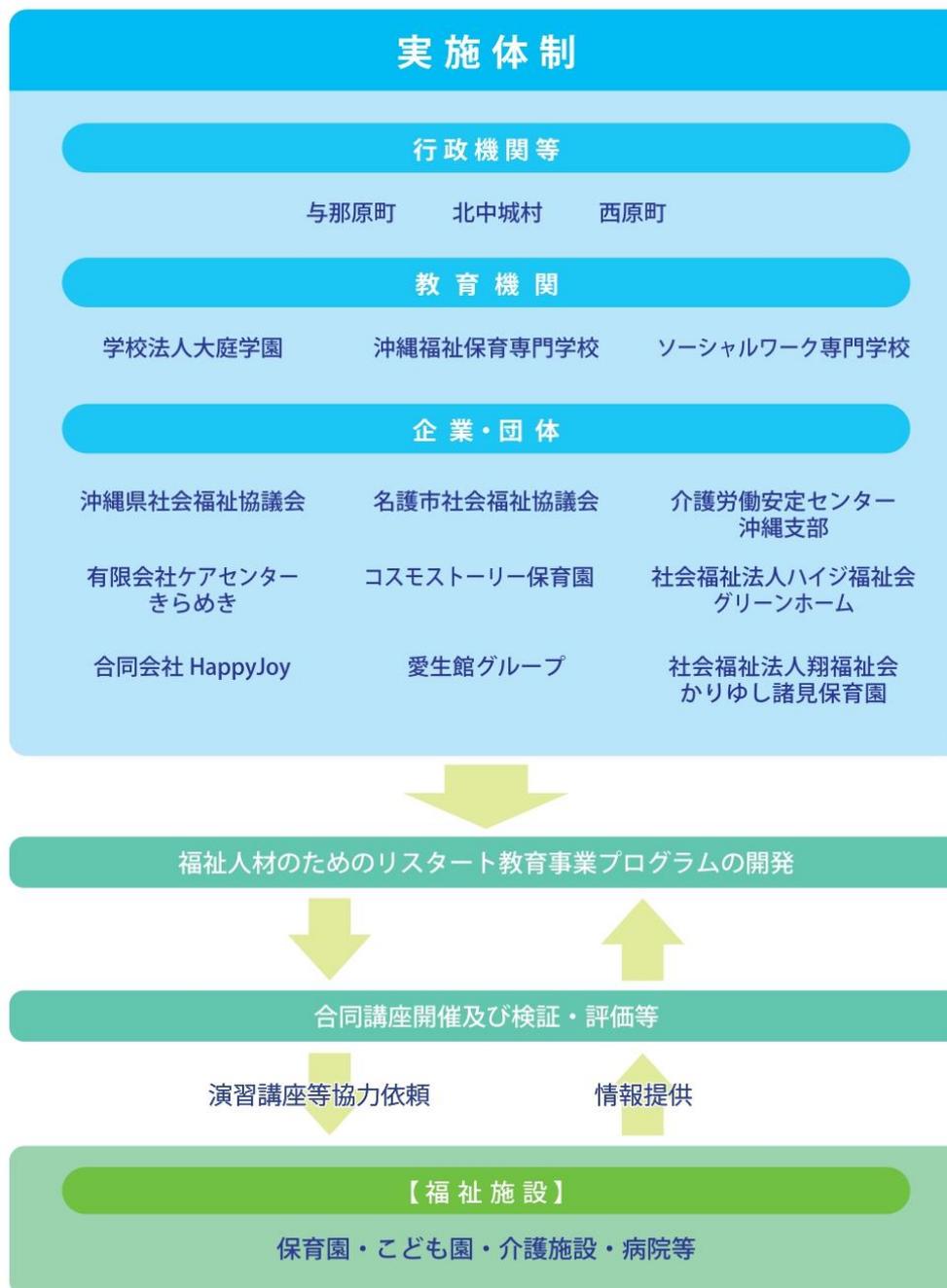
#### 1 福祉人材リスタート教育事業実施機関

	構成機関(学校・団体・機関等)の名称	役割等	都道府県名
1	学校法人大庭学園	事業統括	沖縄県
2	沖縄福祉保育専門学校	調査・開発	沖縄県
3	ソーシャルワーク専門学校	調査・開発	沖縄県
4	北中城村	調査等	沖縄県
5	与那原町	情報提供・開発	沖縄県
6	西原町(教育委員会)	情報提供・開発	沖縄県
7	沖縄県社会福祉協議会	情報提供・開発	沖縄県
8	名護市社会福祉協議会	情報提供・開発	沖縄県
9	介護労働安定センター 沖縄支部	情報提供・開発	沖縄県
10	有限会社ケアセンターきらめき	調査・開発	沖縄県
11	コスモストーリー保育園	調査・開発	沖縄県
12	社会福祉法人 ハイジ福祉会 グリーンホーム	調査・開発	沖縄県
13	合同会社 HappyJoy	調査・開発	沖縄県
14	愛生館グループ	調査・開発	愛知県
15	社会福祉法人翔福祉会 かりゆし諸見保育園	調査・開発	沖縄県

## 2 実施体制イメージ図

※構成機関を中心に福祉人材リスタート教育事業委員会を設置

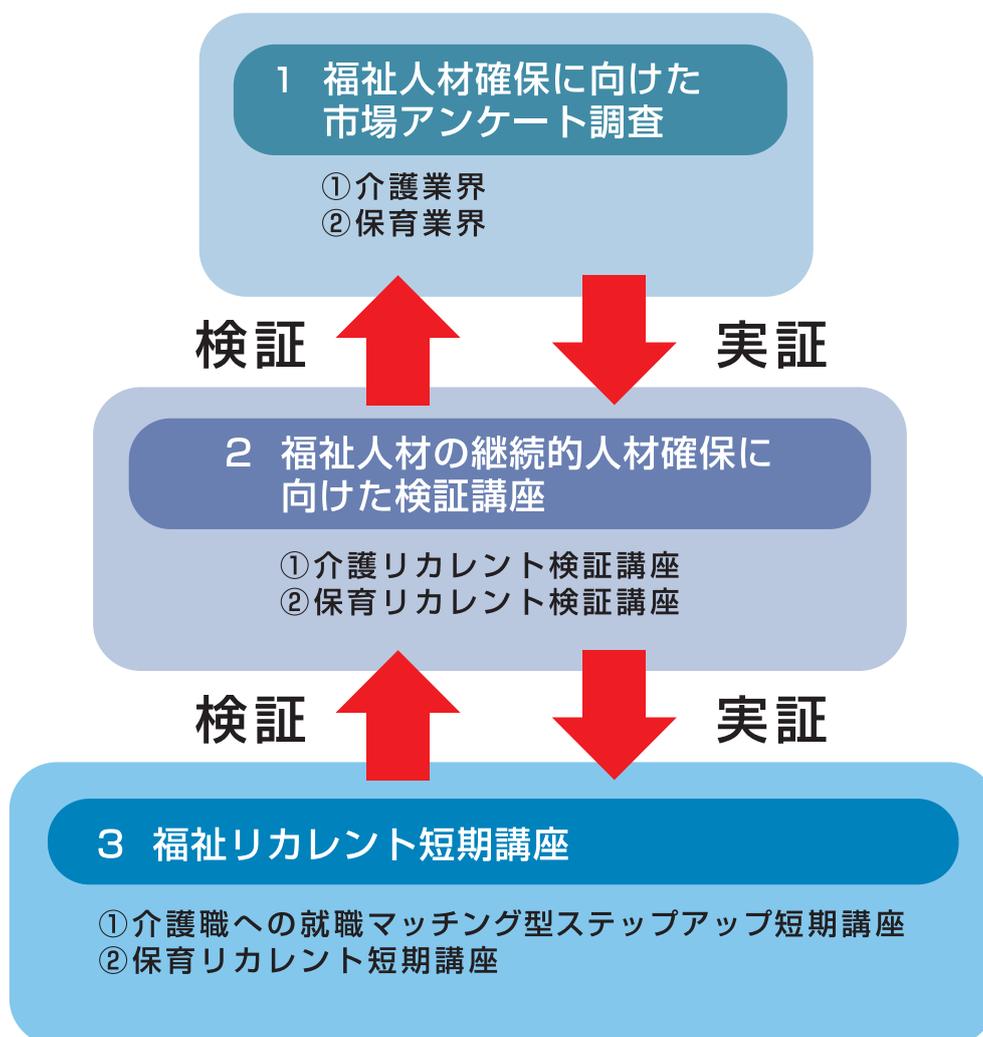
### 【福祉人材リスタート教育事業実施体制】



## IV 令和4年度事業成果

令和4年度の本事業では、「就職氷河期世代向けリカレント教育プログラム」の開発のため「福祉人材の継続的人材確保に向けた市場調査」を行い、調査を基に令和4年度版就職氷河期世代向けリカレント教育プログラムのカリキュラム及びシラバスを作成し、「福祉リカレント短期講座」の講座を実施・検証した。

各成果を以下詳説する。



## 1 福祉人材確保に向けた市場アンケート調査結果

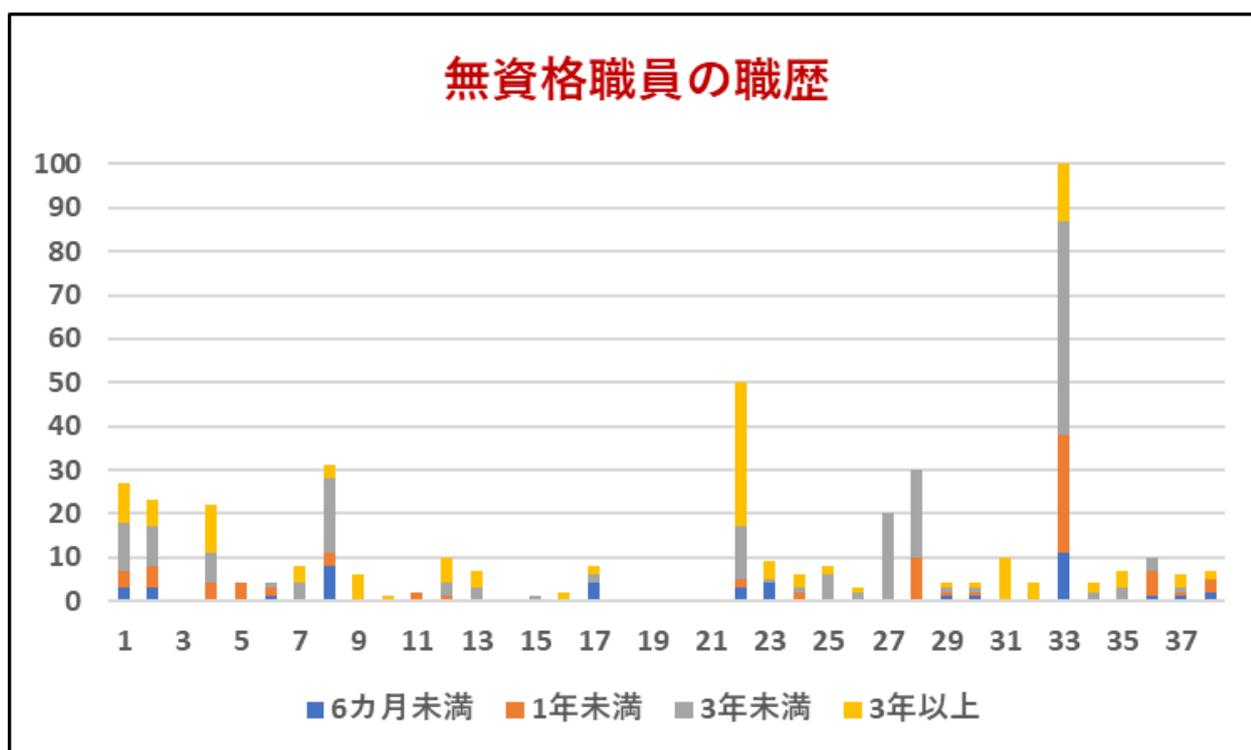
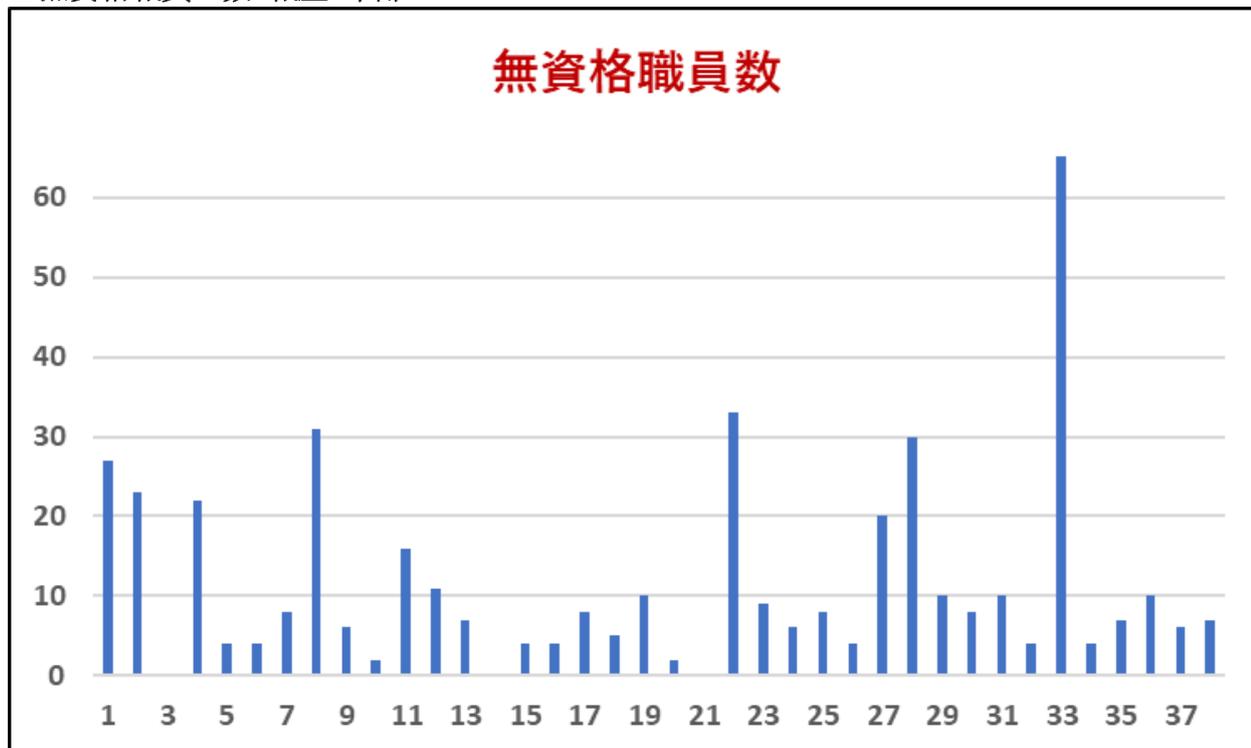
### 【① 介護福祉施設 市場調査結果】

調査方法: 沖縄県内介護福祉施設 91 カ所への FAX によるアンケート調査

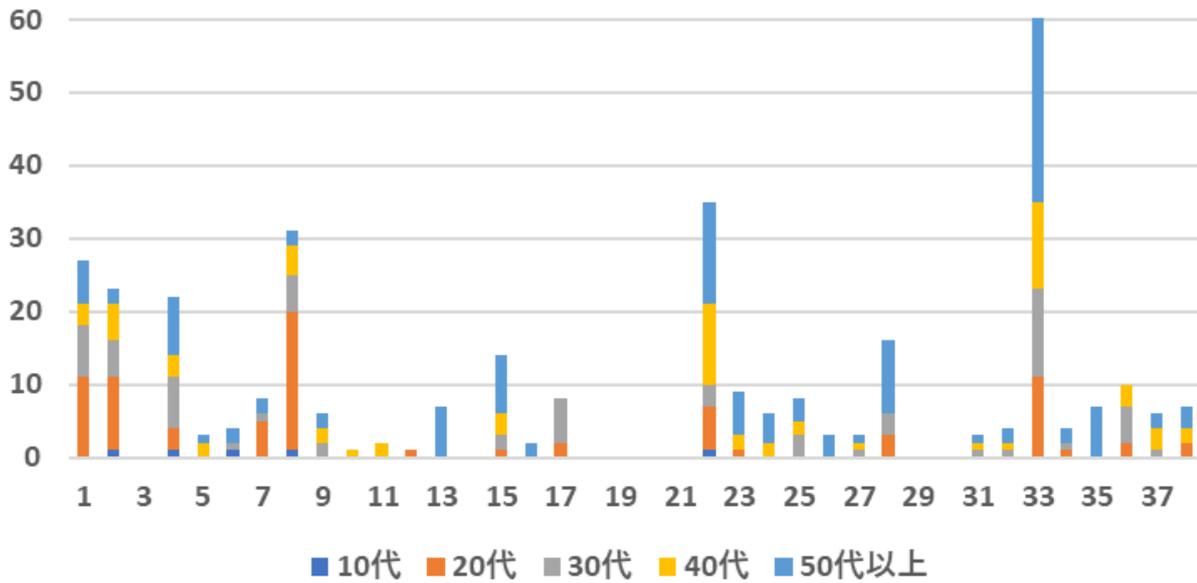
調査期間: 2022 年 7 月 15 日～8 月 4 日

回答数: 36 施設

#### ■ 無資格職員の数・職歴・年齢



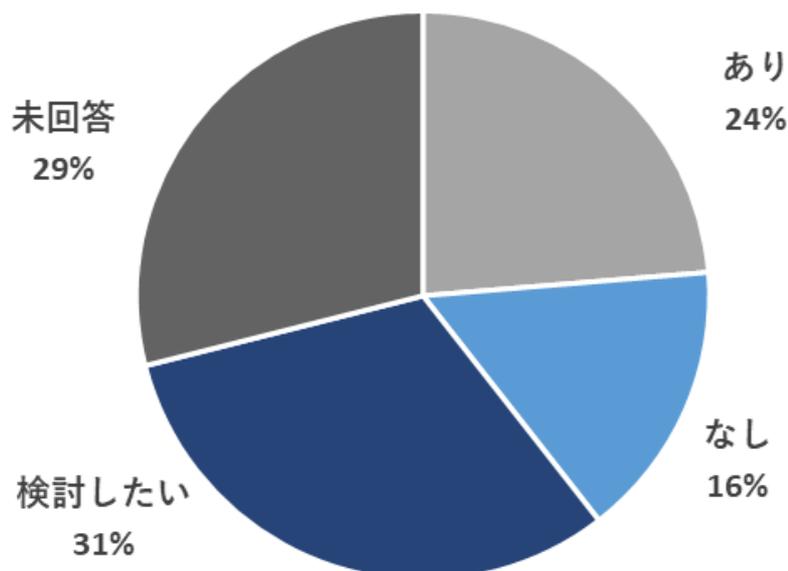
## 無資格職員の年齢と職員数



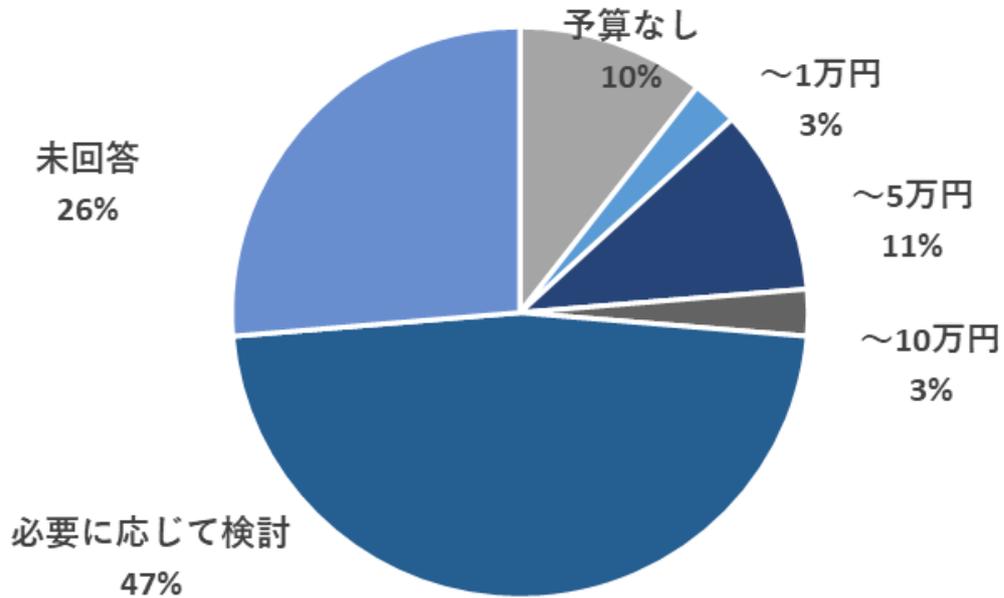
無資格で介護職に就いている職員は、多いところで66人抱えている施設があった。36施設中無資格者が0人の施設は3施設のみ。約92%の施設に無資格職員がおり、平均すると1施設あたり約11人。そのうち、職歴が3年以上、年齢が40代以上の職員も多く存在する。彼らの多くは非正規雇用のまま長く勤めているので、ぜひ資格取得を推進したい。今回の《介護リカレント検証講座》の参加条件に当てはまる職員は県内に多数存在することが確認できた。

## ■ 研修制度の有無と1人あたりの研修費の年間予算

### 資格取得やスキルアップの研修制度



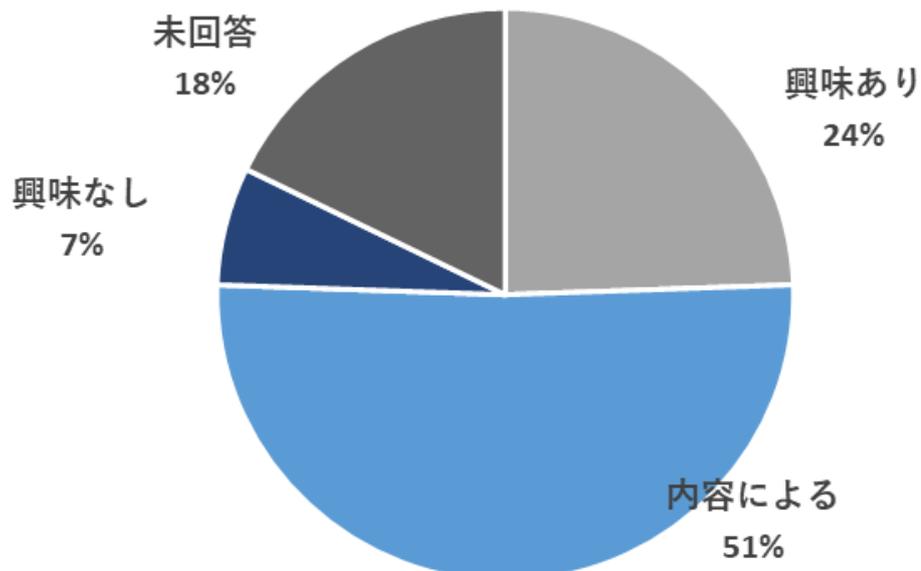
## 研修や講座の1人年間予算



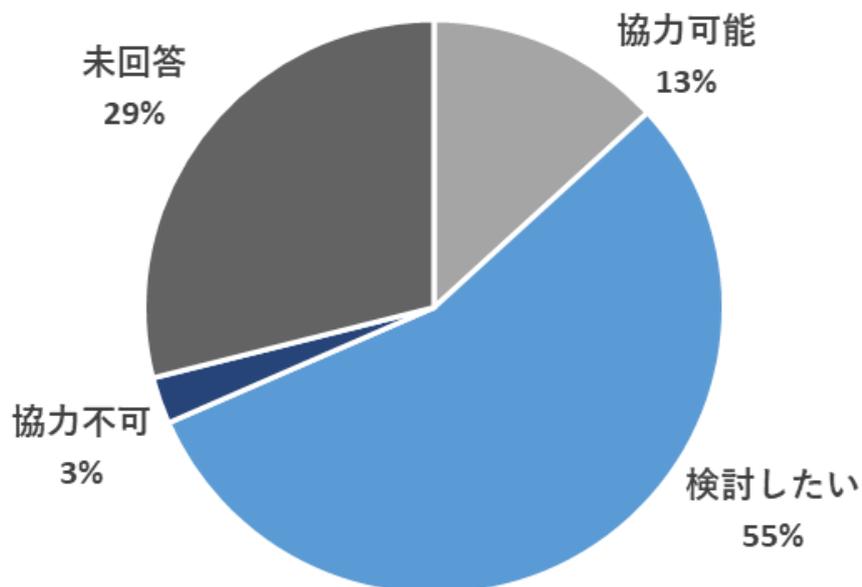
明確な研修制度があるのは24%の施設のみ。約47%の施設が現在研修制度を持たず、検討中もしくは必要に応じて対応していることが分かった。一人あたりの年間予算もほとんど確保されておらず、必要に応じてその都度判断している状況。研修制度なし、研修予算なしの施設もそれぞれ10~16%ほど存在する。施設内で対応できない状況を見ると、外部で行う研修や講座にはニーズがあると思われる。

### ■介護リカレント検証講座・インターシップ受け入れの興味

## 介護リカレント検証講座への興味



## インターシップ受け入れ協力



《介護リカレント検証講座》に明確に興味を示しているのは約 24%の施設だが、半数以上は「内容による」と様子を伺っている。インターシップ受け入れ先としても明確に「協力可能」としているのは約 15%の施設だが、半数以上は「検討したい」と前向きな回答であった。まだ検証段階の講座なので施設側も判断できない点もあると思うが《介護リカレント検証講座》の実績が積み上がれば、70%以上の施設が講座の受講やインターシップ受け入れに協力してくれる可能性があることが分かった。

### 【②保育施設 市場調査結果】

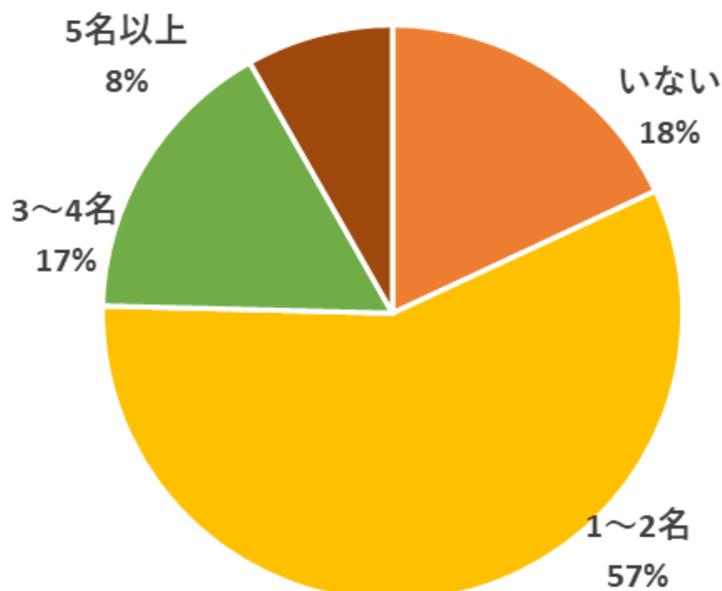
調査方法: 沖縄県内保育施設 153 カ所への FAX によるアンケート調査

調査期間: 2022 年 7 月 15 日～8 月 4 日

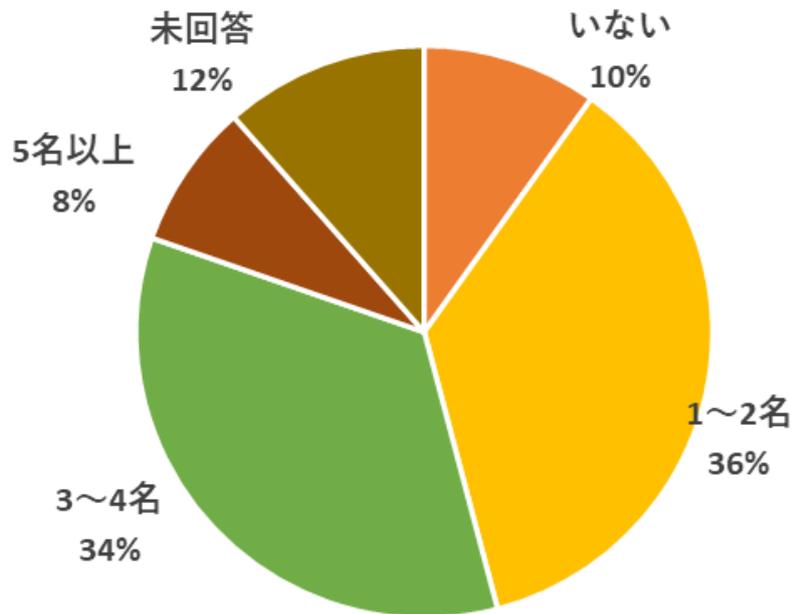
回答数: 61 施設

#### ■無資格職員の数・職歴・年齢

## 保育者歴3年未満の職員数



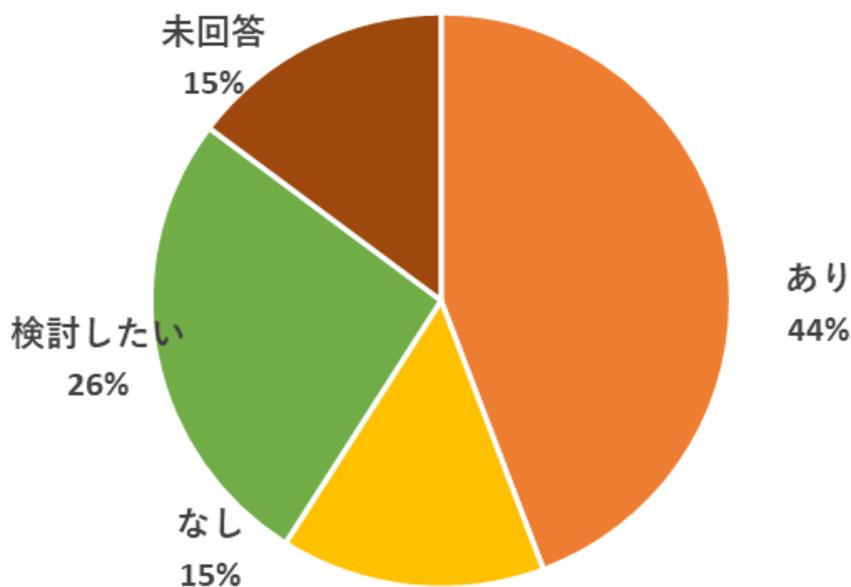
### 無資格の職員数



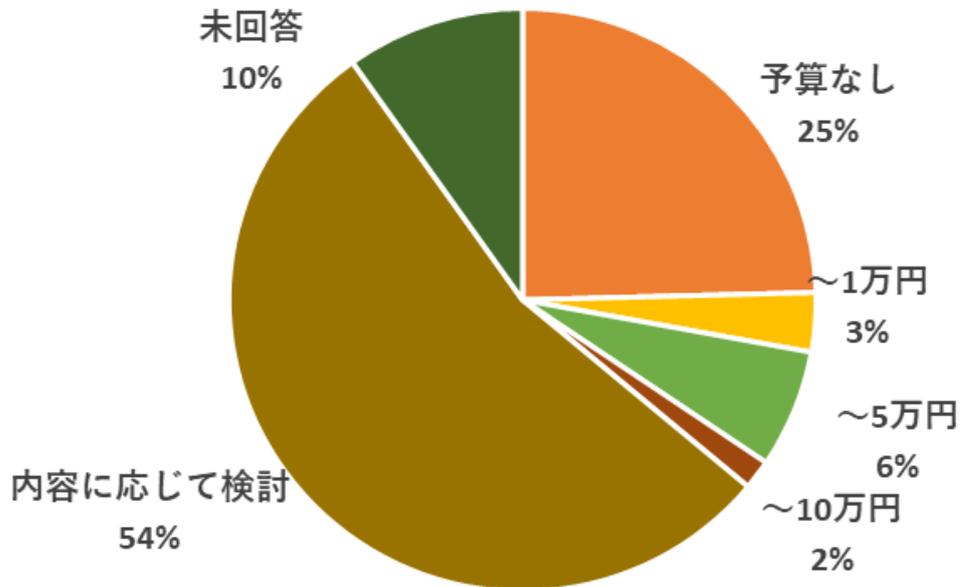
保育施設では、保育者の職歴と無資格の職員数をヒアリングした。保育職3年未満の職員数は1~2人の施設が約57%と圧倒的に多く、3名以上の施設が約25%となっている。1施設で新人を多く抱えている状況ではないようであるが約80%の施設に経験の浅い保育者が存在している。また、約78%の施設に無資格の職員が存在していることが分かった。

### ■ 研修制度の有無と1人あたりの研修費の年間予算

### 資格取得やスキルアップの研修制度



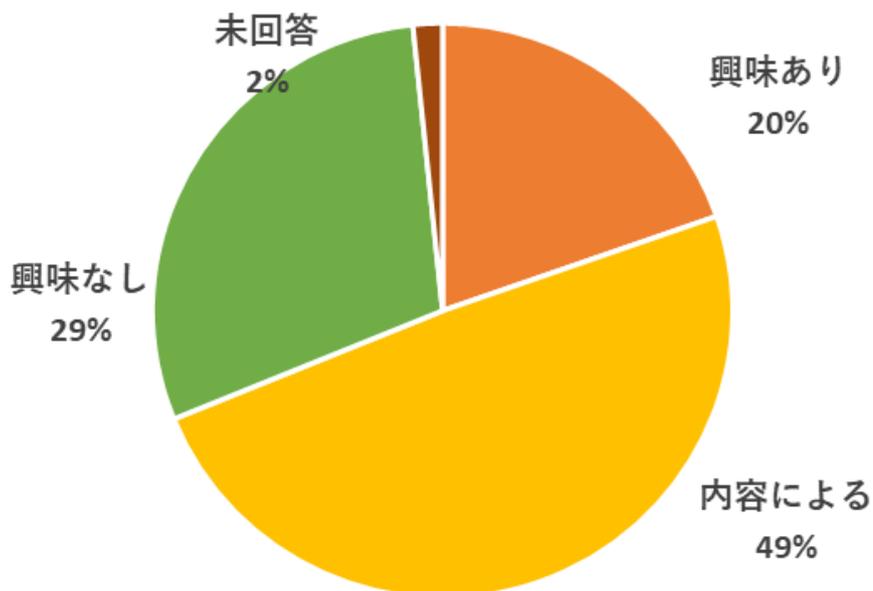
## 研修や講座の1人年間予算



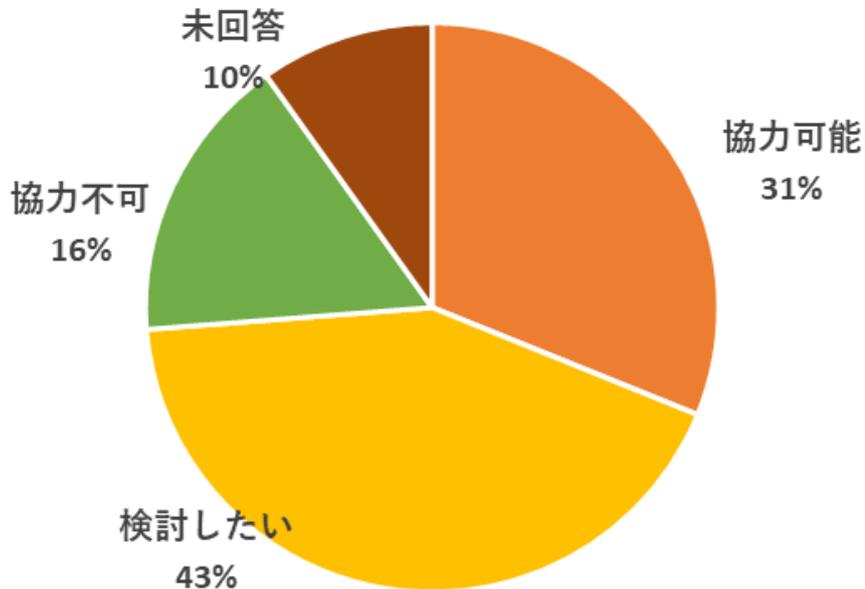
明確な研修制度がある施設は約 44%と介護施設に比べるとかなり多いが、一人あたりの年間予算がしっかり決まっているのは約 11%の施設のみ。ほとんどが必要に応じてその都度判断している状況は介護施設と同じである。保育施設も外部で行う研修や講座のニーズは高いと思われる。

### ■保育リカレント検証講座・インターシップ受け入れの興味

## 保育リカレント検証講座への興味



## インターシップ受け入れ協力



介護施設と同様、《保育リカレント検証講座》に明確に興味を示しているのは約 20%の施設だが、半数近くは「内容による」と様子を伺っている。しかし、保育施設はインターシップ受け入れ先としての協力に関しては明確に可能としている施設が約 30%もあり、かなり前向きである。また、約 43%の施設も「検討したい」と回答し、インターシップにはかなり積極的である。こちらも《保育リカレント検証講座》の実績を作ることで、約 60%の施設が講座の受講やインターシップ受け入れに協力してくれる可能性があることが分かった。

## 2 福祉人材の継続的人材確保に向けた検証講座

### 【①介護リカレント検証講座】

講座名	【介護リカレント検証講座】
講座目的	福祉リカレント短期講座の「介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座」の効果的なカリキュラム構築のため
講座対象	介護施設の新入職員及び内定者(概ね 30 代～50 代の方を対象)
検証講座日時	令和 4 年 9 月 8 日(木)、9 月 15 日(木)、9 月 22 日(木)3 回実施予定 時 間:9 時～16 時 20 分 開催場所:沖縄福祉保育専門学校 ・ ソーシャルワーク専門学校
講座分析内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生のリカレント教育カリキュラム内容の満足度</li> <li>・施設側の求めるリカレント教育の分析</li> <li>・離職防止に繋がる可能性の分析</li> </ul>
受講者数及び参加施設	受講者数:4 名 参加施設数:3 施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 社会福祉法人 麗峰会 特別養護老人ホーム沖縄一条園(2 名)50 代、20 代</li> <li>■ 社会福祉法人 麗峰会 特別養護老人ホーム つじまち(1 名)30 代</li> <li>■ 株式会社新緑の里(1 名)40 代</li> </ul>

### 介護リカレント検証講座内容

日程	講座時間	実証講座内容
9/8 (木)	8:30～9:00	◇オリエンテーション
	9:00～16:20	◇人間関係構築スキル

日程	講座時間	実証講座内容
9/15 (木)	9:00～12:10	◇健康保持と基本的な感染予防の基礎
	13:10～16:20	◇「生活支援技術の基礎」 体験通して利用者を理解する

日程	講座時間	実証講座内容
9/22 (木)	9:00～12:10	◇介護従事者としての基本姿勢
	13:10～16:20	◇人認知症について

介護リカレント検証講座の様子  
【オリエンテーション】



【人間関係構築スキル】



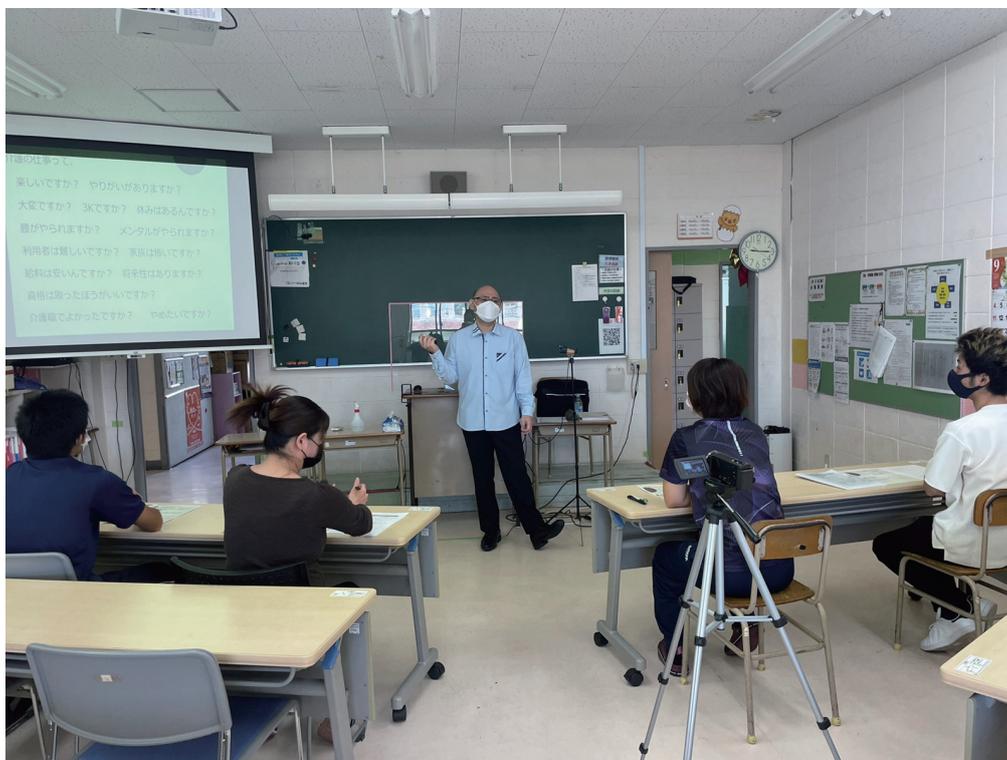
【健康保持と基本的な感染予防の基礎】



【「生活支援技術の基礎」体験を通して利用者を理解する】



## 【介護従事者としての基本姿勢】



## 【認知症について】



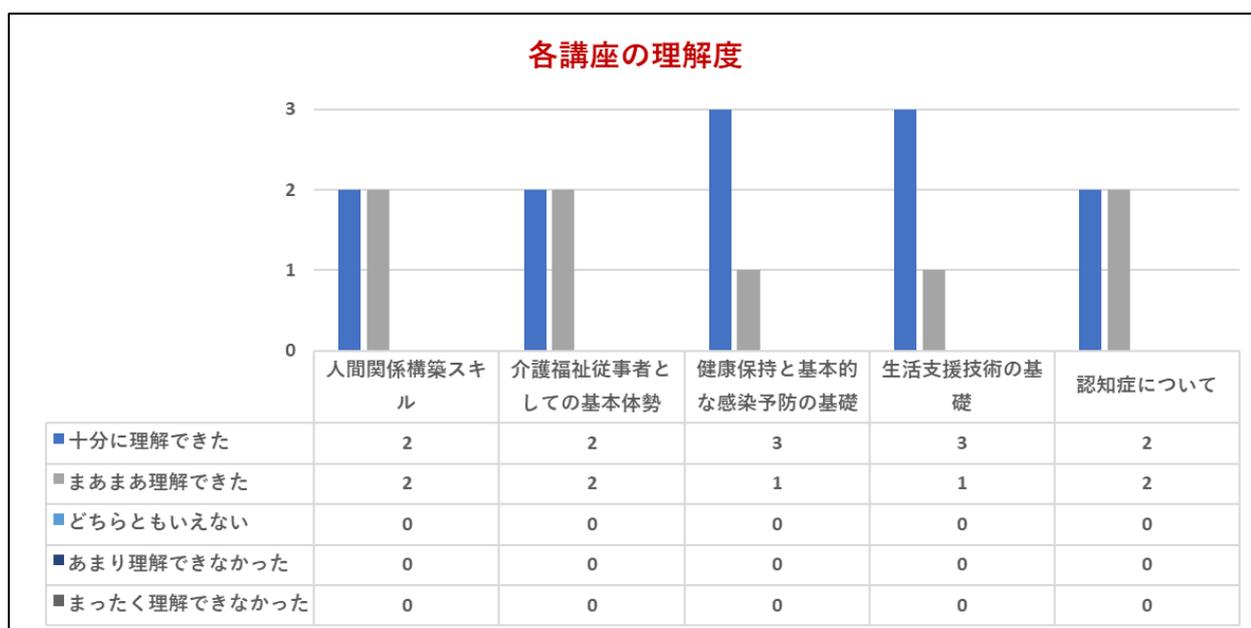
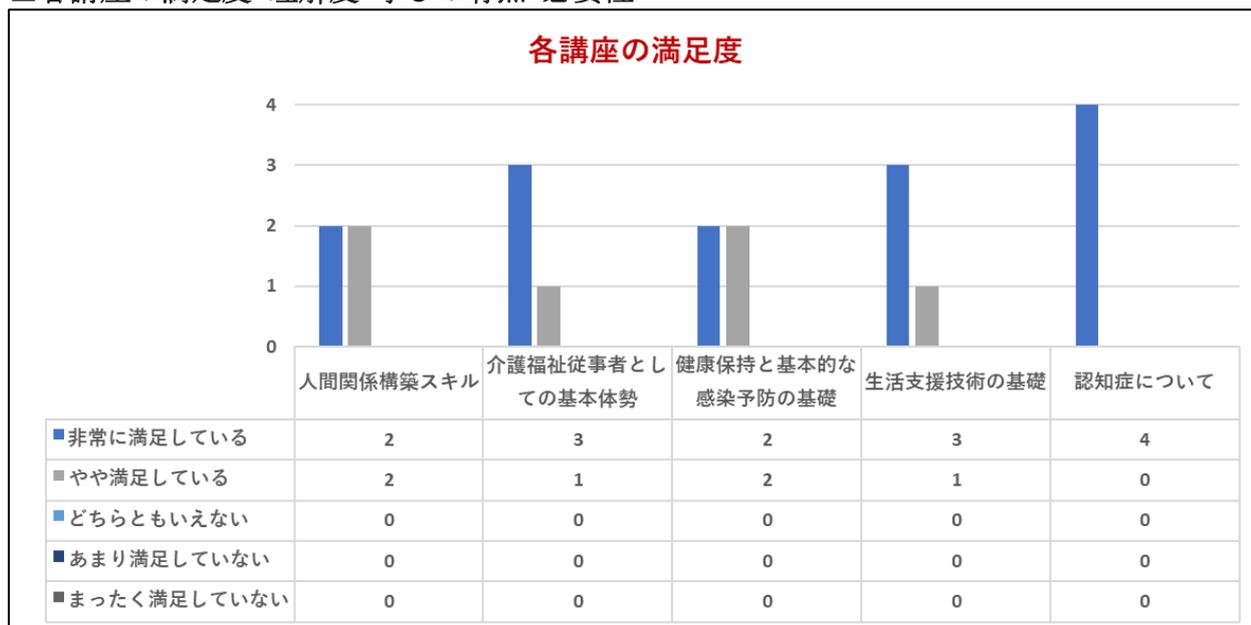
## 【介護リカレント検証講座の受講者アンケート結果】

調査対象:介護リカレント検証講座受講者

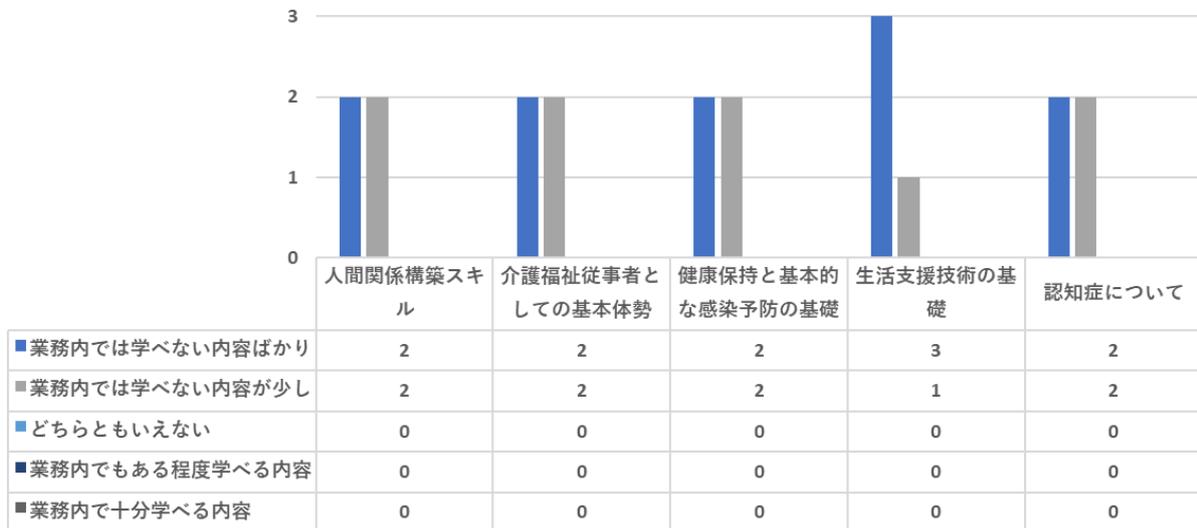
調査日:2022年9月21日(講座最終日)

回答数:4名

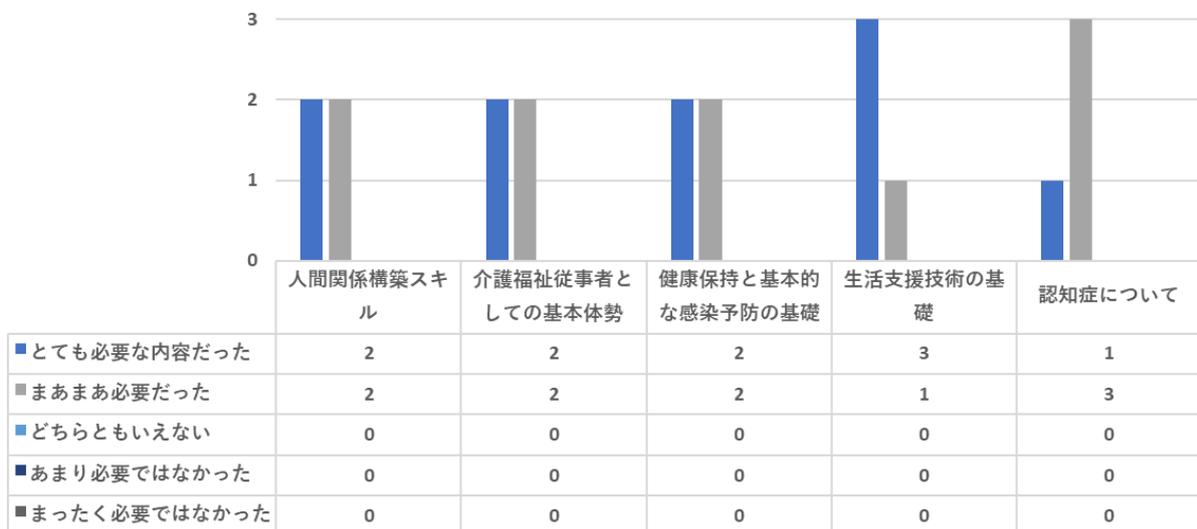
### ■各講座の満足度・理解度・学びの有無・必要性



### 各講座の学びの有無

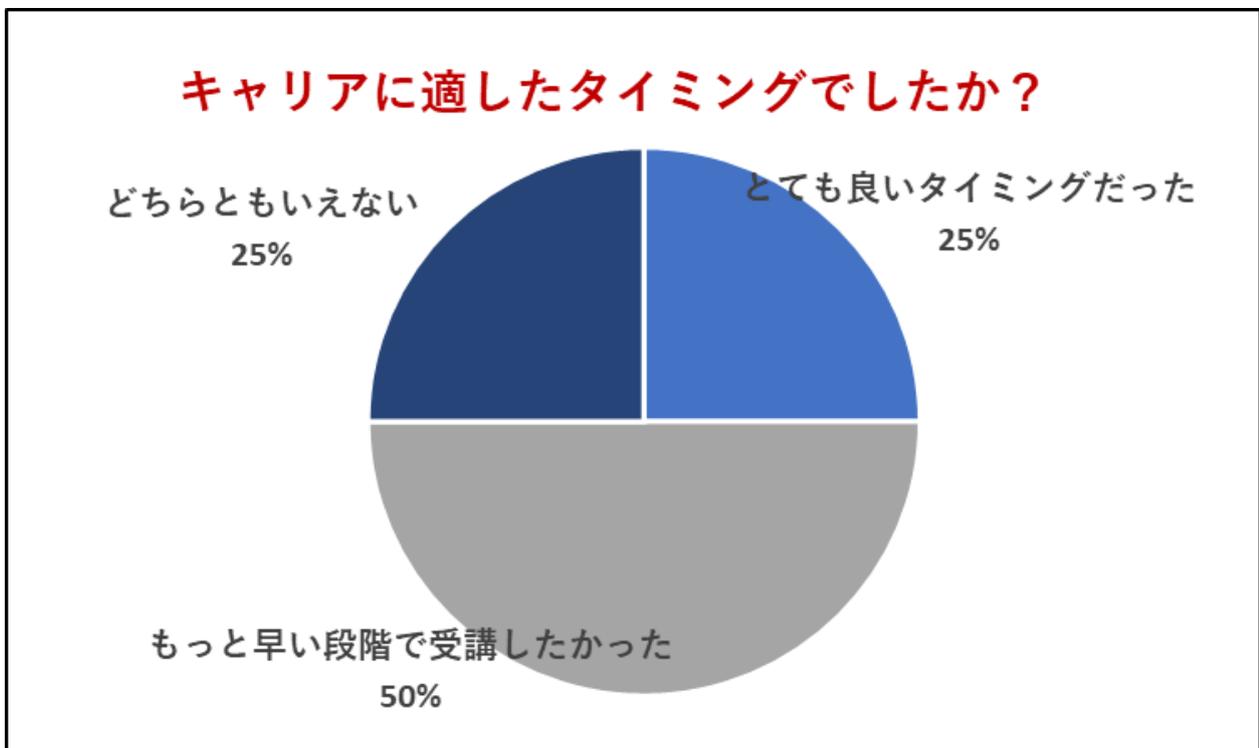
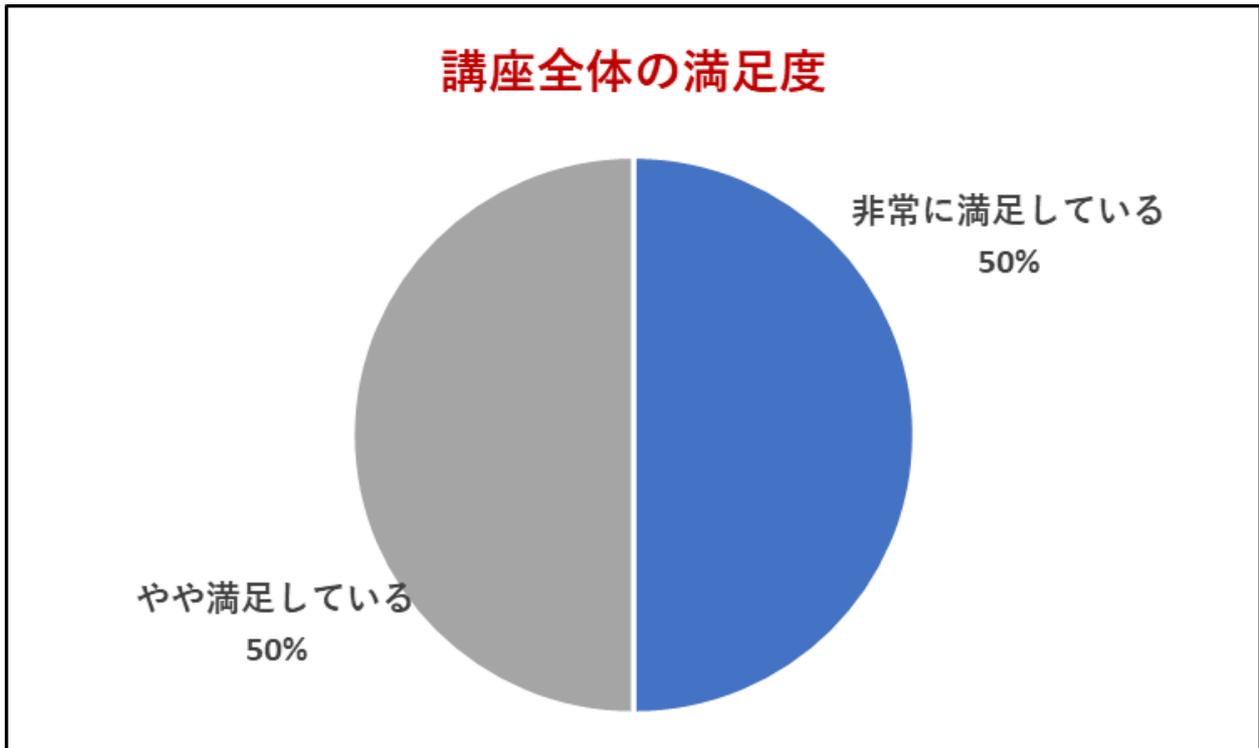


### 各講座の必要性



各講座の満足度や必要性は高く、介護士歴の浅い受講者には「介護の仕事の土台をつかめた」と基礎的なことを理解してもらえ、経験値のある受講者にも「講座の中で改めて分かったことや改善すべき点もあったので、現場で役立てたい」「今まで感覚でしていたことがきちんと意味を理解することができた」と、改めて基本を振り返るきっかけとなっている。また、ほとんどの受講者が「理解を深めて利用者さんと関わりを持ちたい」「相手の気持ちを今一度考えて仕事しようと思う」と答えており、介護職に対する意義がより一層深まったと思われる。

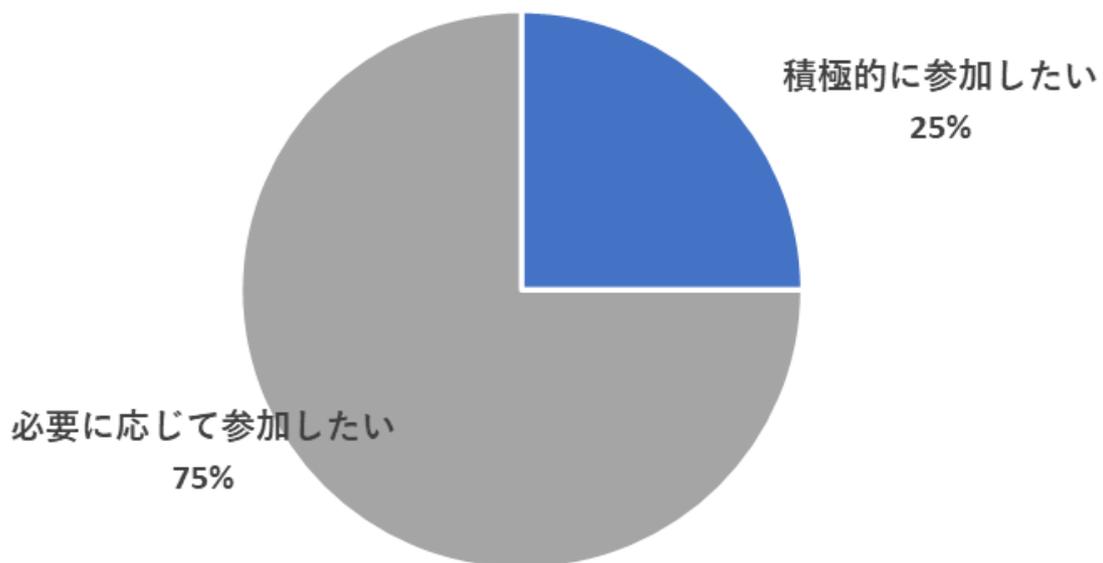
■ 講座の総合的な満足度



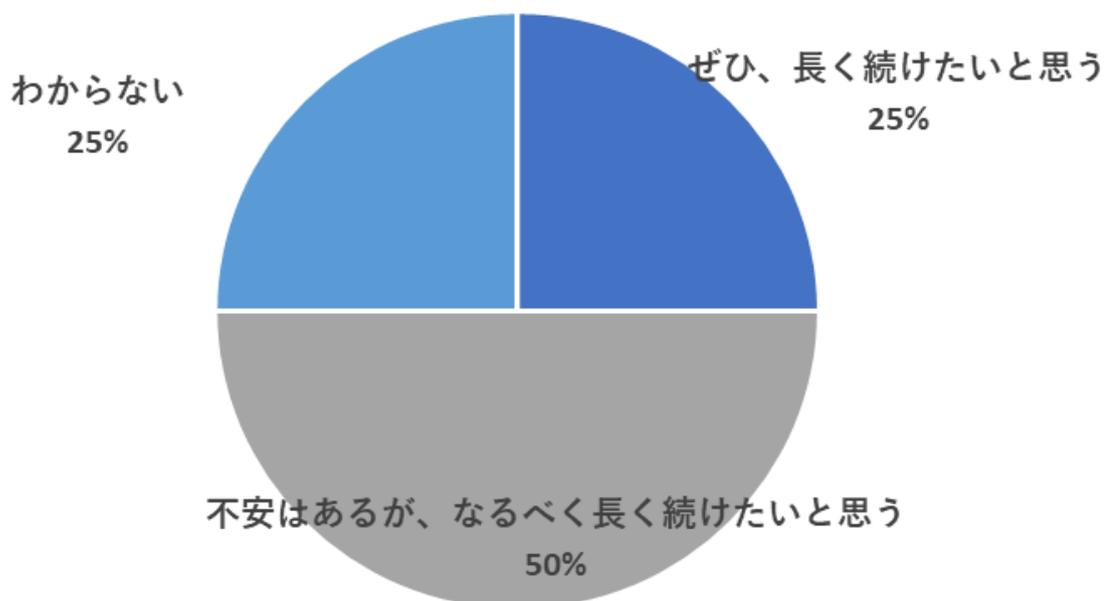
受講者全員に満足感を与えることができた。施設の状況や個人の業務内容によってはすぐに現場で生かせない講座もあったようで、その辺りが満足度に影響している。タイミングに関しては「早すぎる」と答えた受講者はおらず、ある程度現場を経験したら不安や疑問が生じるとみられ、何らかの研修が必要と思われる。

■今後の学びについて

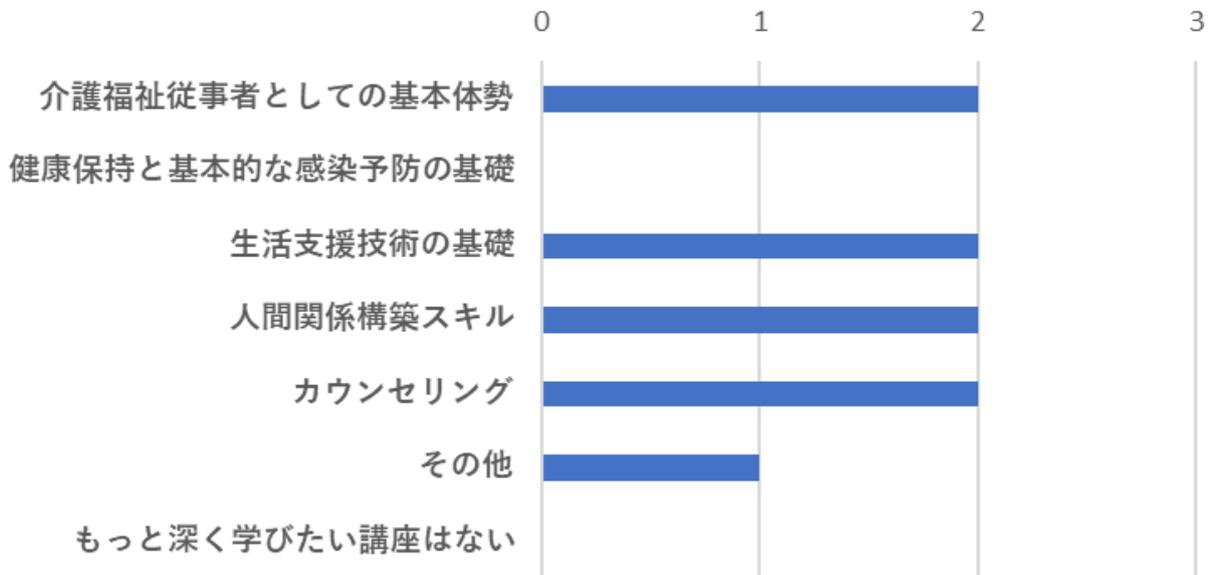
### 勤務時間扱いで受講する研修について



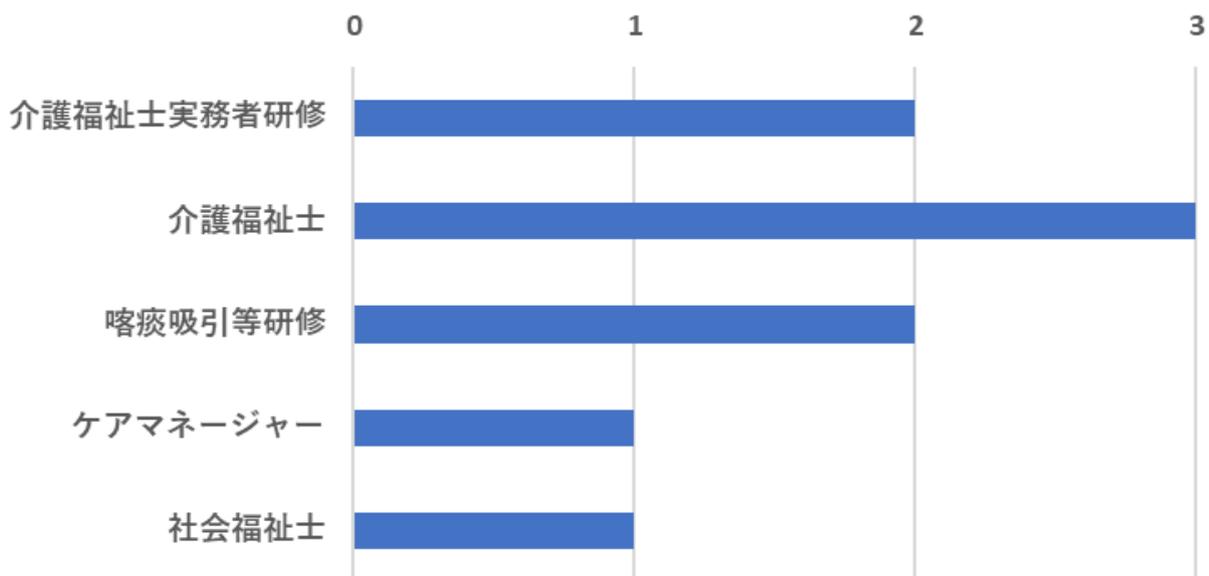
### 受講後、介護職を続けたいと思うか？



## もっと深く学びたい講座



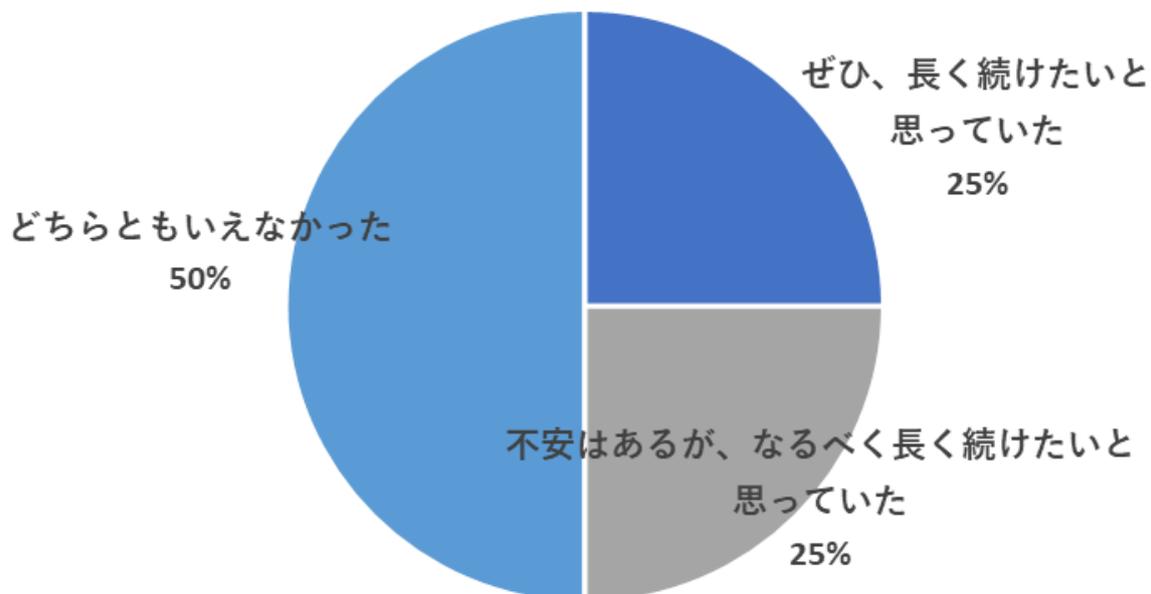
## 今後取得したい介護に関する資格



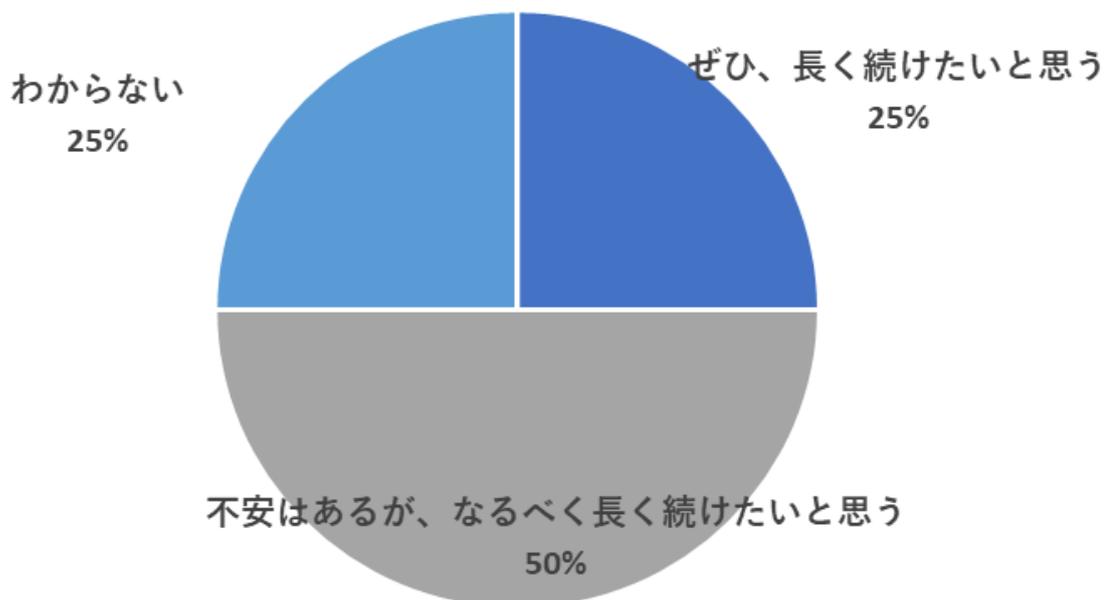
勤務時間内で学ぶことに関しては抵抗がなく資格取得やスキルアップにも前向きだが、勤務時間以外に時間やお金をかけて学ぶことは実行できていないのが現状である。意欲を喪失させないためにも、職場や行政のサポートを活用しながら学ばせる必要がある。また、介護の基本姿勢や人間関係スキル、カウンセリングなどの受講を求めている。これらがしっかり身に付けば、介護士として自信が付き迷うことなく続けられると思われる。

■介護職を続けられる環境にあるか

### 受講前、介護職を続けたいと思っていたか？

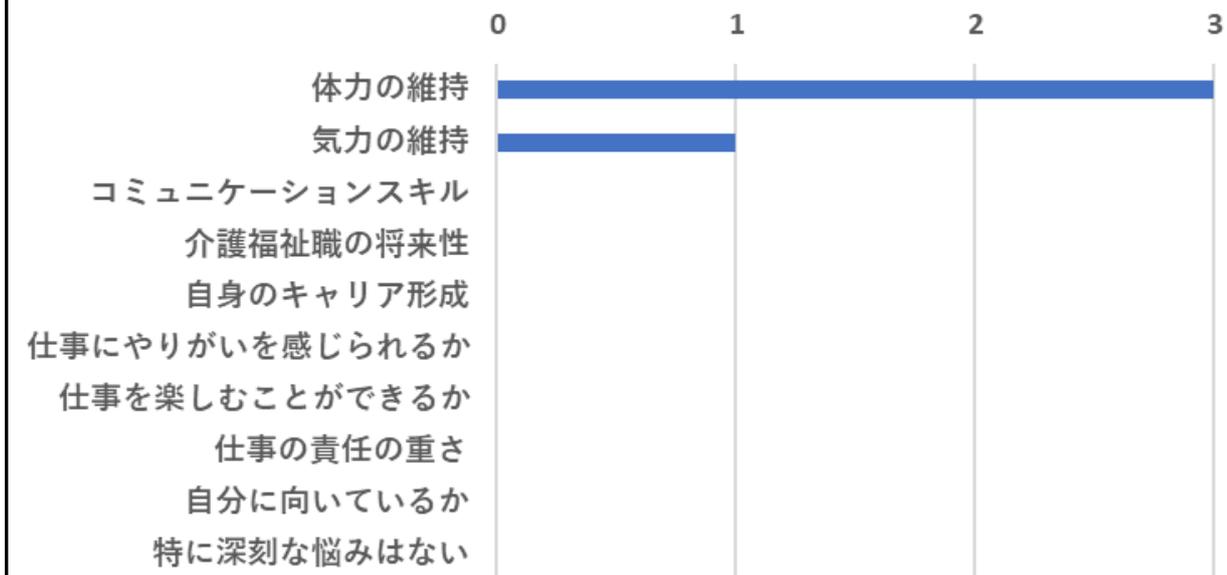


### 受講後、介護職を続けたいと思うか？

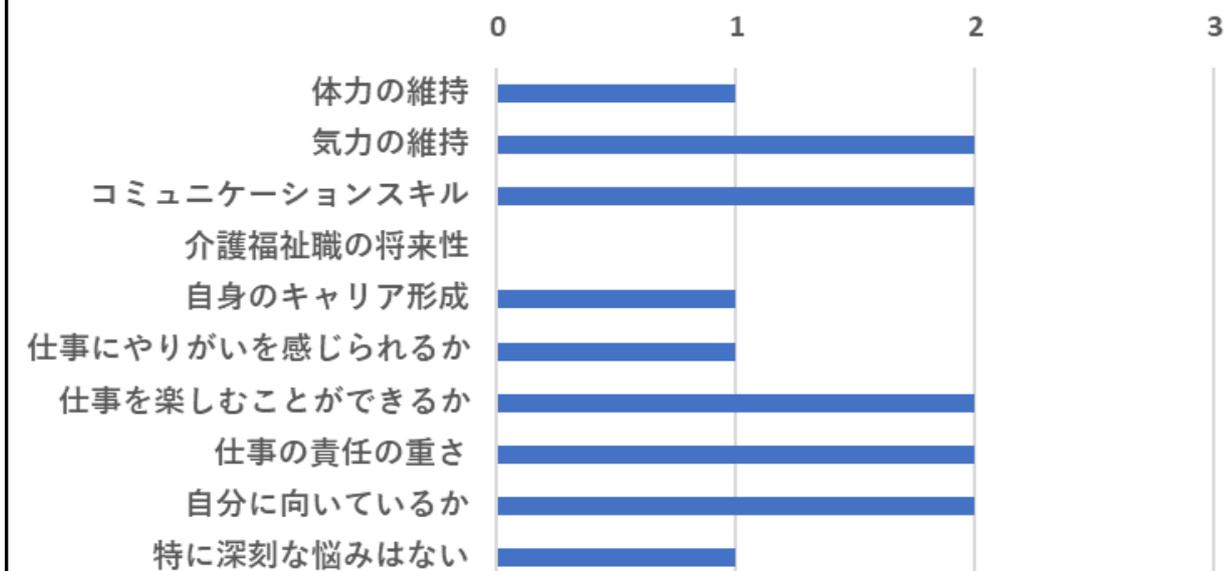


1回の講座で大きな変化を与えることは難しいが、今回の講座が多少なりとも介護職を続けることに迷いのある受講生の自信や確信に役立ったのではないだろうか。

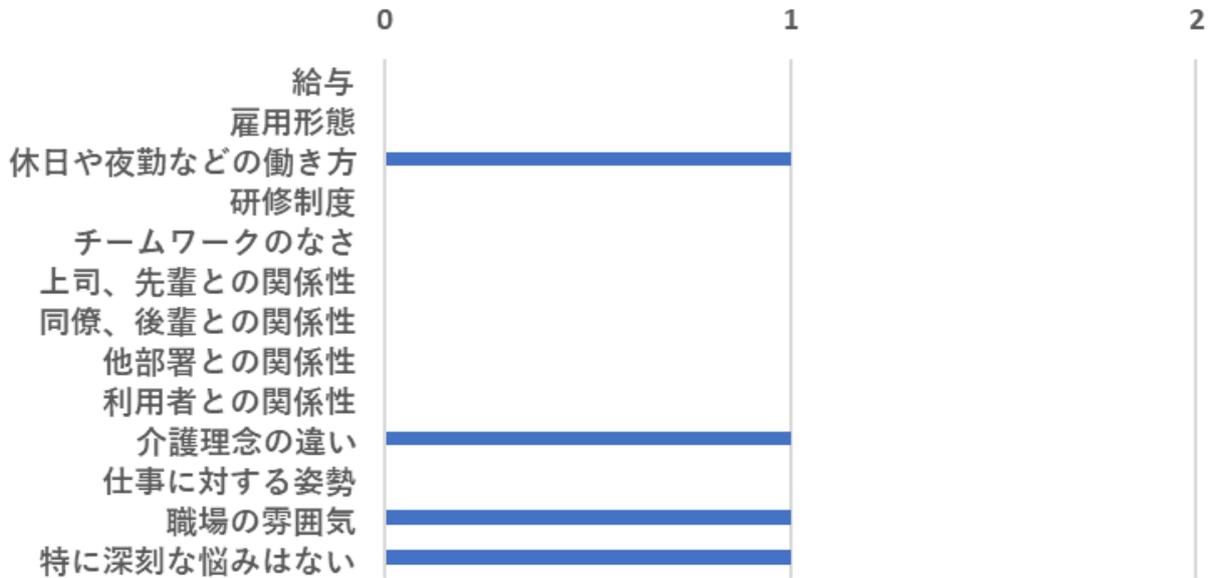
## 介護職を続けることへの一番の不安



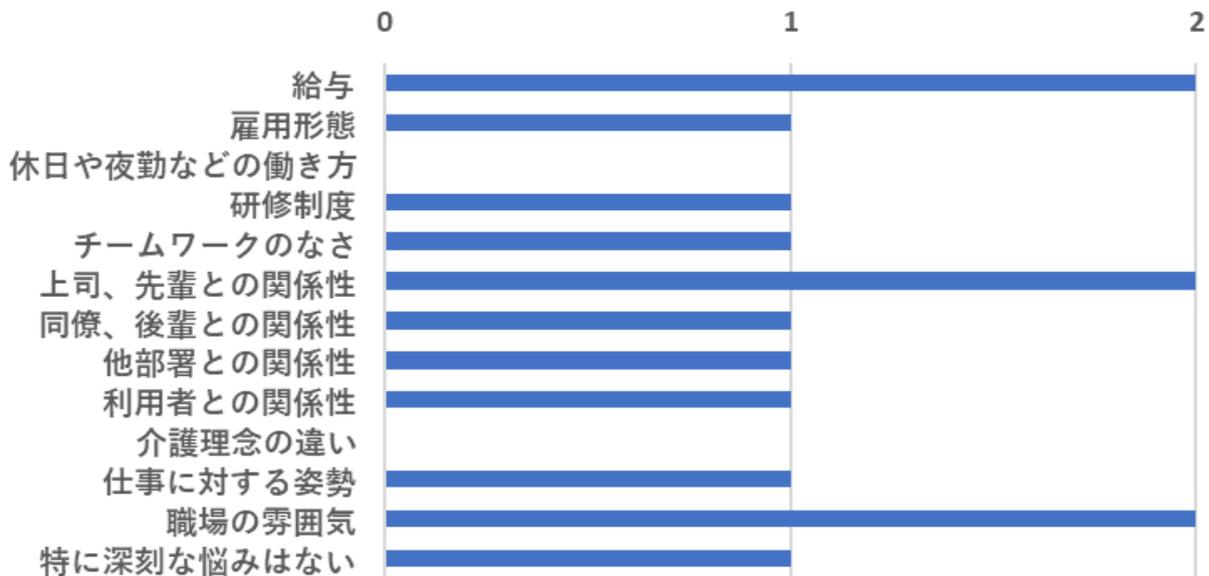
## その他、介護職を続けることへの不安



## 現在の職場で一番悩んでいること



## その他、現在の職場で悩んでいること



介護職を継続するにあたっての一番の不安が「体力と気力の維持」となっており、職場での一番の悩みには「働き方」や「職場の雰囲気」が挙げられていることから、介護職そのものへの不安よりも職場環境に原因があると考えられる。慢性的な人手不足による業務圧迫、それらのストレスからくる雰囲気の悪さにつながるため、早急な人材確保や育成などの対策が必要である。また、その他の悩みではコミュニケーションや人間関係での悩みが多く挙げられている。深刻な悩みとはしていないが日々のストレスは意欲の喪失につながるため、早い段階で対処できるよう、多くの職員に人間関係構築スキルやカウンセリングを浸透させ、スムーズな人間関係を築くことが好ましい。

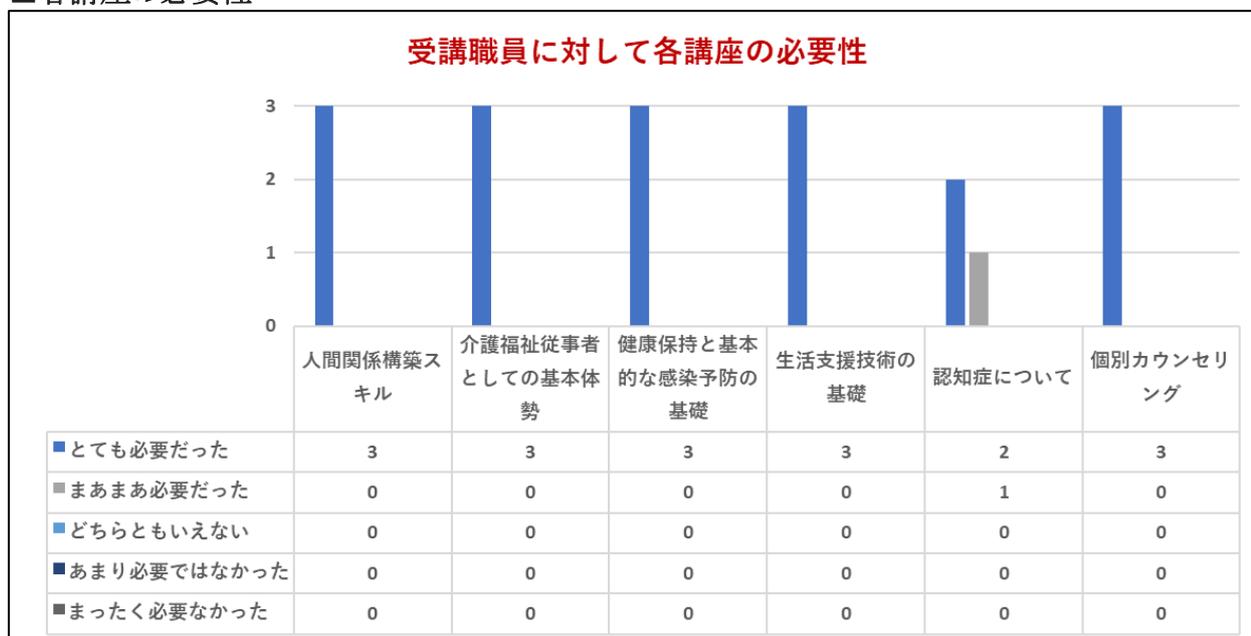
## 【介護リカレント検証講座の施設側アンケート結果】

調査対象:介護リカレント検証講座に職員が受講した施設

調査日:2022年10月25日～11月4日

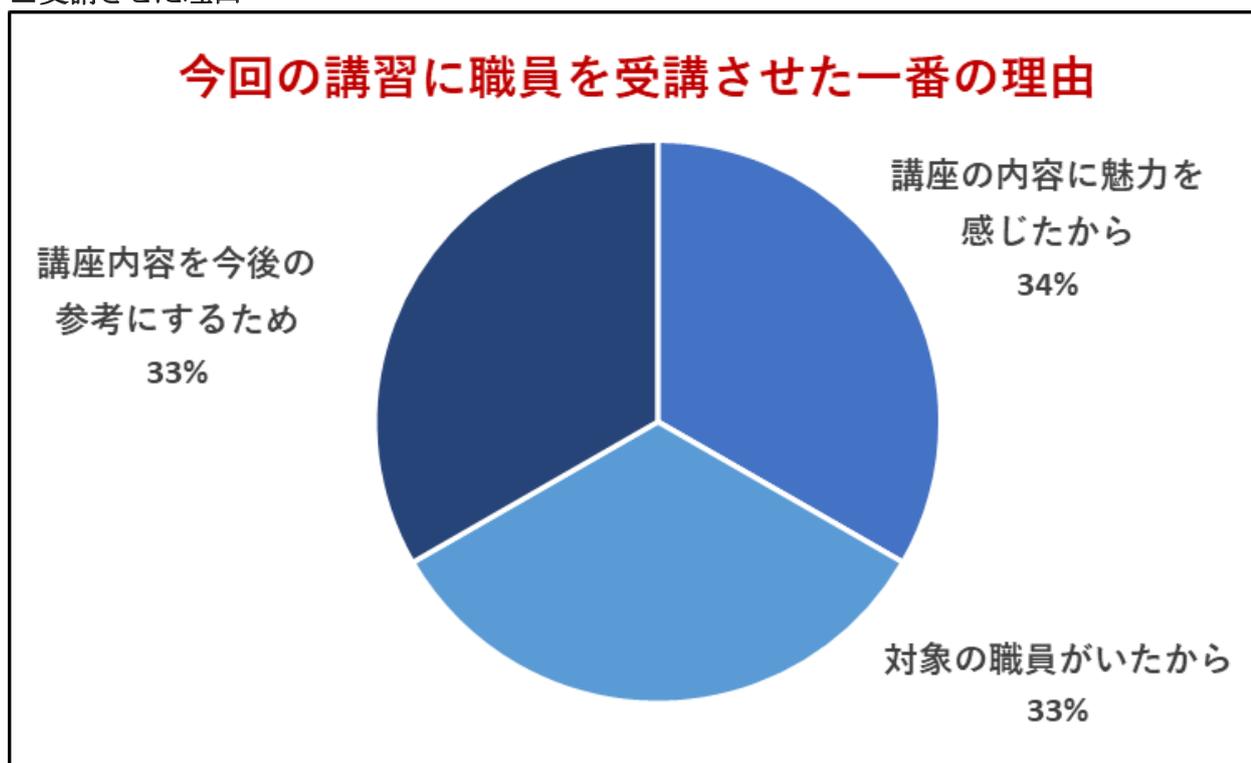
回答数:3施設

### ■各講座の必要性

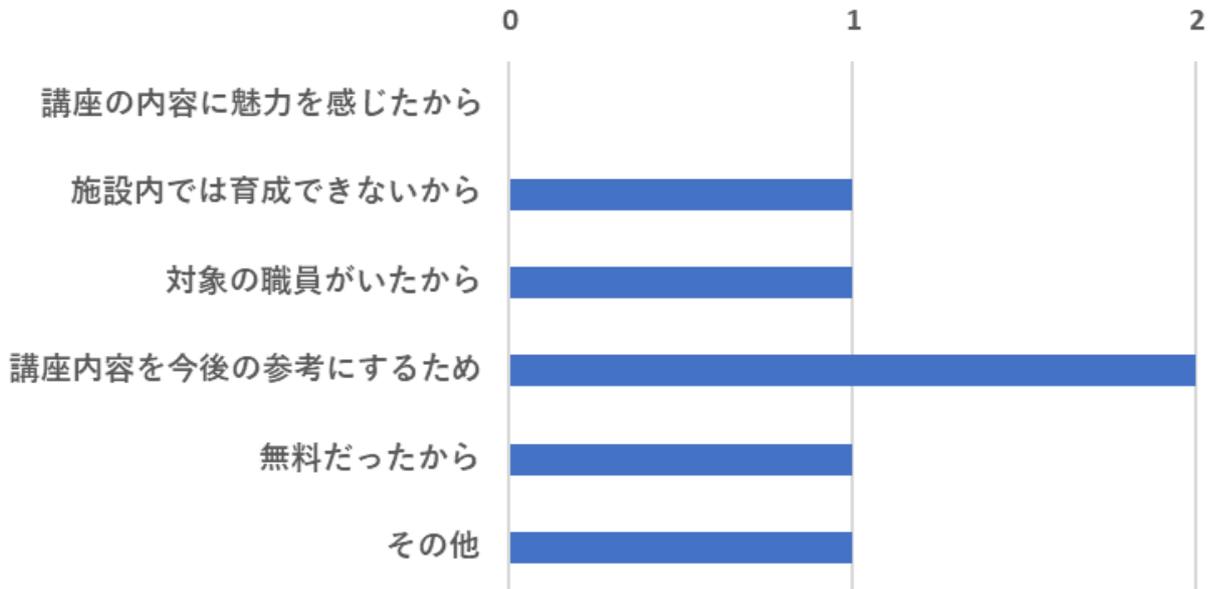


今回の受講者にとって各講座、必要な内容だったと評価された。どの施設も施設内での指導だけでは新人教育の不十分さを感じており「外部研修はありがたい」「やりがいを見つけさせてあげたい」など、外部講座に頼らざるを得ない部分もあるようだった。また、認知症については施設によって利用者状況が異なり、ニーズ度にも違いが現れている。

### ■受講させた理由



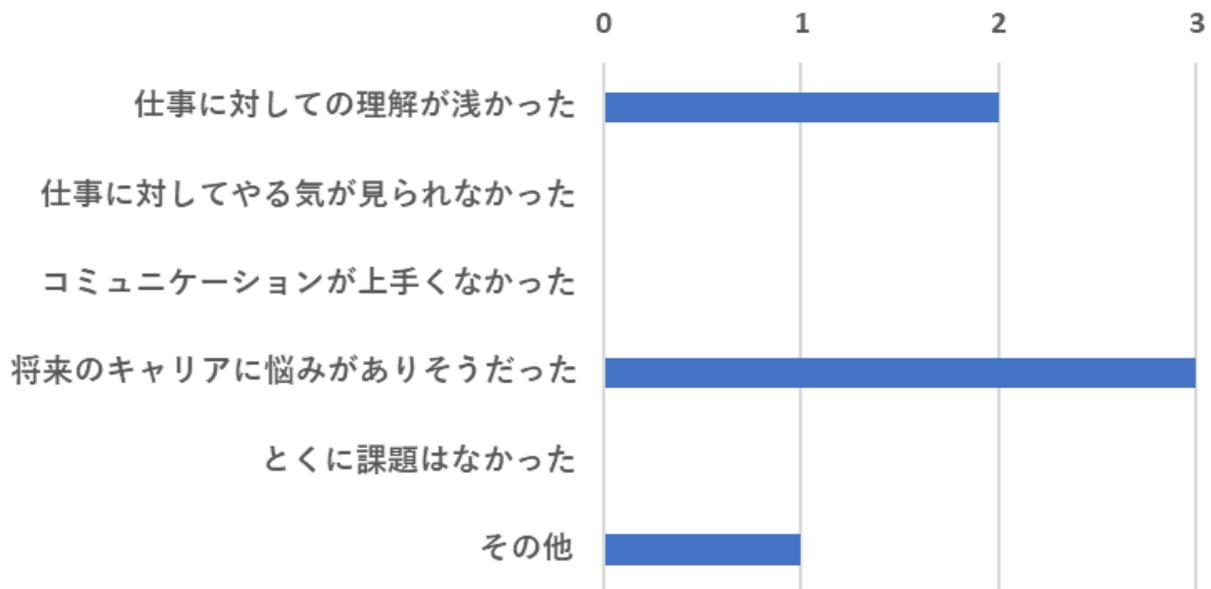
## その他の受講させた理由



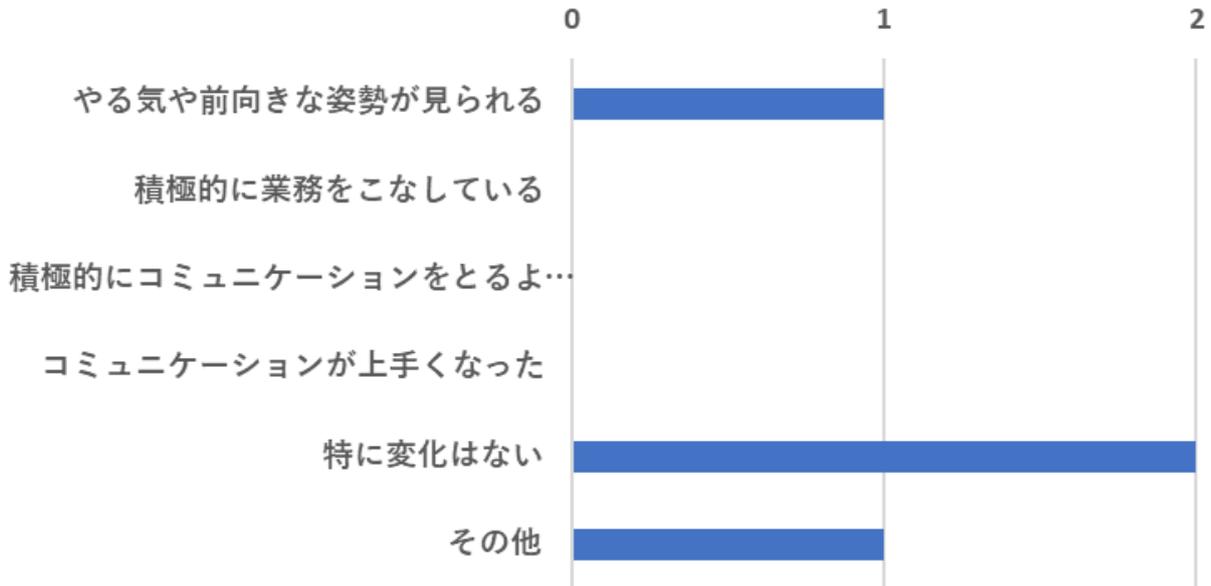
受講させた理由には「人手不足により施設内では新人教育が不十分な状況」という意見や、施設内でスムーズに人材育成ができるよう「育成できる人材を育てるために参考にしたかった」などの意見があり、施設内での育成には限界があるようだ。また、全施設が「他にも参加させたい職員がいたが、人手不足のため断念した」と回答しているため、慢性的な人材不足が学びの妨げにもなっているのではないだろうか。

### ■ 受講後の変化

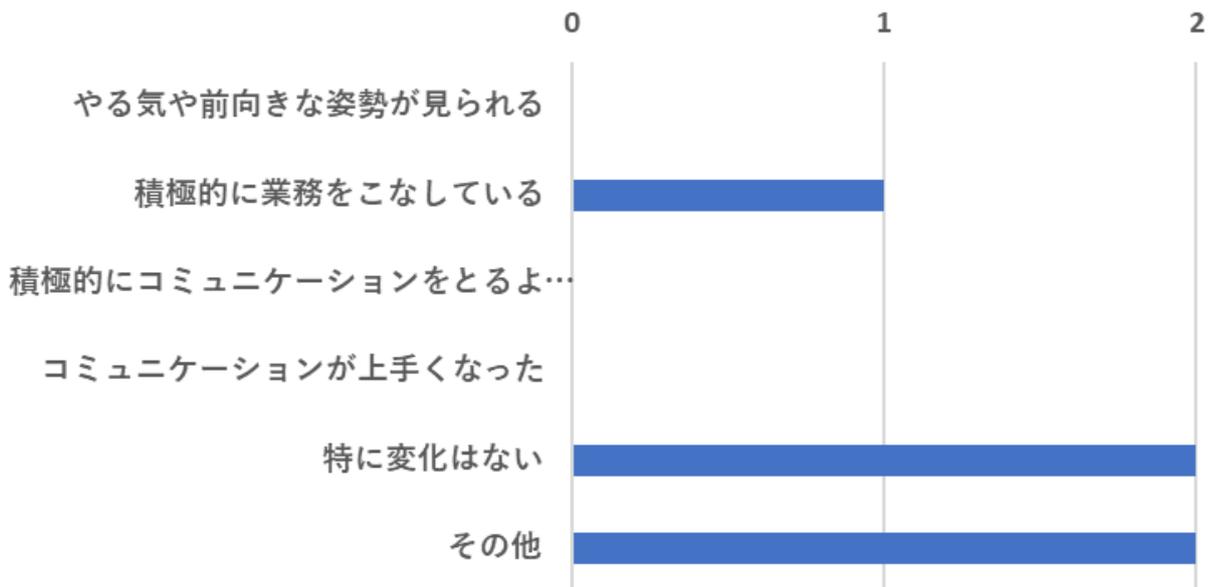
## 受講前、受講者に課題はありましたか？



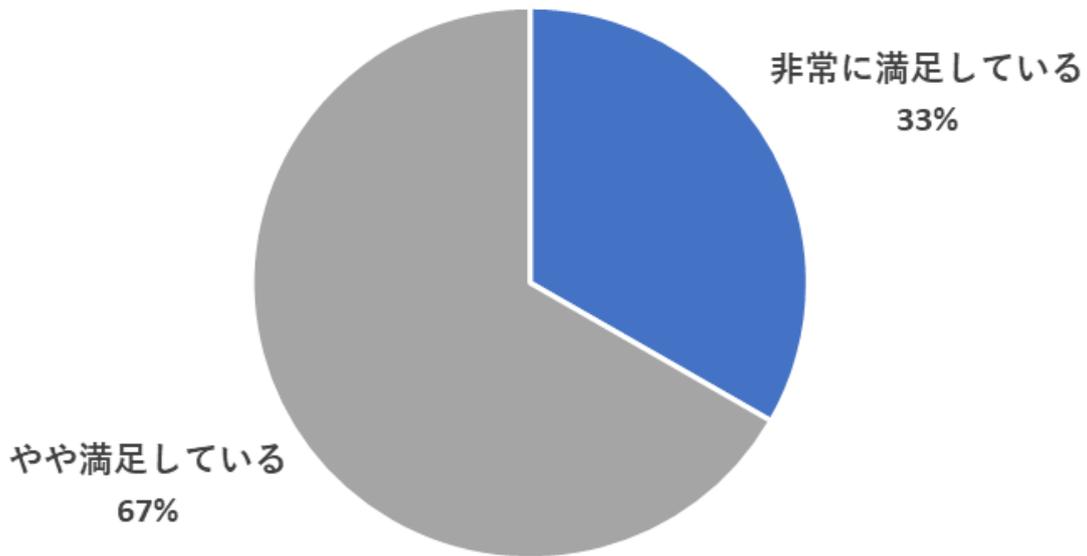
## 受講後、受講者に見られる1番の変化



## 受講後、受講者に見られるその他の変化



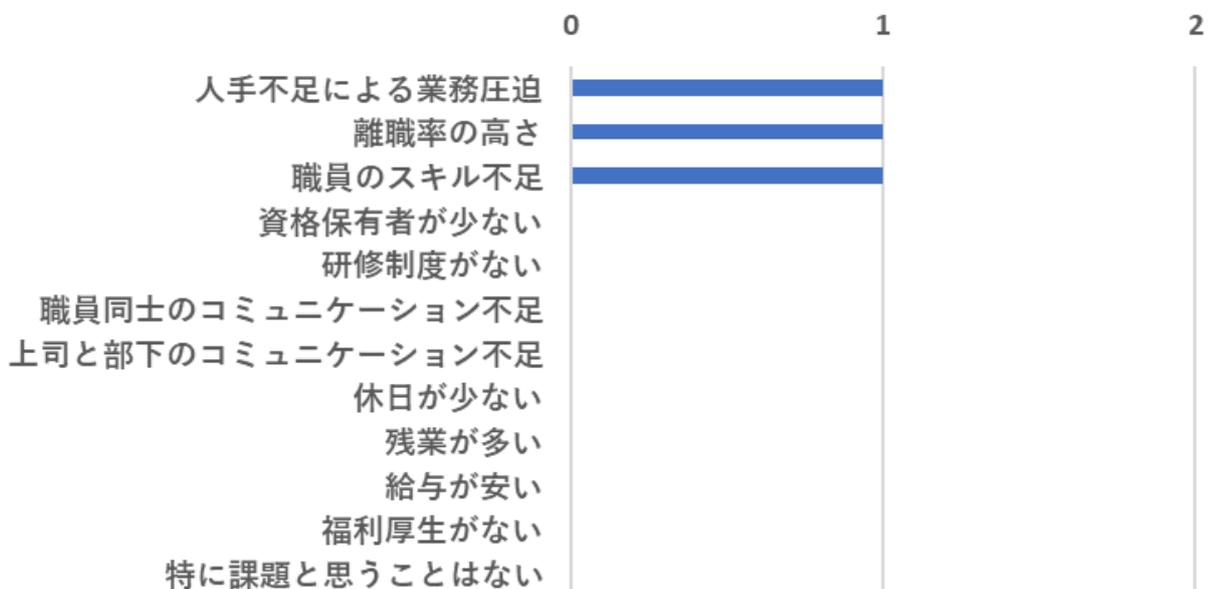
## 講座全体の満足度



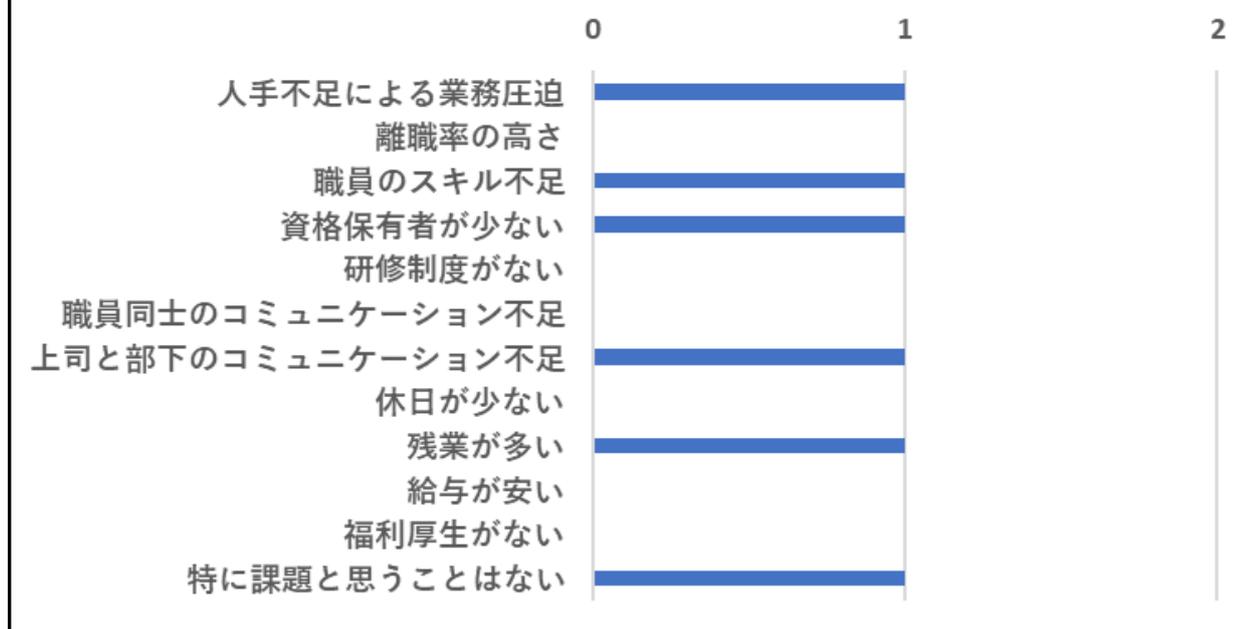
特に大きな変化は見られなかったものの、講座全体の満足度も高く内容や取り組みに関しては高く評価していただいたので、継続的な学びが必要だと考えられる。また、3年未満の職員は介護職への理解が浅く、将来のキャリア形成に不安を抱えている人が多いのが課題である。

### ■職場環境の課題

## 施設で一番課題だと思うこと



## その他の施設での課題



人手不足は全施設の悩みであり、「職員のスキル不足」「残業が多い」「コミュニケーション不足」なども人手不足から派生している課題と考えられる。業務圧迫により十分な新人教育が行われず中堅職員にしわ寄せが行き、中間職員もスキルアップできずにいるのが現状。中堅職員が人材を育てることができないことが、慢性的な職員のスキル不足につながっている。ほとんどの施設が新人育成講座だけでなく人材育成担当者を養成する講座も望んでいる。

### 【②保育リカレント検証講座】

講座名	【保育リカレント検証講座】
講座目的	福祉リカレント短期講座の「保育リカレント短期講座」の効果的なカリキュラム構築のため
講座対象	保育施設の30代以上(概ね30代～50代の方を対象)で実務歴3年未満
検証講座日時	令和4年9月7日(水)、14日(水)、21日(水)、28日(水) 時 間:9時～16時20分 開催場所:沖縄福祉保育専門学校・ソーシャルワーク専門学校
講座分析内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生のリカレント教育カリキュラム内容の満足度</li> <li>・施設側の求めるリカレント教育の分析</li> <li>・離職防止に繋がる可能性の分析</li> </ul>
受講者数及び参加施設	受講者数:7名 参加施設数:5施設 ■ 株式会社ナーサリー プラットフォーム きゃんぱす浦添西原保育園(1名)50代 ■ 株式会社ナーサリー プラットフォーム きゃんぱす糸満武富保育園(1名)50代 ■ 社会福祉法人しののめ福祉会 しののめこども園(2名)40代、20代 ■ 社会福祉法人三河福祉会 すてらこども園(2名)50代、20代 ■ 社会福祉法人豊善福祉会 ももの木保育園(1名)50代

### 【保育リカレント検証講座内容】

日程	講座時間	実証講座内容
9/7 (水)	8:30～9:00	◇オリエンテーション
	9:00～14:40	◇人間関係構築スキル
	14:50～16:20	◇保育 ICT

日程	講座時間	実証講座内容
9/14 (水)	9:00～12:10	◇今求められる保育実践
	13:10～16:20	◇言葉・音楽を使った遊び

日程	講座時間	実証講座内容
9/21 (水)	9:00～12:10	◇保育における環境構成
	13:10～16:20	◇物とのかかわり

日程	講座時間	実証講座内容
9/28 (水)	9:00～12:10	◇身体を使った遊び
	13:10～16:20	◇発達支援

### 検証講座の様子

#### 【オリエンテーション】



【保育ICT】



【今求められる保育実践】



【言葉・音楽を使った遊び】



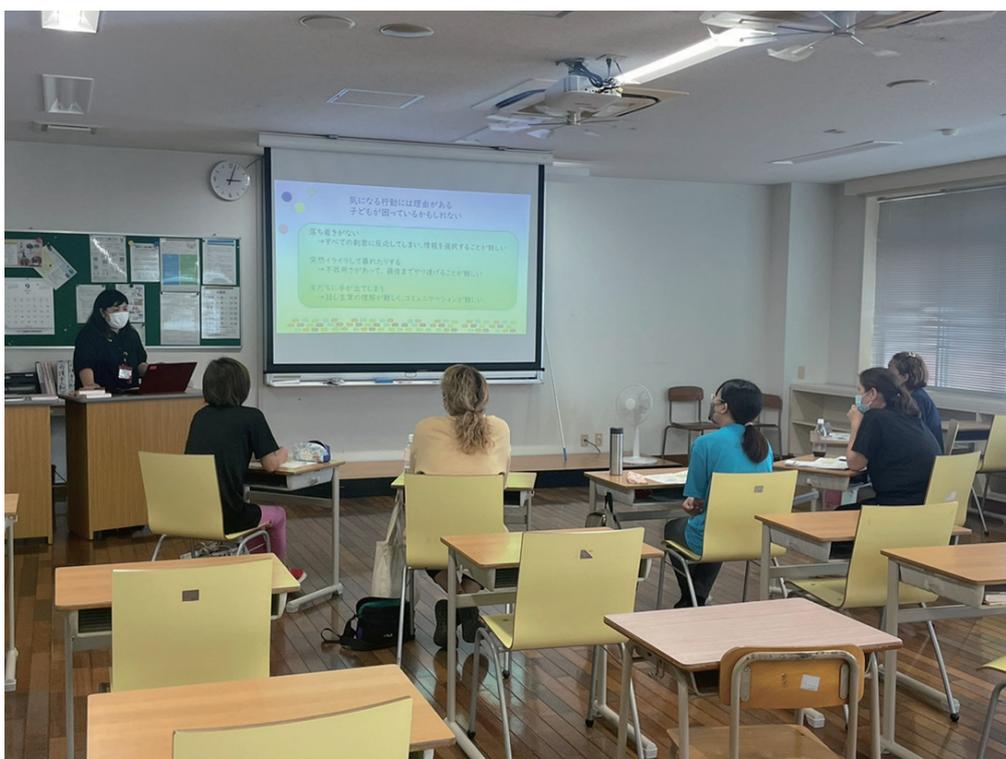
【保育における環境構成】



【物との関わり】



【発達支援等】



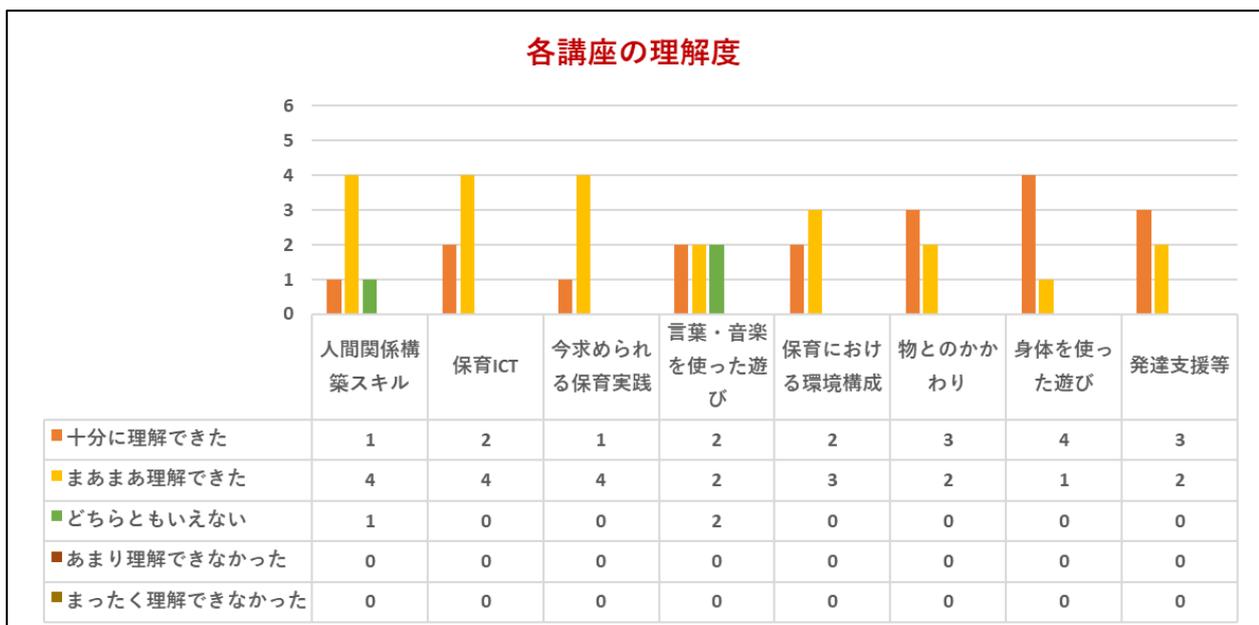
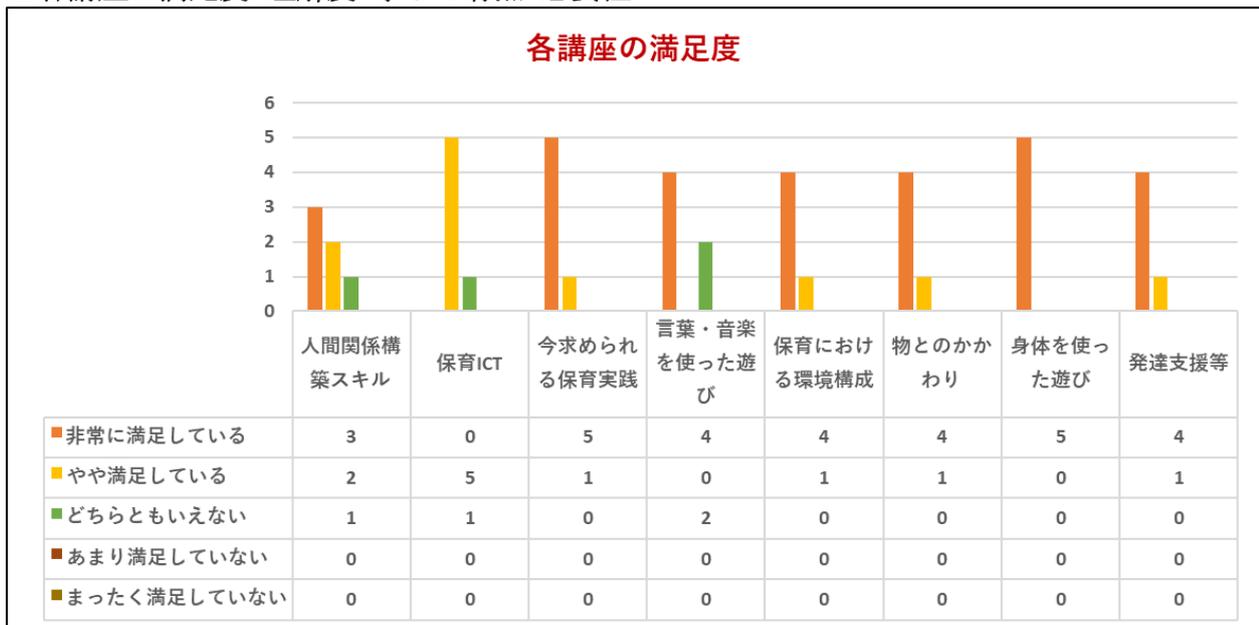
## 【保育リカレント検証講座の受講者アンケート結果】

調査対象:保育リカレント検証講座受講者

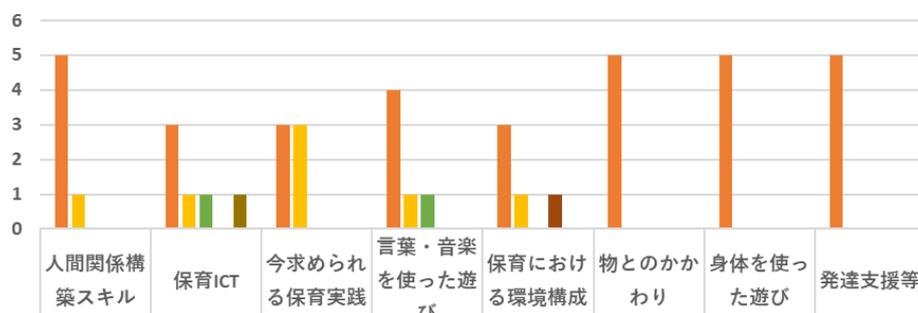
調査日:2022年9月29日(講座最終日)

回答数:7名

### ■各講座の満足度・理解度・学びの有無・必要性

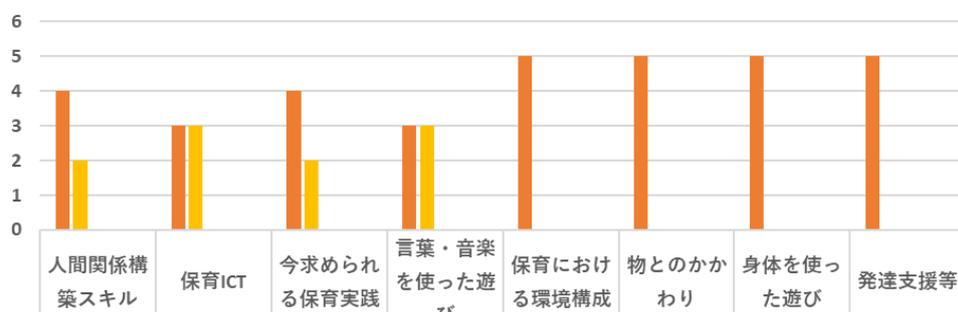


### 各講座の学びの有無



	人間関係構築スキル	保育ICT	今求められる保育実践	言葉・音楽を使った遊び	保育における環境構成	物とのかかわり	身体を使った遊び	発達支援等
■業務内では学べない内容ばかり	5	3	3	4	3	5	5	5
■業務内では学べない内容が少し	1	1	3	1	1	0	0	0
■どちらともいえない	0	1	0	1	0	0	0	0
■業務内でもある程度学べる内容	0	0	0	0	1	0	0	0
■業務内で十分学べる内容	0	1	0	0	0	0	0	0

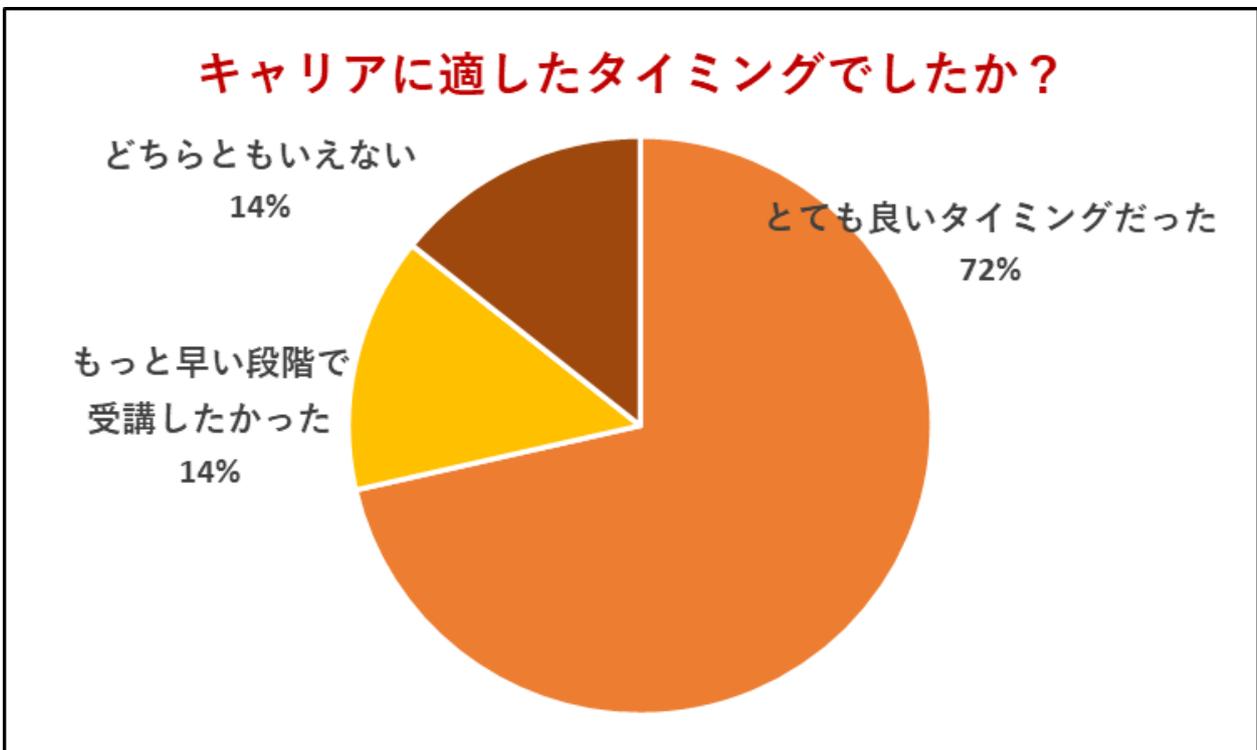
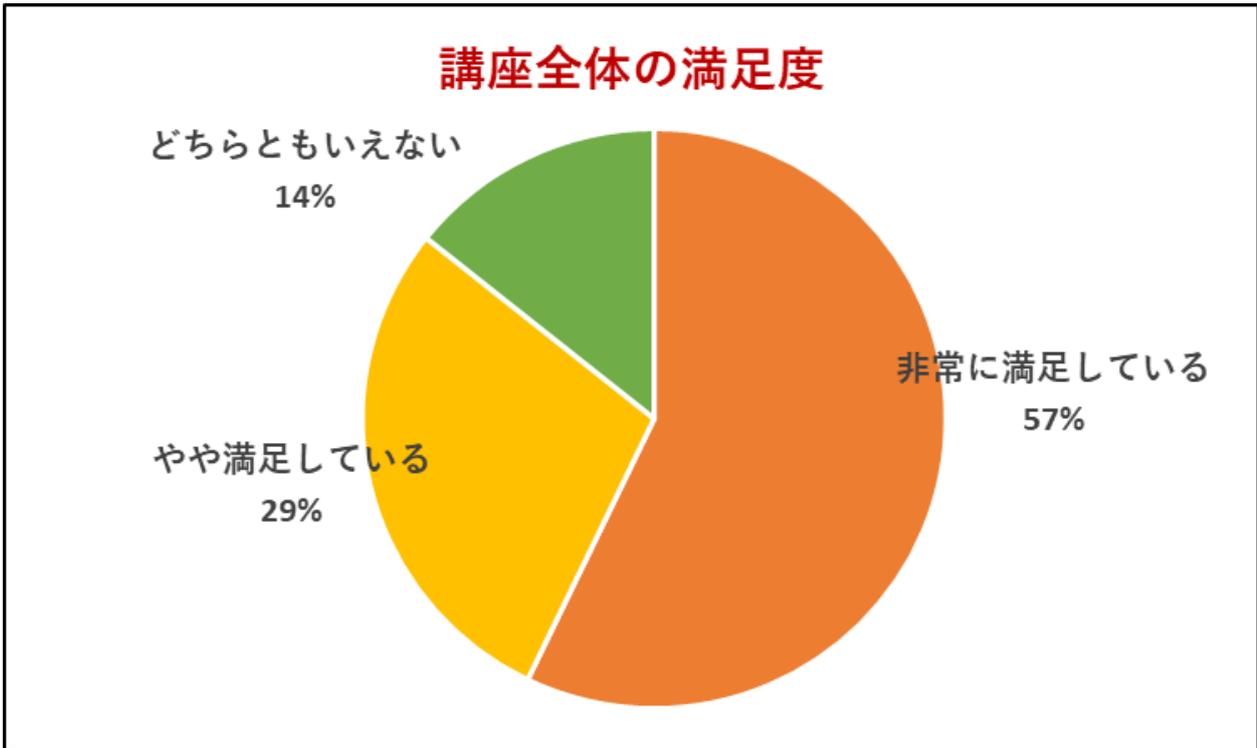
### 各講座の必要性



	人間関係構築スキル	保育ICT	今求められる保育実践	言葉・音楽を使った遊び	保育における環境構成	物とのかかわり	身体を使った遊び	発達支援等
■とても必要な内容だった	4	3	4	3	5	5	5	5
■まあまあ必要だった	2	3	2	3	0	0	0	0
■どちらともいえない	0	0	0	0	0	0	0	0
■あまり必要ではなかった	0	0	0	0	0	0	0	0
■まったく必要ではなかった	0	0	0	0	0	0	0	0

養成校で学んで保育士資格を取得した人と養成校に通わず独学で資格を取得した人では、満足度や必要性に差が生じている。さらに ICT は園によって導入状況が異なるので評価もさまざまだが、ICT 化の理由やメリット、今後の必要性への納得感は高かった。また、人間関係構築スキルでは、「人生に役立つ」「社会人としてとても役に立つ」「保育でも家庭でも実践したい」などの感想もあり高い評価を得た。遊びに関する講座も人気で「もっと知りたい」と物足りなさを感じる人もいた。総合的には「選ばれる保育士、選ばれる保育園であるために何をすべきかを真剣に考えるきっかけになった」「自分自身の保育を振り返ってクラス担任とも話し合いを行い、共通理解をしたい」と前向きなコメントが多く、学んだことを園で共有したいという意向もみられた。

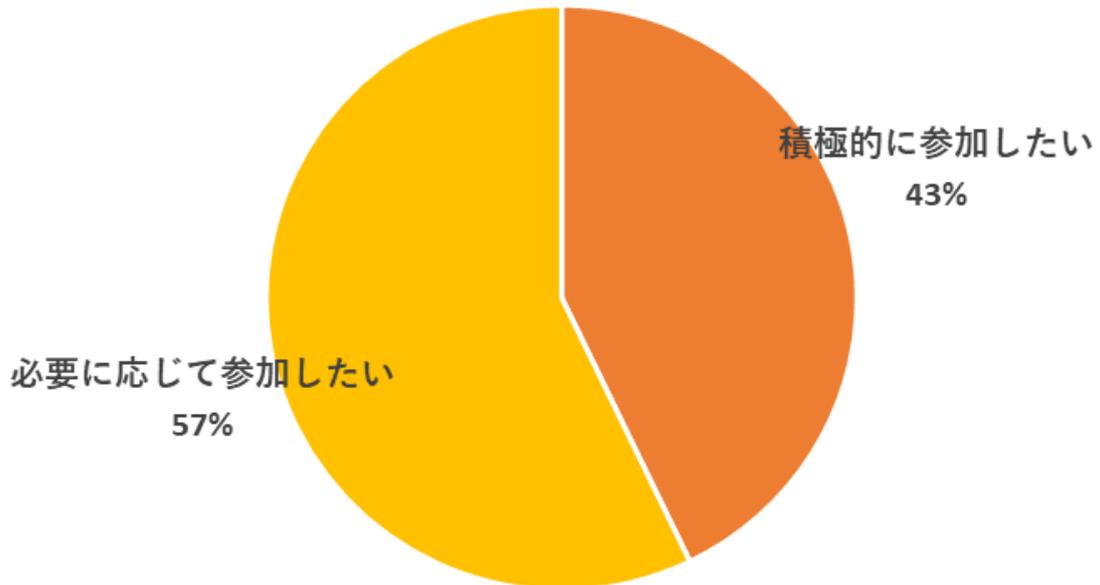
■ 講座の総合的な満足度



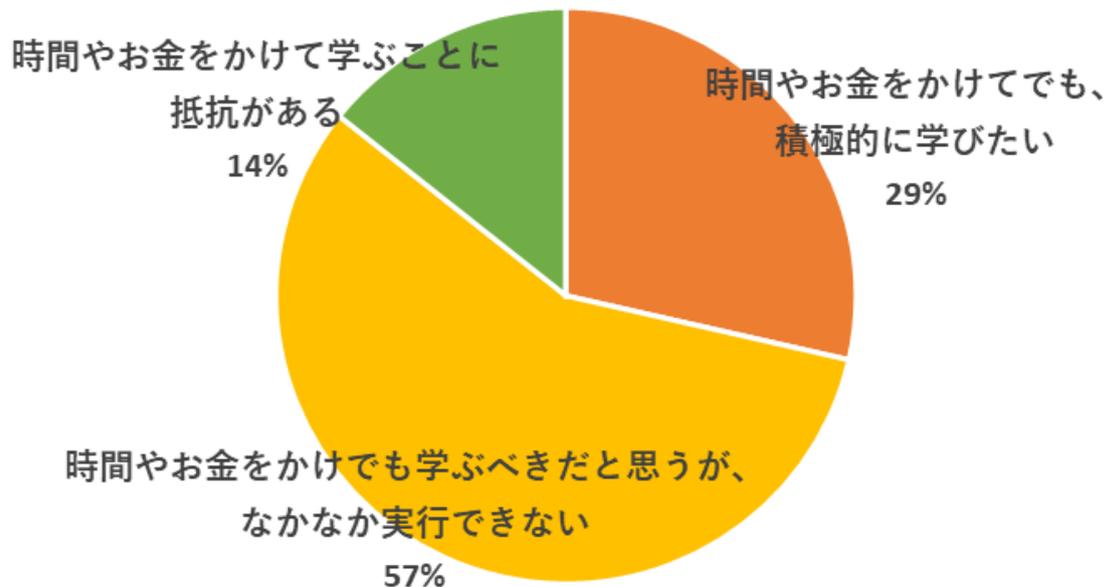
一部オンラインでの参加だったため、会話やグループワークがスムーズに行えず通信環境にも問題が生じて中断することとなり、満足度に影響が及んでしまった。しかし、対面で参加した受講者の満足度は総じて高い。通信環境の整備や視聴するだけで完結できる内容にするなど、オンライン講座の改善は次回の課題とする。

■今後の学びについて

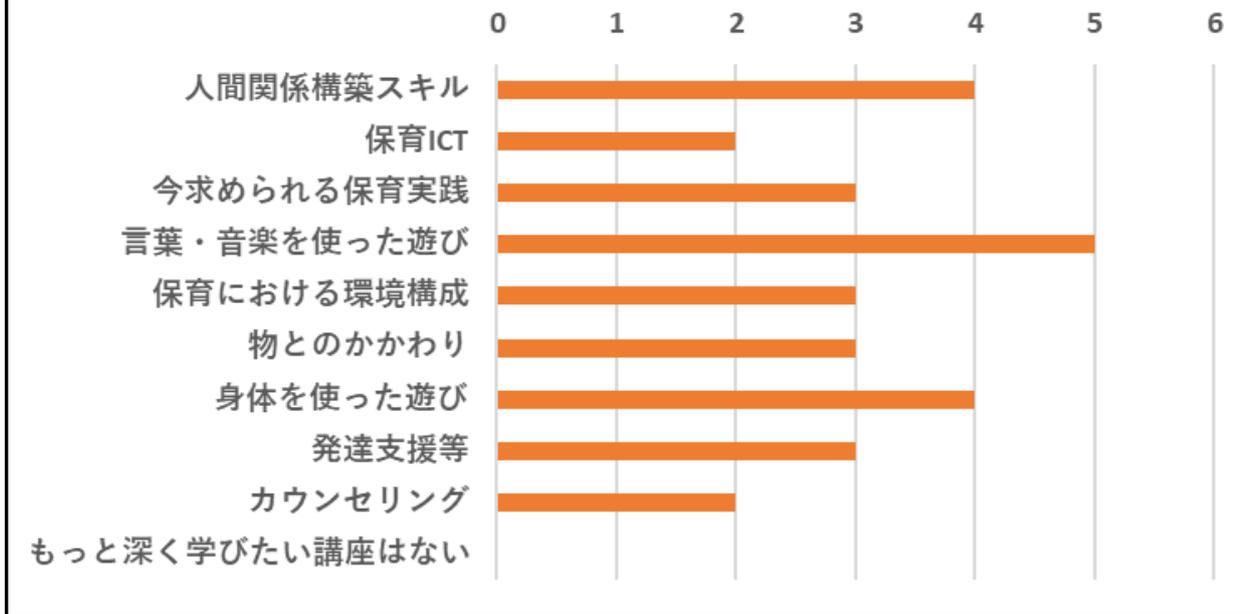
勤務時間扱いで受講する研修について



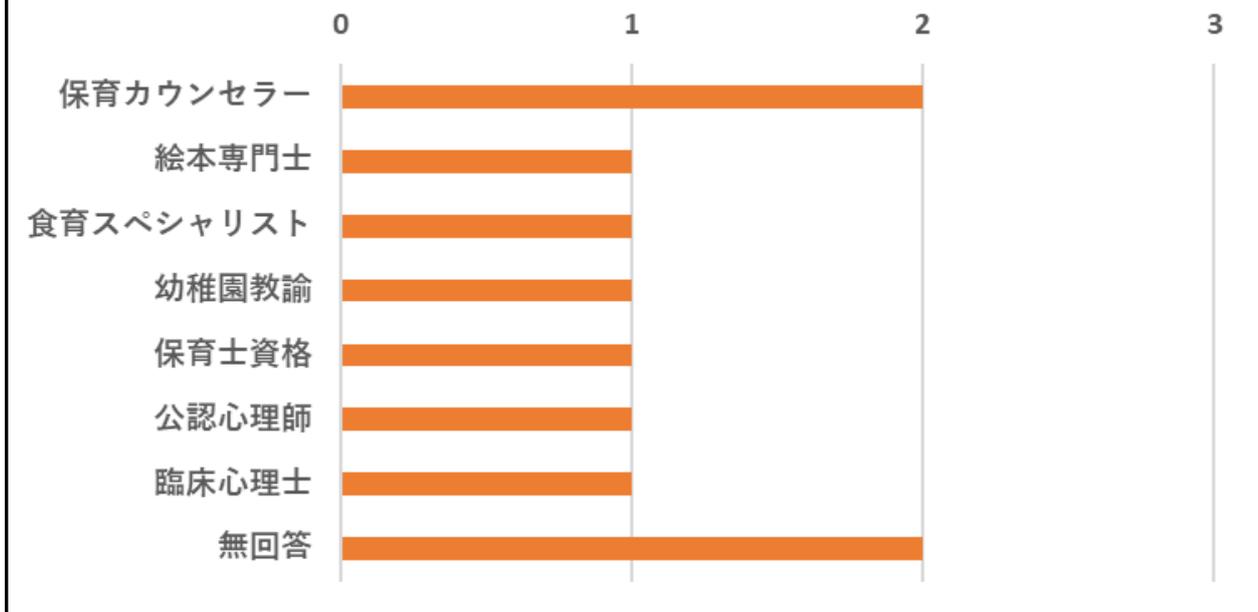
勤務時間外に自主的に学ぶことについて



## もっと深く学びたい講座



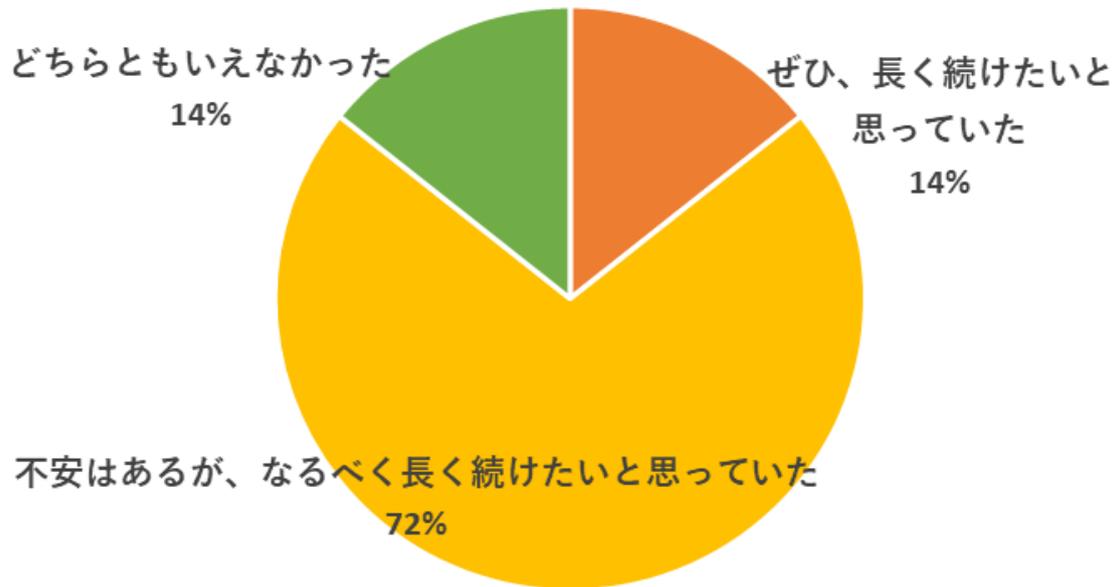
## 今後取得したい保育に関する資格



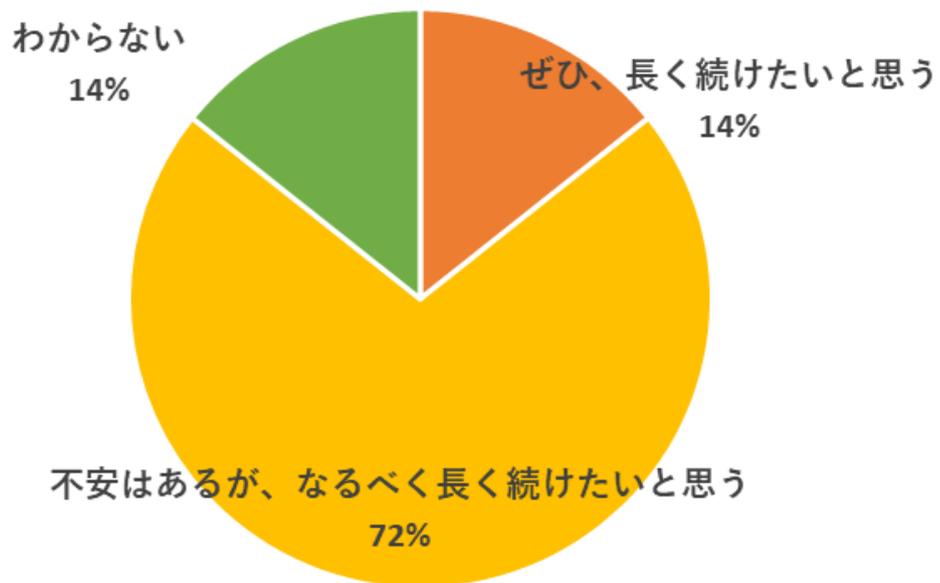
学ぶことに抵抗はなく資格取得にも前向きだが、勤務時間以外に時間やお金をかけて学ぶことはできていないので何らかのサポートが必要である。取得したい資格やスキルアップの方向性はそれぞれ異なり、自分の得意分野で個性を発揮したいと考えていると思われる。また、「遊び」に関する学びを求める人が多いので、現場でも必要性が高いのではないだろうか。

■保育職を続けられる環境にあるか

**受講前、保育職を続けたいと思っていたか？**

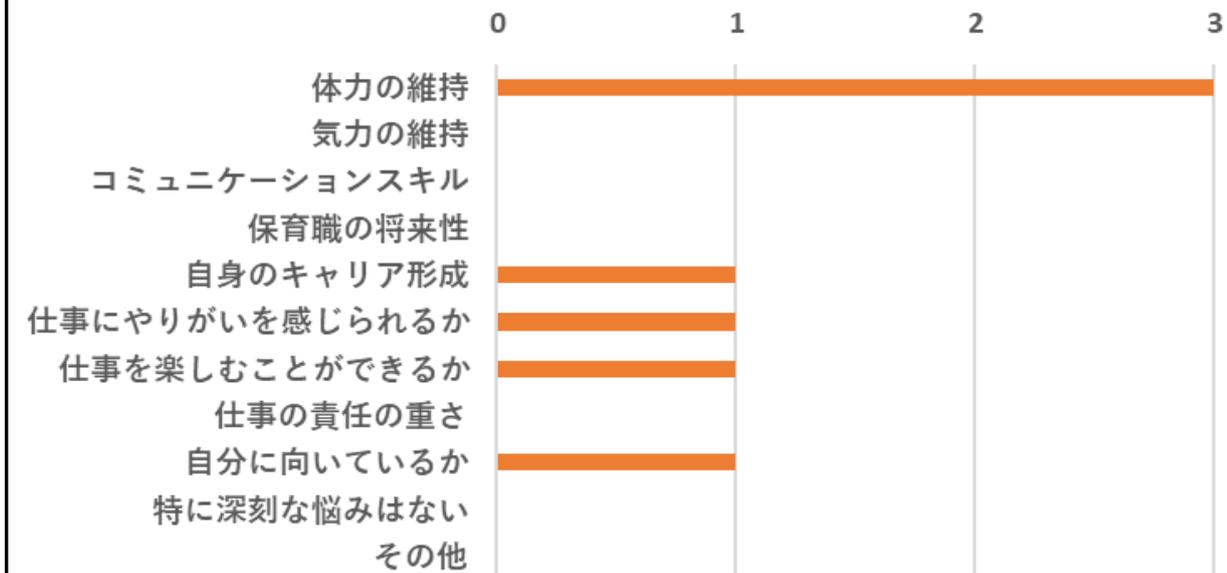


**受講後、保育職を続けたいと思うか？**

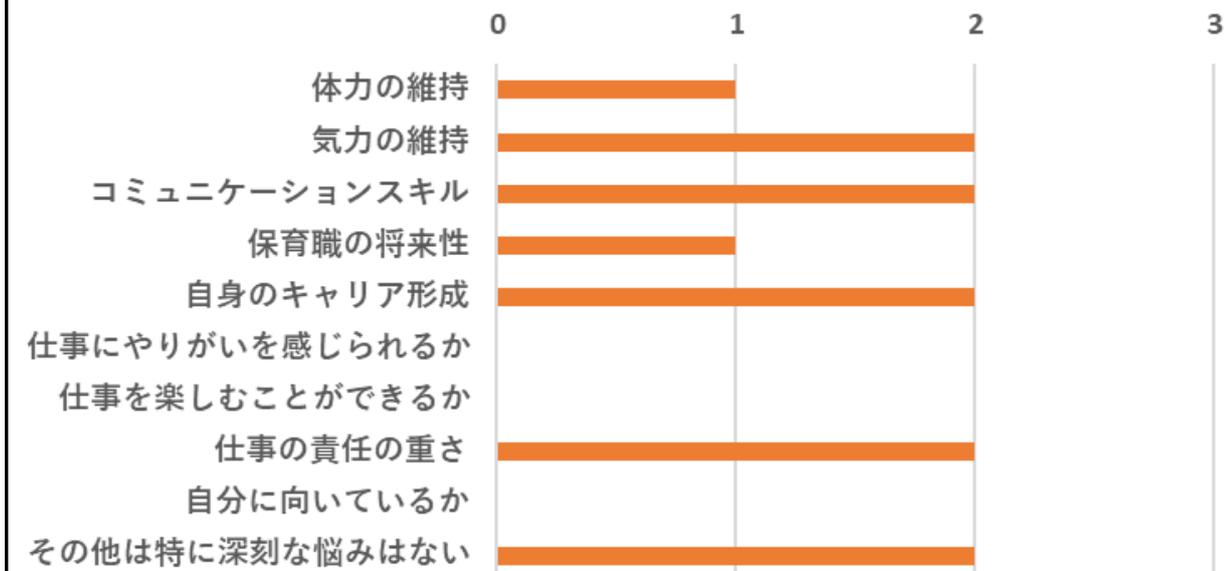


フリーコメントでは「不安な点がなくなり、もっと頑張ろうという気持ちが強くなった」「定年後も保育に関わりたい」とかなり前向きな意見が寄せられている。

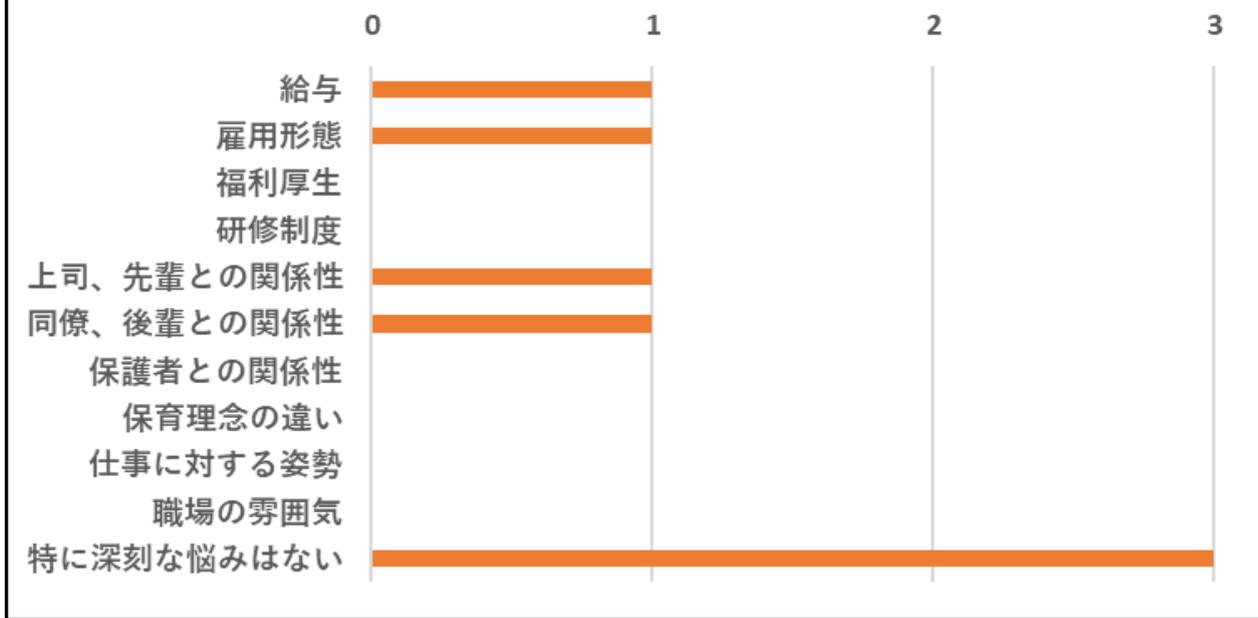
## 保育職を続けることへの一番の不安



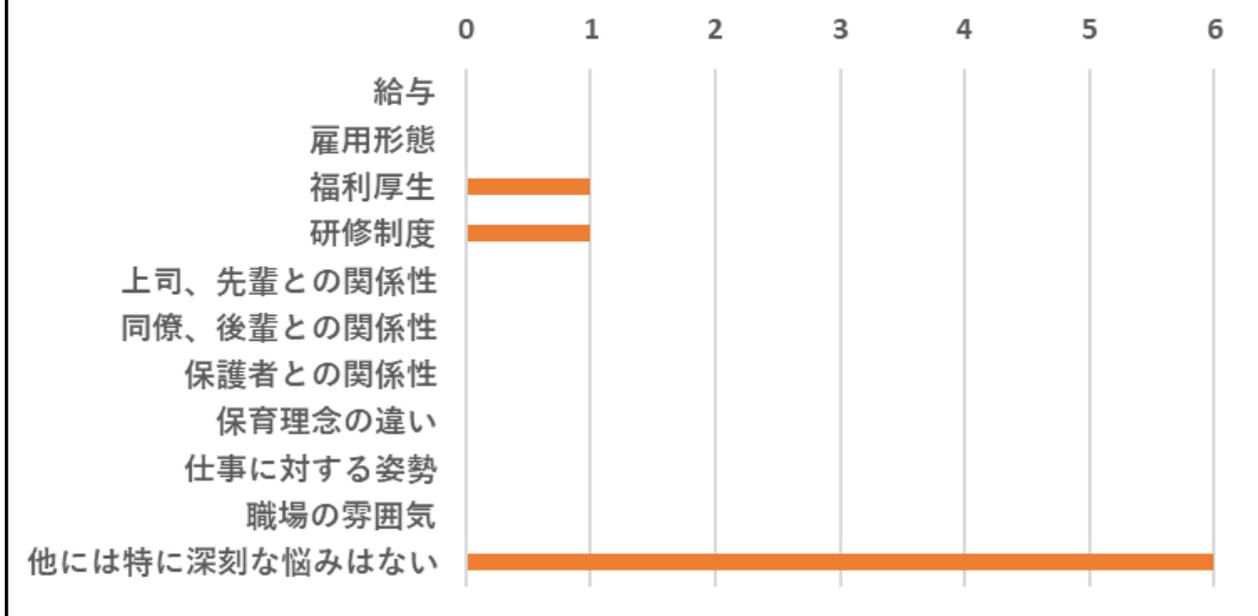
## その他、保育職を続けることへの不安



## 現在の職場で一番悩んでいること



## その他、現在の職場で悩んでいること



保育職でも継続するにあたっての不安が「体力と気力の維持」が目立っている。また、少子化による「保育職の将来性」や「自身のキャリア形成」「責任の重さ」など保育職でどうモチベーションを保つかという点に不安を抱えている人が多い。しかし、給与や福利厚生に多少不満を感じている人はいるものの「特に深刻な悩みはない」人が多く、働く環境としては整っていると思われる。職場に対する悩みが少ない分、自身のキャリア形成を真剣に考えているのではないだろうか。子どもに関わる責任感をやりがいや楽しみに感じられるようなスキルアップ講座などで、前向きになれるようしっかりサポートしてあげると良いと考える。

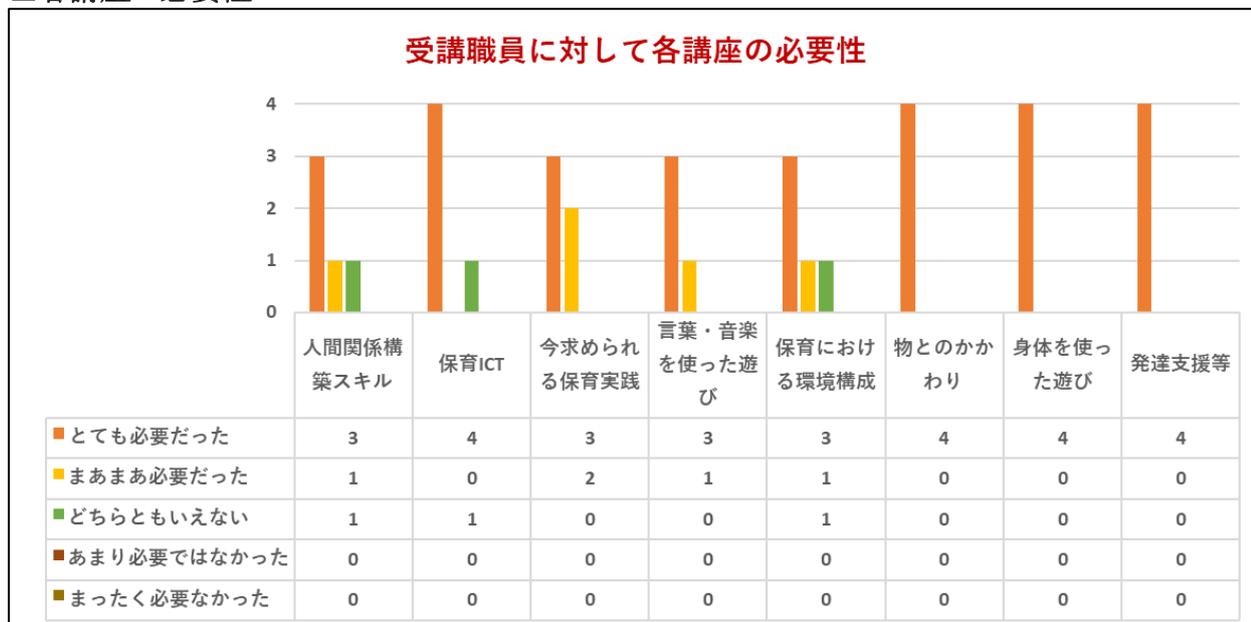
## 【保育リカレント検証講座の施設側アンケート結果】

調査対象: 保育リカレント検証講座に職員が受講した施設

調査日: 2022年10月25日～11月4日

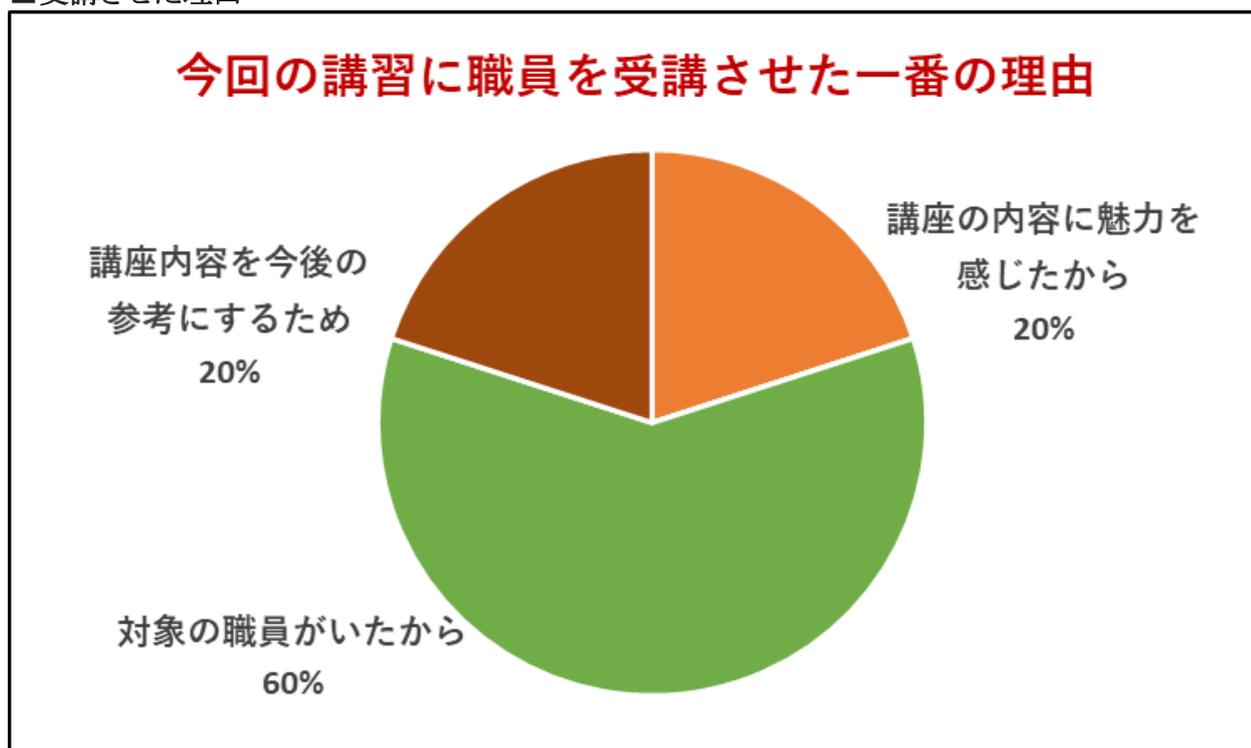
回答数: 5施設

### ■各講座の必要性

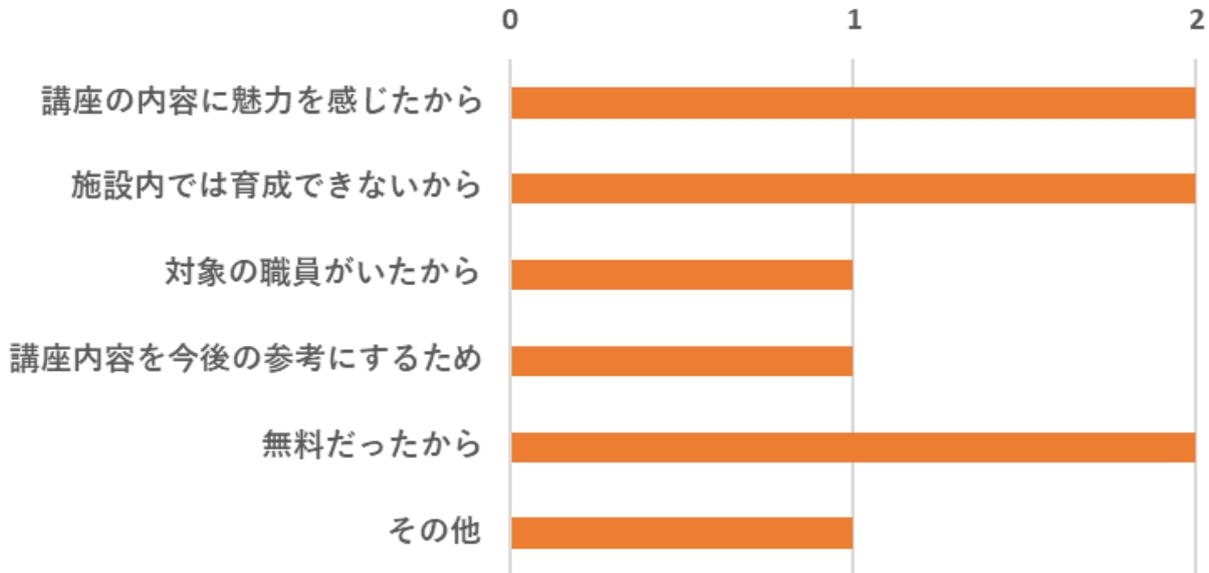


今回の受講者にとって各講座、ある程度必要な内容だったと評価された。「今回の職員には重要でない講座もあるが園内の職員には必要」という声もいただいている。業務分担によってICTや環境構成などに必要性のバラつきが生じた。しかし、どの施設も「施設内でも研修や指導は行っているが、外部での学びはよい刺激と気付きにつながる」と、学びのマンネリ化から脱するためにも外部講座は重視しているようだった。

### ■受講させた理由



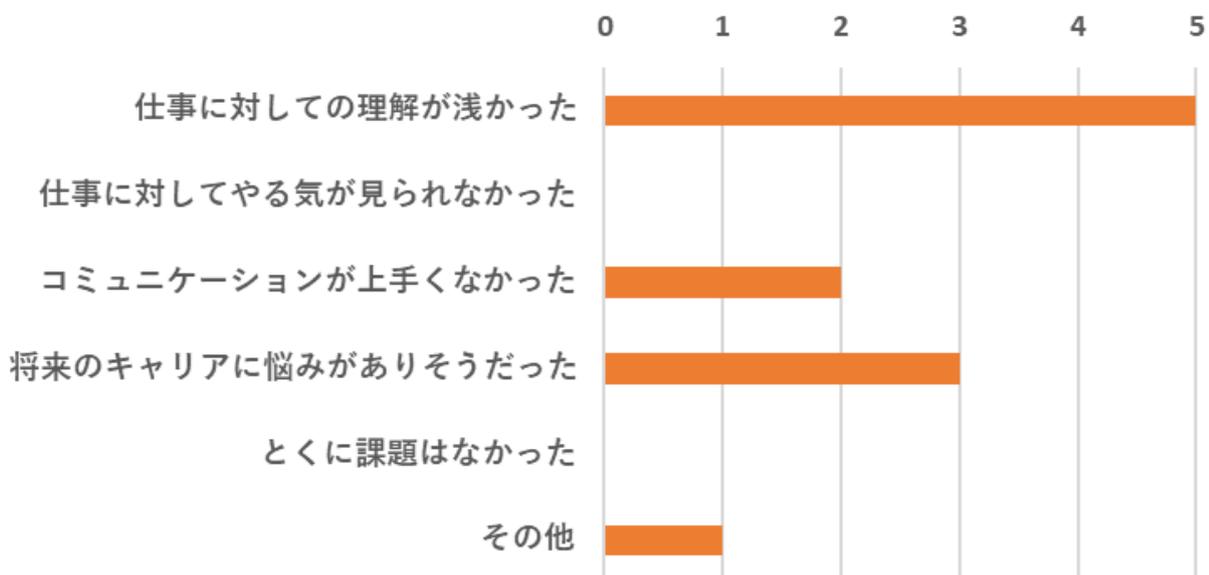
## その他の受講させた理由



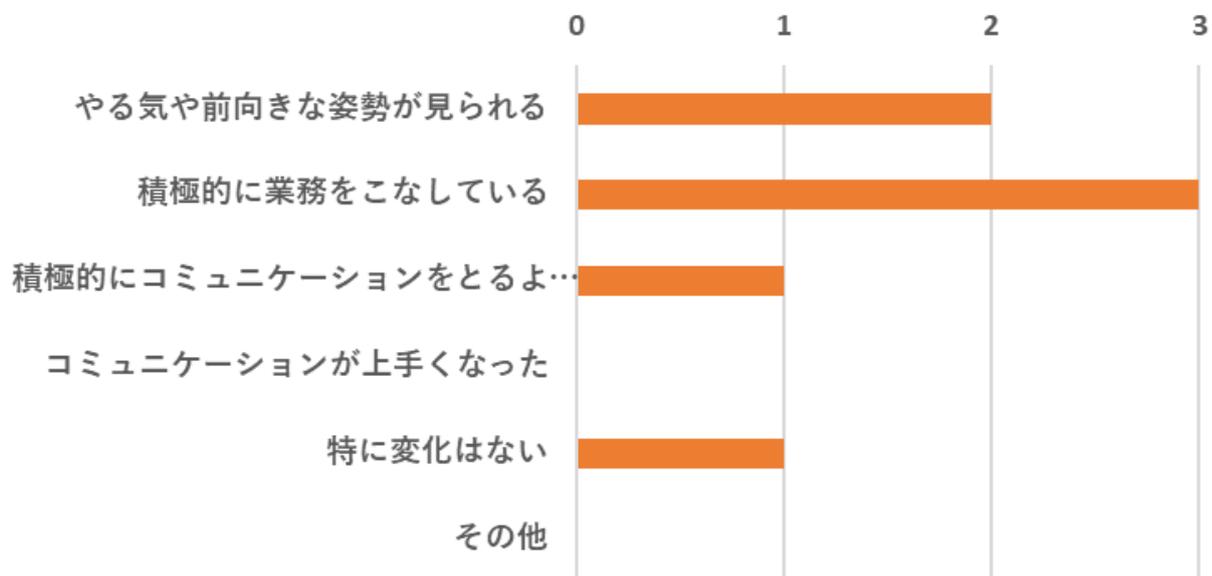
「募集対象の職員がいたから受講させた」という理由が最も多く「無料だったから」「講座内容を今後の参考にするため」など、チャンスがあれば職員にさまざまな講座を受講させたいと考える園の参加が多かったようだ。講座内容では「遊びなどの実務研修」と「人間関係構築スキル」に魅力を感じたという意見があった。また、「園内での育成が難しい職員」を外部の講座なら気付きや変化があるのではないかと期待して参加させてくれた園もあった。

### ■受講後の変化

## 受講前、受講者に課題はありましたか？

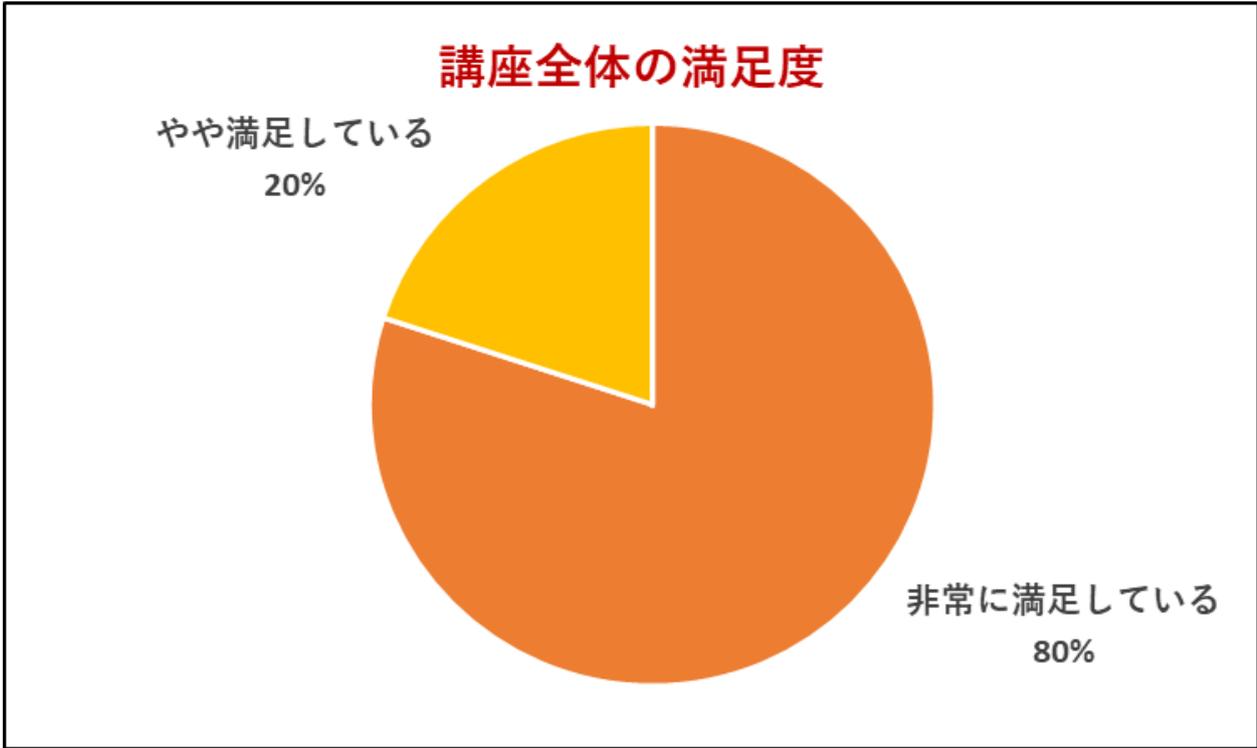


## 受講後、受講者に見られる1番の変化



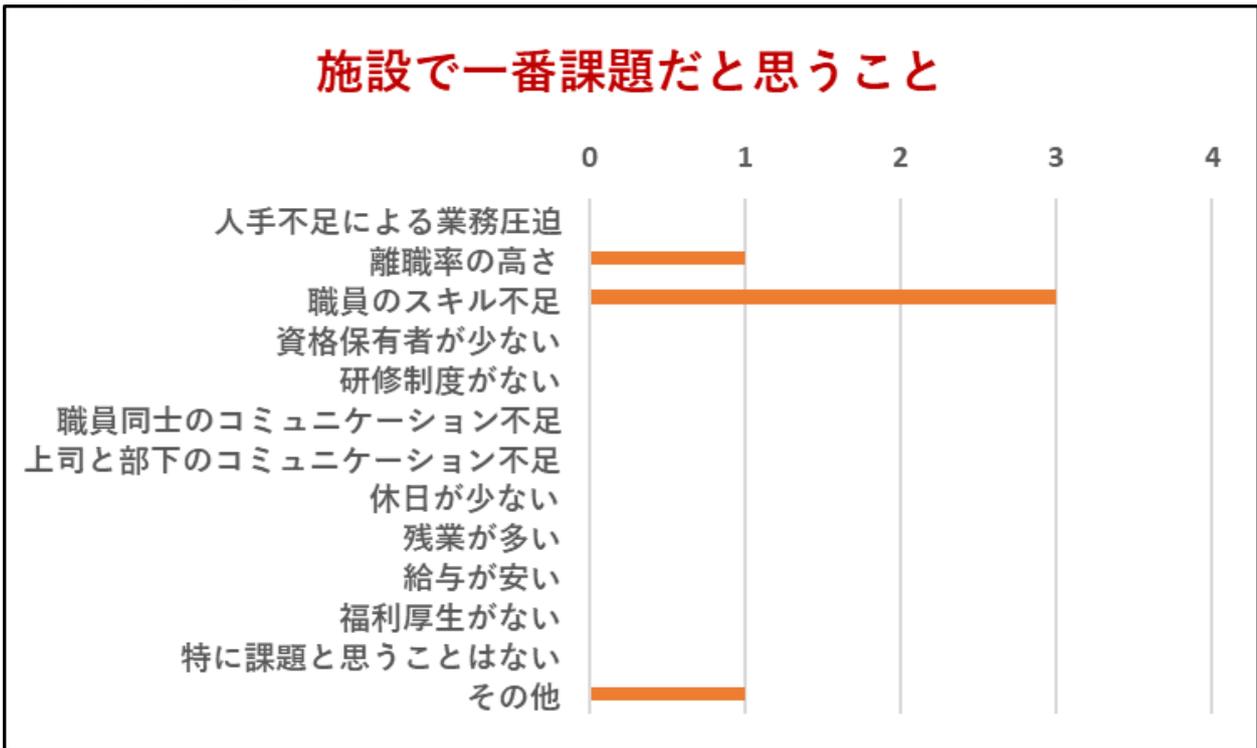
## 受講後、受講者に見られるその他の変化



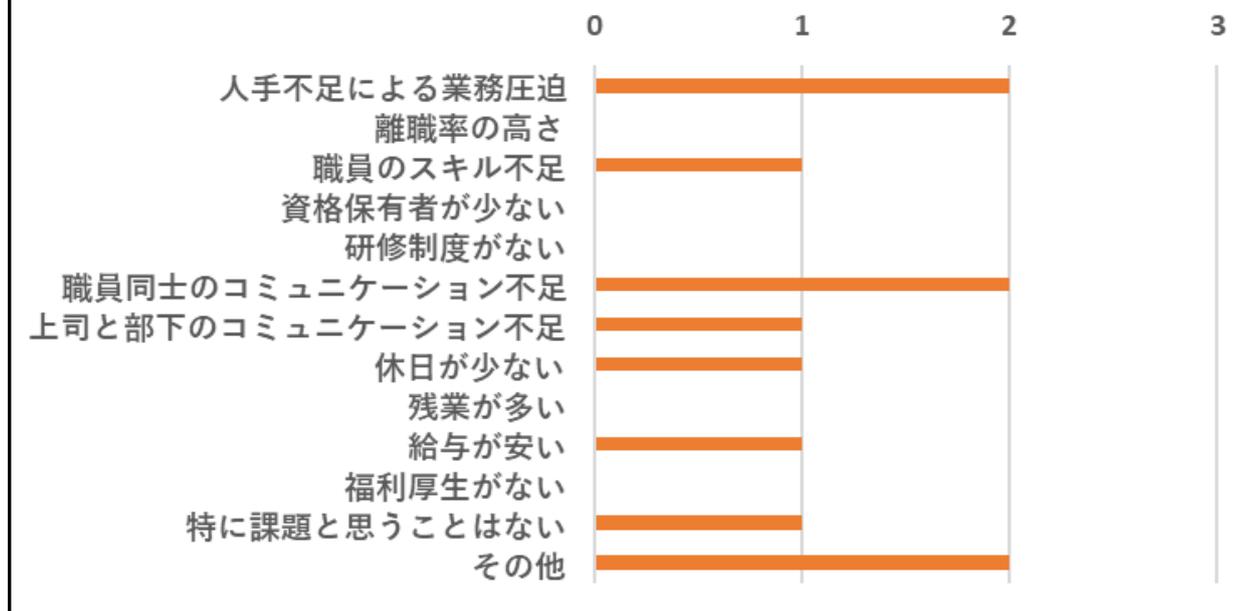


参加者 7 名のうち 6 名は受講後すぐに「積極性」「やる気」などの変化があったとの回答を得られた。講座内容や受講者の変化に対しての満足度は高いが、一部オンラインの不具合が不満要素として影響している。しかし、受講生が講座内容を園内で共有したところ「他の職員にも評判が良かった」などの意見もいただけた。遊びなどの実践的な講座は園で共有できるので、波及効果も高いと思われる。

#### ■ 職場環境の課題



## その他の施設での課題



「職員のスキル不足」を一番の課題に挙げる園が多いが、話を聞くと「人手不足」が影響している。保育補助やパート保育士が多く、職員数は足りているが正規職員は業務に追われている園が多い。そのため新人教育が十分に行えない。また、ベテラン職員への新しい保育知識の導入も難しく、「中堅職員の育成」や「中堅職員のリカレント」を求める声も多かった。

### 【福祉人材の継続的人材確保に向けた検証講座の分析結果】

介護リカレント検証講座については、やりがいと魅力のある職業であることを発信し未経験者や無資格者から介護職に興味を持つ人材を発掘し育成する。介護職への理解を深める講座と職業体験(インターンシップ)を行い、未経験者の不安を払拭して就職マッチングに繋がる講座を令和5年1月に実施する。

保育リカレント検証講座については、法改正により改善された労働条件などの魅力を発信し、長年保育職を離れている潜在保育士を掘り起こし復職の意欲を掻き立てる。現在の保育の現場の教育方針やICTなど離職のギャップを埋める講座と職業体験(インターンシップ)を行い、保育士としてのやりがいを再認識してもらい自信を持たせる講座を令和5年1月に実施する。

### 3 福祉リカレント短期講座

就職氷河期世代向け教育プログラムのカリキュラム・シラバスの検討・開発(令和4年度版)

【就職氷河期世代向けリカレント教育プログラムのカリキュラム・シラバスの開発概要】

【①介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座カリキュラム(令和4年度版)】

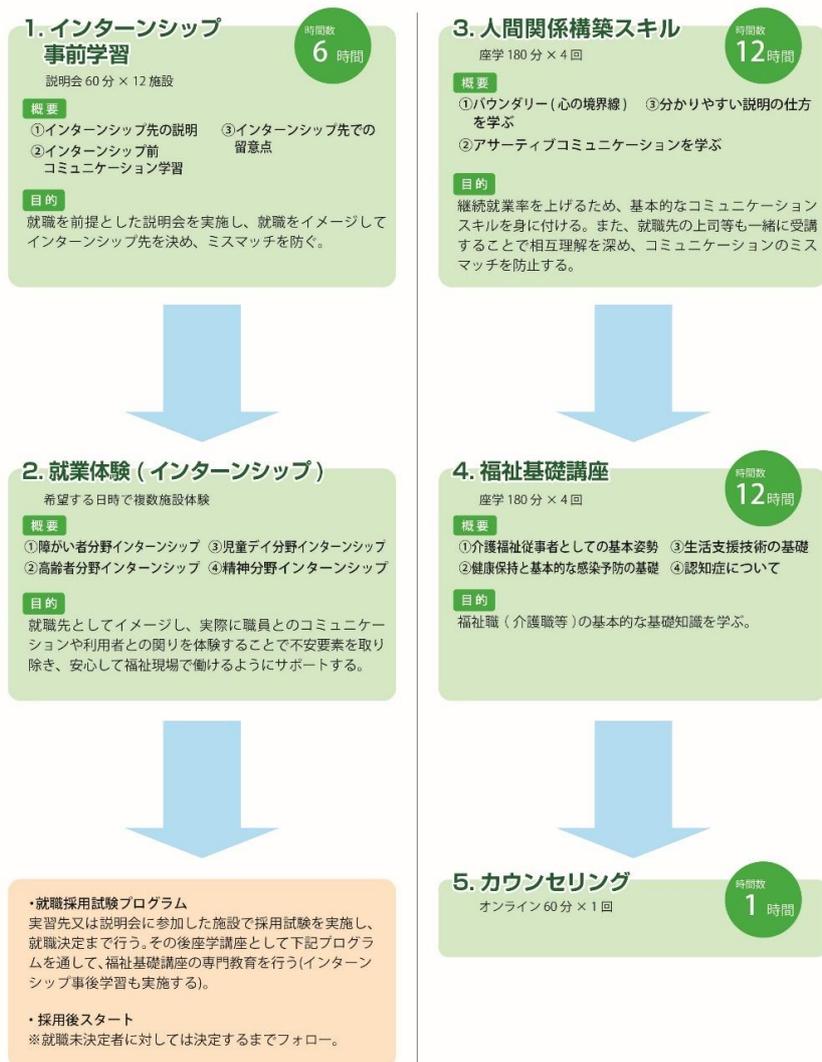
【ターゲット】

就職氷河期世代(概ね35歳～55歳等)の求職者、介護業界に戻りたい方(有資格・無資格どちらでも可)

【カリキュラムの特徴】

基本的には従来の座学講座からのスタートではなく、演習講座(就業体験)からスタートし、プログラム前半で就職を決定する。就職先の理解を得た上で、勤務しながら福祉基礎講座を受講してもらう。この講座を受講することで、就業に対する思考を深めることができるとともに、先に就職先を確保することで生活の安定を図ることができ、金銭面や精神面にゆとりを持って受講することが可能となる。また、その後の学びから自らの業務に対する課題も見つめることができるため、より意欲的に学習できる環境を設定できる利点があげられる。施設側のメリットとしては、現場で負担することなく、新規採用者に基礎知識を習得させることができる。

【介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座の流れ】



## 【開発したシラバス(令和4年度版)】

介護就職への就職マッチング型ステップアップ短期講座のシラバスについて、以下に示す。

### 介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座授業概要

【令和4年度】

【科目名】 インターンシップ事前学習		【授業の種類】 説明会・講義・オンライン		【授業担当者】	
【授業の回数】 3回	【時間数】 18時間	【リカレント教育分野】 介護	【日時】 令和5年1月10日(火)、 11日(水)、14日(土)		
<p>【授業の目的・ねらい】 1day インターンシップ事前学習として、インターンシップ先の施設概要、働き方などを理解し、学びのイメージを高めることとする。また、インターンシップ期間中、円滑なコミュニケーションを取るための効果的な学習も行う。</p> <p>【授業全体の概要】 就職を前提とした説明会を実施し、インターンシップ先の施設を決定する。事前学習の中でインターンシップ先をイメージし、ミスマッチを防ぐことやコミュニケーション学習を通して自分の強みなどを理解するとともに、充実したインターンシップ演習に結びつける。</p> <p>【授業修了時の達成課題(到達目標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 意欲的にインターンシップに臨めるようになる</li> <li>2. 自分の強みなどを理解してコミュニケーション力を向上させる</li> <li>3. インターンシップ先の概要などを理解する</li> </ol>					
コマ数	授業のテーマ		授業の内容		
1	インターンシップ先の説明会		インターンシップ先事業所・利用者の理解		
2	インターンシップ前コミュニケーション学習		自分の強みや、他者理解なども含めたコミュニケーション学習		
3	インターンシップ先での留意点		インターンシップ先の共有と留意点の確認		
【使用テキスト・参考文献】			【備考】		
【参考文献】 自主制作資料					

## 介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座授業概要

【令和4年度】

<b>【科目名】</b> 1day インターンシップ	<b>【授業の種類】</b> 実習	<b>【授業担当者】</b>
<b>【授業の回数】</b> 1日～5日	<b>【時間数】</b> 8時間～30時間	<b>【リカレント教育分野】</b> 介護
<b>【日時】</b> 令和5年1月16日(月)～ 1月31日(火)		
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 各分野の利用者とのふれあいを通じてコミュニケーションを深め、利用者のニーズと介護の機能について学び、指導の下で利用者の日常生活支援を体験する。さらに、施設の概要や理念、介護職の役割について学び、利用者の生活の場としての施設について理解を深め、インターンシップを通して実際に施設で就業することをイメージして実習を行う。働きたいと思った施設においては就職マッチングまで行うことを目的とする。 各施設でインターンシップを体験し、福祉分野で活躍する自分の姿を想像する。また、現場での体験を通して施設理解、介護の役割、利用者・職員とのコミュニケーションを図り、雰囲気を理解することを目的とする。		
<b>【授業全体の概要】</b> 実習施設・事業所等の実際を体験し、福祉分野で活躍する自分の姿を想像する。また、施設の機能や利用者サービスの基本的なケアを学ぶ。		
<b>【授業修了時の達成課題(到達目標)】</b> 1. 施設の理念・目的を知る 2. 利用者の生活を理解する 3. 利用者の障がいを理解する 4. 基本的な介護・支援技術を学ぶ 5. 働きたい就職先を見つける		
<b>コマ数</b>	<b>授業のテーマ</b>	<b>授業の内容</b>
1	①介護施設インターンシップ	就職マッチングのためのインターンシップ
2	②介護施設インターンシップ	就職マッチングのためのインターンシップ
3	③介護施設インターンシップ	就職マッチングのためのインターンシップ
4	⑤介護施設インターンシップ	就職マッチングのためのインターンシップ
5	その他	
6		
<b>【使用テキスト・参考文献】</b>		<b>【備考】</b>
<b>【参考文献】</b> 自主制作資料		

## 介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座授業概要

【令和4年度】

<b>〔科目名〕</b> 福祉基礎講座① 健康保持と基本的な感染予防の基礎		<b>〔授業の種類〕</b> 講義		<b>〔授業担当者〕</b>	
<b>〔授業の回数〕</b> 6回		<b>〔時間数〕</b> 6時間		<b>〔リカレント教育分野〕</b> 介護	
<b>〔日時〕</b> 令和5年2月1日(水)					
<b>〔授業の目的・ねらい〕</b> 介護従事者が安全かつ適切に利用者を支援していくために必要な、健康や保健関連の基礎的な知識・技術を学ぶ。また継続したケアの提供のため、利用者のみならず介護者自身の健康管理・体調保持の重要性について理解することを目的とする。					
<b>〔授業全体の概要〕</b> 利用者の生活を支えるための健康や保健関連の基礎的な知識・技術を理解できるよう概説する。また、演習を通じて標準予防策(スタンダードプリコーション)に必要な基礎的な技術習得を図る。					
<b>〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者を支援に関連する健康保持や保健関連の重要性を捉えている</li> <li>2. 現場で使用する標準予防策の基礎知識や技術を理解している</li> </ol>					
<b>コマ数</b>	<b>授業のテーマ</b>			<b>授業の内容</b>	
1	保健医療の知識を学ぶ意義			○健康保持や観察の意義 ○保健医療に関する制度・医療行為など	
2	健康状態の把握①			○健康状態を知る項目(バイタルサインなど)について ○高齢期の特徴について	
3	健康状態の把握②			○急変時対応の基礎的な方法 ○介護者自身の心身の健康保持について	
4	基本的な感染予防の基礎①			○感染予防の基礎知識 ○生活環境の清潔等	
5	基本的な感染予防の基礎②			○手洗い方法 ○手指消毒、グローブ等感染予防	
6	科目のまとめ			○科目の内容を振り返り、修了時の達成課題(到達目標)を確認	
<b>〔使用テキスト・参考文献〕</b> ・参考: 初任者研修テキスト				<b>〔備考〕</b>	
<b>〔参考文献〕</b> ・講師の自主作成資料					

## 介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座授業概要

【令和4年度】

[科目名] 福祉基礎講座② 生活支援技術の基礎		[授業の種類] 講義		[授業担当者]	
[授業の回数] 6回	[時間数] 6時間	[リカレント教育分野] 介護		[日時] 令和5年2月2日(木) 2月7日(金)	
<p><b>[授業の目的・ねらい]</b>                  利用者の自己実現を図るために介護福祉士が専門性として行う「生活支援技術」の基礎を学習する。また、尊厳保持・適切な自立(自律)支援・潜在能力への働きかけ等の視点、安全配慮の視点など、生活支援技術を使用する際のポイントを体感することを目的とする。</p> <p><b>[授業全体の概要]</b>                  利用者の生活を支える生活支援技術の基礎を適切に理解できるよう概説する。演習を通じて就職に必要な基礎的な技術習得を図る。</p> <p><b>[授業修了時の達成課題(到達目標)]</b>                  1. 尊厳や自立(自律)支援などの視点に基づいた生活支援技術の基本姿勢、意義を理解している                  2. 基本的な生活支援技術を使用する際の大切なポイントを理解している</p>					
コマ数	授業のテーマ	授業の内容			
1	生活支援技術の意義と目的	○単なる介助の技術ではない「様々な思考過程や科学的根拠を含んだ技術」 ○生活支援技術を身に付ける際の重要な視点			
2	コミュニケーション技術の基本	○利用者の個性の理解、個性に応じた言葉かけ ○援助動作の説明、適切な言葉かけ			
3	食事介助の基本	○食事摂食介助の留意点や観察の視点 ○嚥下のしくみ、介助の基本、言葉かけの方法			
4	ボディメカニクスの基本	○身体のしくみや安楽な介護の基本 ○介護者自身の身体の安定・健康について ○ストレッチ方法			
5	移動介助(車いす移動)の基本	○移動の介護の意義や車いすの使用方法について ○車いす移動体験からの気づきを確認			
6	科目のまとめ	○科目の内容を振り返り、修了時の達成課題(到達目標)を確認			
<b>[使用テキスト・参考文献]</b> ・参考: 初任者研修テキスト		<b>[備考]</b>			
<b>[参考文献]</b> ・講師の自主作成資料					

## 介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座授業概要

【令和4年度】

<b>【科目名】</b> 人間関係構築スキル① バウンダリー(こころの境界線) アサーティブコミュニケーションを学ぶ	<b>【授業の種類】</b> 講義	<b>【授業担当者】</b>
<b>【授業の回数】</b> 6回	<b>【時間数】</b> 6時間	<b>【リカレント教育分野】</b> 介護
<b>【日時】</b> 令和5年2月2日(木)～ 2月3日(金)		
<b>【授業の目的・ねらい】</b> コミュニケーションにおいて、どこまでが自分の「領域(責任領域)」で、どこからが他人の領域なのかを学ぶとともに、バウンダリー(心の境界線)を理解し、実践編とも言えるアサーティブコミュニケーションについて学ぶ。シンプルな「伝え方」の技術を構造化し、アサーティブコミュニケーションの実践と相手から発せられる「言葉」に付けた「解釈」を広げるレッスンをを行い、対人関係の築き方を学ぶことを目的とする。		
<b>【授業全体の概要】</b> 1. バウンダリー(こころの境界線)とは 2. 自分の状態を理解する 3. 歩き方や姿勢から自然体に生きる方法について 4. 自分にとってのバウンダリー 5. アサーティブの定義 6. 「怒り」の下にある「本音」に触れる 7. アサーティブコミュニケーション実践		
<b>【授業修了時の達成課題(到達目標)】</b> 1. 相手の領域について基礎的な知識を理解することができる 2. 自分の状態を理解することができる 3. 自分にとってのバウンダリーを理解し、表現することができる 4. 双方がストレスなく会話ができる技術の基礎を理解することができる 5. アサーティブコミュニケーションを身につけることができる 6. 本音を伝え合うことができる		
<b>コマ数</b>	<b>授業のテーマ</b>	<b>授業の内容</b>
1	バウンダリー(こころの境界線)とは	○バウンダリーの概念を理解する ○バウンダリーの内側にあるもの ○バウンダリーの外側にあるもの
2	自分の状態を理解する	○バウンダリーを守れていない状況を振り返る ○つい相手に踏み込んでしまうこと ○つい相手に踏み込まれてしまうこと ○バウンダリーの中に持つ「価値観」の明確化
3	自分にとってのバウンダリー	○理想のバウンダリー、現実のバウンダリー ○理想に近づく「最初の一歩」を見つける
4	アサーティブとは	○アサーティブの定義について
5	「怒り」の下にある「本音」に触れる	○本音の見つけ方について ○本音を伝えると「わだかまり」がほどけやすい事について
6	アサーティブコミュニケーション実践	○「本音」を伝えてみる事について
<b>【使用テキスト・参考文献】</b> ・講師の自主作成資料		<b>【備考】</b>

## 介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座授業概要

【令和4年度】

<b>【科目名】</b> 人間関係構築スキル② 分かりやすい説明の仕方	<b>【授業の種類】</b> 講義	<b>【授業担当者】</b>
<b>【授業の回数】</b> 6回	<b>【時間数】</b> 6時間	<b>【リカレント教育分野】</b> 介護
<b>【日時】</b> 令和5年2月6日(月)		
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 福祉の仕事は専門的な技術に加え、さまざまな人との関わりが大きなウェイトを占める。利用者を含む家族や関係機関、職場内で人に伝えたいことを「簡潔に、分かりやすく」伝えることが重要である。そのことを踏まえ、「伝える技術」を中心に学ぶことを目的とする。		
<b>【授業全体の概要】</b> 1. 「伝える」と「伝わる」意識の違い 2. 明日からすぐ使える技術		
<b>【授業修了時の達成課題(到達目標)】</b> 1. わかりやすく話すための声のスピード、大きさなどを理解することができる 2. 結論(または概要)から話す技術、話し方を理解することができる		
<b>コマ数</b>	<b>授業のテーマ</b>	<b>授業の内容</b>
1	「伝える」と「伝わる」意識の違い	○1分間自己紹介 ○「分かりやすい説明」の基本構造
2	思考の取り扱い説明書	○分かりやすい説明は、「結果」について ○「要点をまとめる簡単な技術」ズバリ話法
3	明日からすぐ使える技術①	○話すスピード、声の大きさ(呼吸の話) ○立ち方(足の裏を意識する+バウンダリーでやった復習)
4	明日からすぐ使える技術②	○緊張しないで話す技術 ○結論(または概要)から話す技術、話し方
5	伝わる話、伝わらない話 まとめ	○数値化する、具体例を入れる ○フワッとした話に数字と具体例を入れて作文する
6	科目のまとめ	○科目の内容を振り返り、修了時の達成課題(到達目標)を確認
<b>【使用テキスト・参考文献】</b>		<b>【備考】</b>
<b>【参考文献】</b> ・講師の自主作成資料		

【介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座 実施内容】

日程	講座時間	実証講座内容
1/10 (火)	9:30～10:10	◇オリエンテーション
	10:20～15:30	◇就業体験(インターンシップ)説明会 ・10:20～10:50【社会福祉法人麗峰会 沖縄一条園】 ・11:00～11:30【医療法人タピック 沖縄リハビリテーション病院】 ・13:00～13:30【株式会社リンクス メディカルハウス前島】 ・13:40～14:10【おきなわ共生会 特別養護老人ホーム皇・おてだま】 ・14:20～14:50【ふからす長田デイサービス】 ・15:00～15:30【社会福祉法人緑樹会 ケアハウスはいびすかす】

日程	講座時間	実証講座内容
1/11 (水)	9:00～16:20	◇就業体験(インターンシップ)説明会 ・10:20～10:50【医療法人陽和会 南山病院】 ・11:00～11:30【社会福祉法人麗峰会 特別養護老人ホーム つじまち】 ・13:00～13:30【社会福祉法人緑樹会 メディケアハウスていんさぐの花】 ・13:40～14:10【高齢者ハウスりゅうしん】 ・14:20～14:50【社会福祉法人彩生会 百穂園】 ・15:00～15:30【障害者支援施設 都屋の里】

日程	講座時間	実証講座内容
1/14 (土)	9:00～16:20	◇就業体験(インターンシップ) 事前研修

令和5年1月16日(月)～1月31日(火) 就業体験(インターンシップ)期間

日程	講座時間	実証講座内容
2/1 (水)	9:00～16:20	◇福祉基礎講座 健康保持と基本的な感染予防の基礎

日程	講座時間	実証講座内容
2/2 (木)	9:00～12:10	◇人間関係構築スキル
	13:10～16:20	◇福祉基礎講座 生活支援技術の基礎

日程	講座時間	実証講座内容
2/3 (金)	9:00～12:10	◇人間関係構築スキル
	13:10～16:20	◇認知症について

日程	講座時間	実証講座内容
2/6 (月)	9:00～16:20	◇人間関係構築スキル

日程	講座時間	実証講座内容
2/7 (火)	9:00～12:10	◇カウンセリング
	13:10～16:20	◇福祉基礎講座 生活支援技術の基礎

## 【オリエンテーション】



## 【インターンシップ事前研修】



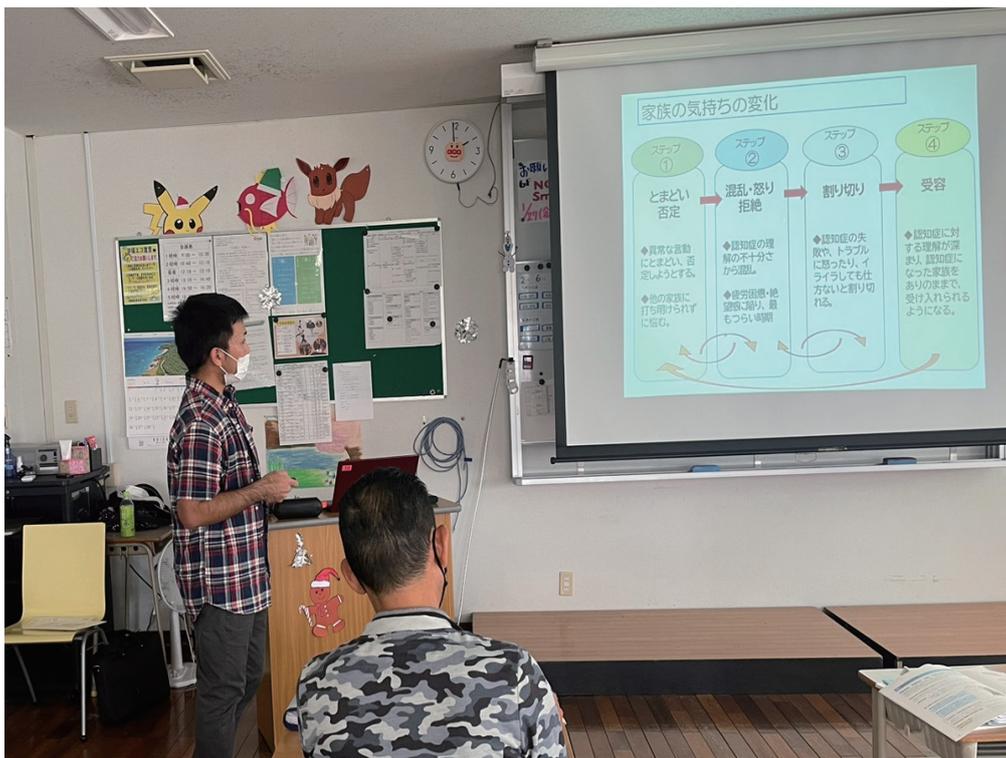
**【講座の様子】人間関係構築スキル**



**【講座の様子】福祉基礎講座 健康保持と基本的な感染予防の基礎**



### 【講座の様子】認知症について



### 【講座の様子】福祉基礎講座 生活支援技術の基礎



## 【②保育リカレント短期講座カリキュラム(令和4年度版)】

### 【ターゲット】

就職氷河期世代(概ね 35 歳～55 歳等)で、保育士資格・幼稚園教諭免許等を所有しているが、現在保育職に就いていない方

### 【カリキュラムの特徴】

保育者に戻りたい、保育者に挑戦したい方に後押しできるようなプログラムで実施する。潜在保育士の方は就職を目標に、無資格者の方は保育養成校等の進学や保育補助の就職に就けるようなプログラムを実施するため、保育現場のインターンシップ等の演習講座を実施し保育に興味を持てるプログラムにする。また、転職のポイントには人間関係も一つの要因としてあるため、人間関係構築スキル等も含めて幅広い学びにする。

## 【保育リカレント短期講座の流れ】



【開発したシラバス(令和4年度版)】

保育リカレント短期講座のシラバスについて、以下に示す。

保育リカレント短期講座 授業概要

【令和4年度】

【科目名】 最新の保育実践		【授業の種類】 講義・オンライン	【授業担当者】
【授業の回数】 6回	【時間数】 17時間	【リカレント教育分野】 保育	【日時】 ・令和5年1月7日～ 1月28日
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①保育職に復職するための最新の保育状況を理解する ②保育現場で今求められている事を理解する</p> <p>【授業全体の概要】</p> <p>1.今求められる保育実践 2.保育における環境構成 3.言葉・音楽を使った遊び 4.物とのかかわり 5.身体を使った遊び 6.発達支援</p> <p>【授業修了時の達成課題(到達目標)】</p> <p>1.最新の保育事情を理解し復職するための知識を得る</p>			
コマ数	授業のテーマ	授業の内容	
1	物とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもともののかかわりで育まれるもの</li> <li>・物との豊かな関わりが味わえる環境のあり方</li> </ul>	
2	言葉・音楽を使った遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの「表現」活動をいかに支援していくか</li> </ul>	
3	今求められる保育実践(オンライン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の現状と課題</li> </ul>	
4	保育における環境構成(オンライン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育における環境構成</li> <li>・根拠のある保育実践</li> </ul>	
5	発達支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こころとからだの面から見た基礎理解</li> <li>・発達支援の基礎理解</li> </ul>	
6	身体を使った遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識や技能の基礎</li> <li>・思考力・判断力・表現力の基礎</li> </ul>	
【使用テキスト・参考文献】		【備考】	

## 保育リカレント短期講座 授業概要

【令和4年度】

<b>【科目名】</b> 人間関係構築スキル① バウンダリー(こころの境界線) アサーティブコミュニケーションを学ぶ	<b>【授業の種類】</b> 講義	<b>【授業担当者】</b>
<b>【授業の回数】</b> 6回	<b>【時間数】</b> 6時間	<b>【リカレント教育分野】</b> 保育
<b>【日時】</b> 令和5年2月2日(木)～ 2月3日(金)		
<b>【授業の目的・ねらい】</b> コミュニケーションにおいて、どこまでが自分の「領域(責任領域)」で、どこからが他人の領域なのかを学ぶとともに、バウンダリー(心の境界線)を理解し、実践編とも言えるアサーティブコミュニケーションについて学ぶ。シンプルな「伝え方」の技術を構造化し、アサーティブコミュニケーションの実践と相手から発せられる「言葉」に付けた「解釈」を広げるレッスンをを行い、対人関係の築き方を学ぶことを目的とする。		
<b>【授業全体の概要】</b> 1. バウンダリー(こころの境界線)とは 2. 自分の状態を理解する 3. 歩き方や姿勢から自然体に生きる方法について 4. 自分にとってのバウンダリー 5. アサーティブの定義 6. 「怒り」の下にある「本音」に触れる 7. アサーティブコミュニケーション実践		
<b>【授業終了時の達成課題(到達目標)】</b> 1. 相手の領域について基礎的な知識を理解することができる 2. 自分の状態を理解することができる 3. 自分にとってのバウンダリーを理解し、表現することができる 4. 双方がストレスなく会話ができる技術の基礎を理解することができる 5. アサーティブコミュニケーションを身につけることができる 6. 本音を伝え合うことができる		
<b>コマ数</b>	<b>授業のテーマ</b>	<b>授業の内容</b>
1	バウンダリー(こころの境界線)とは	○バウンダリーの概念を理解する ○バウンダリーの内側にあるもの ○バウンダリーの外側にあるもの
2	自分の状態を理解する	○バウンダリーを守れていない状況を振り返る ○つい相手に踏み込んでしまうこと ○つい相手に踏み込まれてしまうこと ○バウンダリーの中に持つ「価値観」の明確化
3	自分にとってのバウンダリー	○理想のバウンダリー、現実のバウンダリー ○理想に近づく「最初の一歩」を見つける
4	アサーティブとは	○アサーティブの定義について
5	「怒り」の下にある「本音」に触れる	○本音の見つけ方について ○本音を伝えると「わだかまり」がほどけやすい事について
6	アサーティブコミュニケーション実践	○「本音」を伝えてみる事について
<b>【使用テキスト・参考文献】</b> ・講師の自主作成資料		<b>【備考】</b>

## 保育リカレント短期講座 授業概要

【令和4年度】

<b>【科目名】</b> 人間関係構築スキル② 分かりやすい説明の仕方		<b>【授業の種類】</b> 講義(オンライン)		<b>【授業担当者】</b>	
<b>【授業の回数】</b> 1回	<b>【時間数】</b> 2時間30分	<b>【リカレント教育分野】</b> 保育	<b>【日時】</b> 令和4年2月8日(火)～ 2月10日(木)		
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 福祉の仕事は専門的な技術に加え、さまざまな人との関わりが大きなウェイトを占める。利用者を含む家族や関係機関、職場内で人に伝えたいことを「簡潔に、分かりやすく」伝えることが重要である。そのことを踏まえ、「伝える技術」を中心に学ぶことを目的とする。					
<b>【授業全体の概要】</b> 1. 「伝える」と「伝わる」意識の違い 2. 明日からすぐ使える技術					
<b>【授業修了時の達成課題(到達目標)】</b> 1. わかりやすく話すための声のスピード、大きさなどを理解することができる 2. 結論(または概要)から話す技術、話し方を理解することができる					
コマ数	授業のテーマ	授業の内容			
1	「伝える」と「伝わる」意識の違い	○1分間自己紹介 ○「分かりやすい説明」の基本構造			
2	思考の取り扱い説明書	○分かりやすい説明は、「結果」について ○「要点をまとめる簡単な技術」ズバリ話法			
3	明日からすぐ使える技術①	○話すスピード、声の大きさ(呼吸の話) ○立ち方(足の裏を意識する+バウンダリーでやった復習)			
4	明日からすぐ使える技術②	○緊張しないで話す技術 ○結論(または概要)から話す技術、話し方			
5	伝わる話、伝わらない話 まとめ	○数値化する、具体例を入れる ○フワッとした話に数字と具体例を入れて作文する			
6	科目のまとめ	○科目の内容を振り返り、修了時の達成課題(到達目標)を確認			
<b>【使用テキスト・参考文献】</b>		<b>【備考】</b>			

## 保育リカレント短期講座 授業概要

【令和4年度】

[科目名] 保育 ICT	[授業の種類] 講義	[授業担当者] 玉城 伸悟
[授業の回数] 1回	[時間数] 2時間 30分	[リカレント教育分野] 保育
[日時] 令和4年9月7日(水)～ 14時50～16時20分		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                  保育 ICT を導入する事で、保育士が保育に注力できる環境を整えるために、計画や記録などの保育士の書類作成業務の見直しや、保育補助者との業務分担・ICT の活用、働き方の見直しなどの取り組みを推進できる可能性がある。ただ、保育現場では、ICT 導入の意図が伝わっていない可能性がある。ICT 化に伴い、書類作成業務が大幅に削減で可能性がある。空いた時間を子どもたちと接する時間に当てられ、今まで以上に保育の質の確保・質の向上に繋げる事の重要性を伝えたい。</p> <p><b>【授業全体の内容の概要】</b>                  ICT 化によって業務量を削減すれば、保育の見直しを行う時間もできます。保育の ICT 化をする時には、「この保育や業務はなんのためにしているか」という本来の目的やコンセプトを振り返りながらすすめることが重要です。つまり、ICT 化をすすめることは業務量が削減されるだけでなく、「本当にやりたい保育は？」「なんのために保育をしているのか？」と繰り返し考えることを保育者に理解してもらおう。</p> <p><b>【授業修了時の達成課題(到達目標)】</b>                  1. ICT 導入は、「子ども達と接する時間を多くできる」可能性がある事を理解する</p>		
コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	保育現場の ICT とは？	保育 ICT を通して保育の質の確保・向上に繋げるためには
[使用テキスト・参考文献]		[備考]
[参考文献] 自主制作資料		

## 保育リカレント短期講座授業概要

【令和4年度】

<b>【科目名】</b> インターンシップ事前学習		<b>【授業の種類】</b> 説明会・講義・オンライン		<b>【授業担当者】</b>	
<b>【授業の回数】</b> 3回	<b>【時間数】</b> 6時間	<b>【リカレント教育分野】</b> 保育	<b>【日時】</b> 令和5年1月21日(土)		
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b>                      1day インターンシップ事前学習として、インターンシップ先の施設概要、働き方などを理解し、学びのイメージを高めることとする。また、インターンシップ期間中、円滑なコミュニケーションが取れるように、効果的な学習も行う。</p> <p><b>【授業全体の概要】</b>                      事前学習の中でインターンシップ先をイメージし、ミスマッチを防ぐことやコミュニケーション学習を通して自分の強みなどを理解するとともに、充実したインターンシップ演習に結びつける。</p> <p><b>【授業修了時の達成課題(到達目標)】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 意欲的にインターンシップに臨めるようになる</li> <li>2. 自分の強みなどを理解してコミュニケーション力を向上させる</li> <li>3. インターンシップ先の概要などを理解する</li> </ol>					
<b>コマ数</b>	<b>授業のテーマ</b>		<b>授業の内容</b>		
1	インターンシップ先の説明会		インターンシップ先事業所・利用者の理解		
2	インターンシップ前コミュニケーション学習		自分の強みや、他者理解なども含めたコミュニケーション学習		
3	インターンシップ先での留意点		インターンシップ先の共有と留意点の確認		
<b>【使用テキスト・参考文献】</b>			<b>【備考】</b>		
<b>【参考文献】</b> 自主制作資料					

## 保育リカレント短期講座 授業概要

【令和4年度】

【科目名】 1day インターンシップ		【授業の種類】 実習		【授業担当者】	
【授業の回数】 1日～5日		【時間数】 8時間～30時間		【日時】 令和5年1月23日(月)～ 2月4日(土)	
<p>【授業の目的・ねらい】 各施設で就業体験(インターンシップ)を体験し、保育職に戻る自分の姿を想像する。また、現場での体験を通して園理解、保育の役割、園児・職員とのコミュニケーションを図り、雰囲気を理解することを目的とする。</p> <p>【授業全体の概要】 実習施設・事業所等の実際を体験し、保育園の現在の事情や子ども達の様子を学ぶ</p> <p>【授業修了時の達成課題(到達目標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育園等の理念・目的を知る</li> <li>2. 子どもの保育園等の活動を理解する</li> <li>3. 復職したい就職先を見つける</li> </ol>					
コマ数	授業のテーマ			授業の内容	
1	①保育施設就業体験(インターンシップ)			保育職復職のための就業体験(インターンシップ)	
2	②保育施設就業体験(インターンシップ)			保育職復職のための就業体験(インターンシップ)	
3	③保育施設就業体験(インターンシップ)			保育職復職のための就業体験(インターンシップ)	
4	④保育施設就業体験(インターンシップ)			保育職復職のための就業体験(インターンシップ)	
5	その他				
6					
【使用テキスト・参考文献】				【備考】	
【参考文献】 自主制作資料					

## 【保育リカレント短期講座 実施内容】

日程	講座時間	実証講座内容
1/7 (土)	8:30～9:00	◇オリエンテーション
	9:00～12:10	◇物との関わり
	13:10～16:20	◇言葉・音楽を使った遊び

日程	講座時間	実証講座内容
1/11 (水)	19:00～21:30	◇今求められる保育実践

日程	講座時間	実証講座内容
1/12 (木)	19:00～21:30	◇今求められる保育実践

日程	講座時間	実証講座内容
1/14 (土)	9:00～16:20	◇人間関係構築スキル

日程	講座時間	実証講座内容
1/16 (月)	19:00～21:30	◇人間関係構築スキル

日程	講座時間	実証講座内容
1/21 (土)	9:00～16:20	◇就業体験(インターンシップ)事前研修

## 令和5年1月23日(月)～2月4日(土) 就業体験(インターンシップ)期間

日程	講座時間	実証講座内容
1/28 (土)	9:00～12:10	◇身体を使った遊び
	13:10～16:20	◇発達支援等

日程	講座時間	実証講座内容
1/31 (火)		◇カウンセリング

日程	講座時間	実証講座内容
2/3 (金)	19:00～21:30	◇保育 ICT

【オリエンテーション】



【物との関わり】



【講座の様子】人間関係構築スキル



## リカレント個別カウンセリングまとめ

幸喜穂乃

### 【面談の概要】

- 対象者：福祉人材リスタート教育事業受講者5名（保育2名、介護3名）
- 時 間：1名約60分
- 方 法：オンライン面談
- 内 容：今回の講座受講後の変化やインターンシップ後の福祉職への就職への意欲や現実的な働き方について、対話を通して掘り下げた。
- 講座内容：自己理解（価値観、持ち味、認知の癖など）を深め、目標設定をすることでインターンシップ前の自己効力感アップや主体的な行動を促すグループワークの実践。

### 〈講座を受講しての声〉

- ・今までの人生の中で自己を見つめ知るという、貴重な経験ができ良かった。常に行動を起こす時は小さくても目標を設定し、成功へ導くように計画を立てていきたい。
- ・角度を変えて見ると見方が変わる、相手の視点になって考えられるように心がけたいと思いました。成功のカギはまず「行動」。アンテナをはっていろいろなことに興味を持ちチャレンジしていきたいと思いました。
- ・成功するのは能力の差ではなく、意識の差というのが勉強になった。たくさん話しをして自分では気づかない持ち味と未知の持ち味を提示していただけるように自己開示したいと思います。
- ・楽しく講座を受講できました。自分が知らない宝の持ち味が8つあったので、これを学びにし人間関係や職場の持ち味に活用したいと思います。
- ・この講座で自分とは違う考え方も知れて、更に自己理解についても学べたのですごく良かったです。

### 〈カウンセリングを通して〉

- ・保育人材については、実際に現場経験や接点がある方だったため、短い時間のインターンでも得た情報は大きかったと感じている。介護人材については、複数のインターンを体験することができたことでより自分にあったものが明確になったと感じている。
- ・インターンの機会があることで「迷っていたが、やりたい！という気持ちが強くなった」「現状の現場との比較もでき、自分にあう環境をイメージすることができた」「いろいろ種類がある中で、自分に何があうかが明確になった」と好感触が多かった。
- ・一方で、自分の性格や傾向「なんでも先取りして空回りする」「思い込みが強く自分が受け入れられない」「感情移入しやすく、それを抑えられない」「一つのことを継続したことがなく、結局転職を繰り返すのか」など、過去の経験を回想し、やっていけるかという不安が改めて明確になったとの声もあった。それらはカウンセリングを通して、気持ちが楽になったり、前進できる手応えを得たとの感想があった。

2023年2月7日 火曜日

- ・年齢や働き方について改めて確認することで、面談時の具体的な質問内容や自己開示すべき情報、現職を辞める時にはどうするか？といった質問があり、その解決について複数の提案を行った。
- ・滞在時間の間に園長や主任クラスの方から園の概況や保育方針を丁寧に聞けた方へ就職を希望する傾向があり、単に現場に入るだけで終わるとこどもと触れる満足感の高いものの、就職に繋がらない可能性が高い。
- ・介護現場での不適切と感じる言動で相当な戸惑いをうけ、その場合の対応の仕方について質問があった。その状況のヒヤリングと対応についていくつか提案を行った。
- ・インターンシップを受入施設での職員の不適切な言動により、介護現場全体の印象を紐付ける可能性も否めない。状況もあるが選定については、もう少し検討の余地がある。
- ・カウンセリングは、オンラインでも深い対話となり、家族の状況や過去のトラブルやトラウマなどプライベートな内容が開示される。前回同様、自信のなさや一歩踏み込めなかった中、当事業がきっかけとなり福祉人材として活躍する可能性も感じた。対象となる方の一定数が様々な課題を抱えていることを想定すると、前段含め複数回のカウンセリングの必要性は改めて感じた。

## 【講座受講者のアンケート調査結果】

調査方法:オンラインアンケート

対象者:《介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座》受講者

《保育リカレント短期講座》受講者

調査期間:2023年2月3日～2月7日

有効回答数:7人

### 【介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座】受講者の基本データ

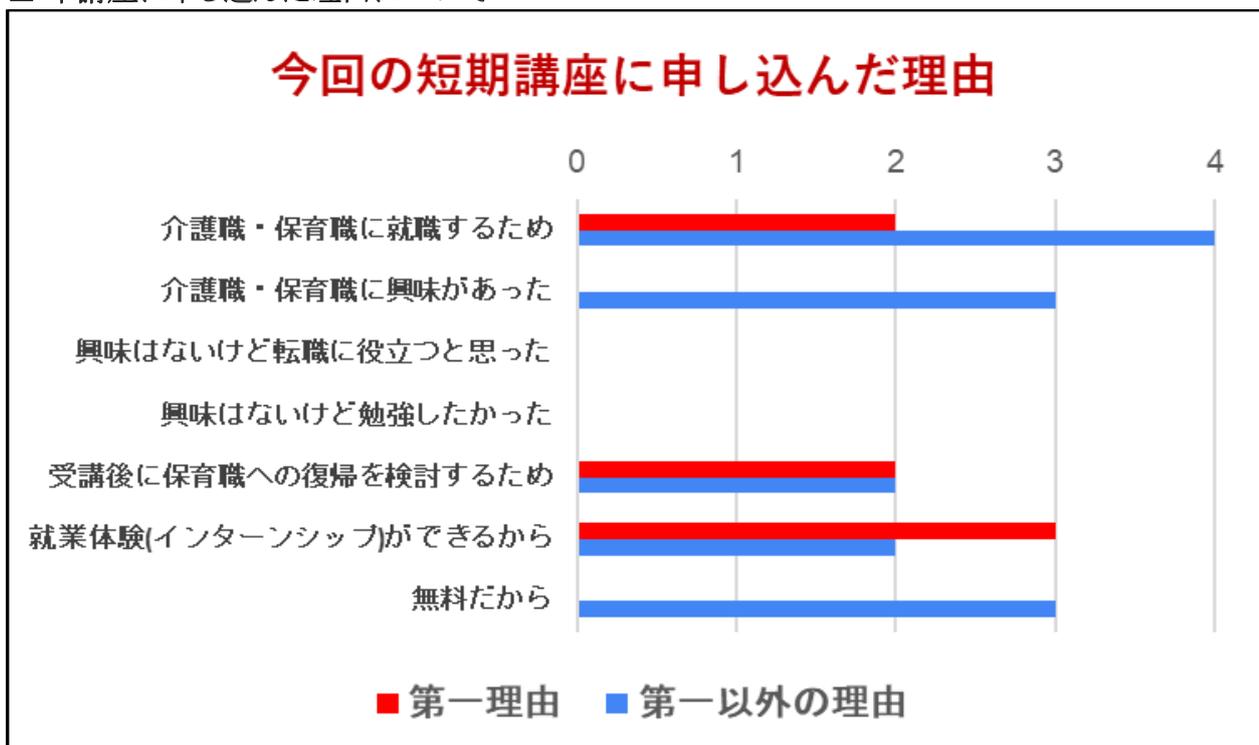
	年齢	性別	前職業	雇用形態	前々職業	雇用形態
1	42歳	女	接客業	アルバイト	接客業	契約社員
2	47歳	女	コールセンター	パート	コールセンター	契約社員
3	54歳	男	障がい者訪問支援員	契約社員	有料老人ホーム支援員	契約社員

### 【保育リカレント短期講座】受講者の基本データ

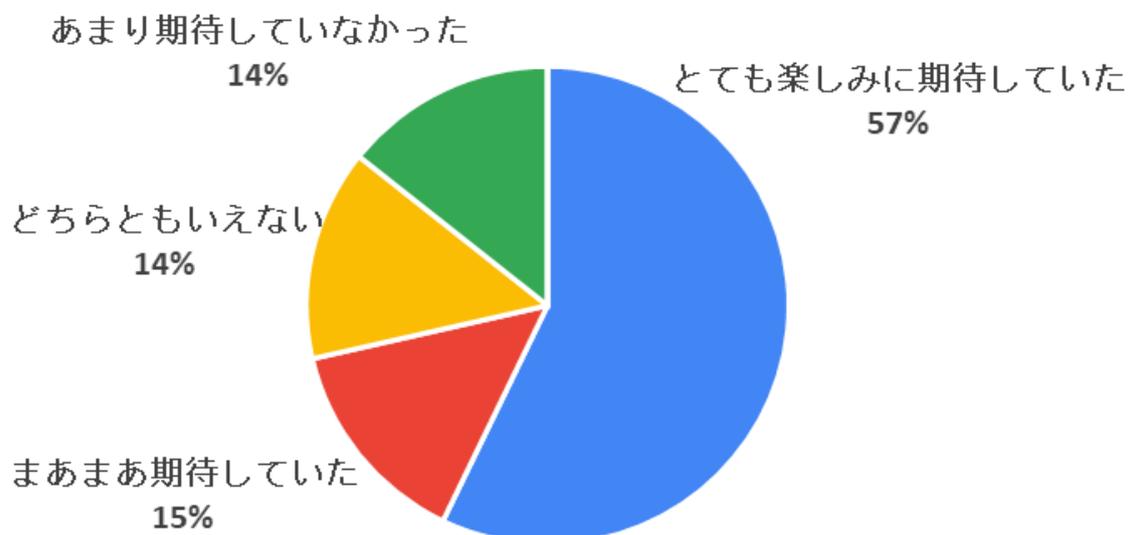
	年齢	性別	前職業	雇用形態	前々職業	雇用形態
1	61歳	女	調理員	正社員	幼稚園教諭	正社員
2	38歳	女	会社員	正社員	会社員	契約社員
3	54歳	女	保育士	パート	保育園の調理師	パート
4	41歳	女	営業	契約社員	営業	正社員

	保持資格	資格取得方法	離職年数	職業経験
1	保育士資格 幼稚園教諭免許	指定保育士養成学校卒業	35年	保育士を経験した後 他の仕事に就いたことがある
2	保育士資格 幼稚園教諭免許	指定保育士養成学校卒業	未経験	保育の仕事には 就いたことがない
3	保育士資格	独学で学び資格を取得	0日 在職中	保育士になる前に 他の仕事に就いたことがある
4	保育士資格 幼稚園教諭免許	指定保育士養成学校卒業	5年	保育士を経験した後 他の仕事に就いたことがある

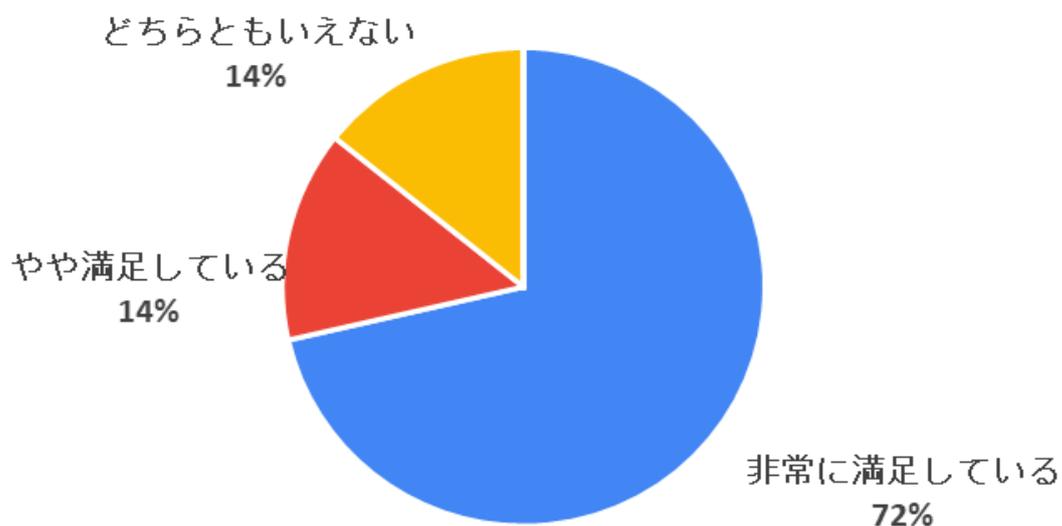
### ■ 本講座に申し込んだ理由について



## 短期講座を受講する前の期待値について

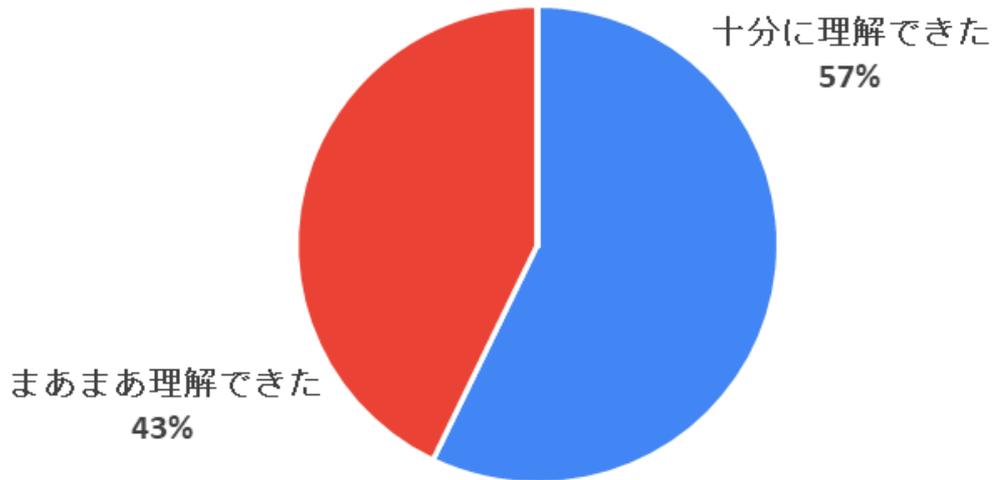


## 短期講座を受講した後の満足度について

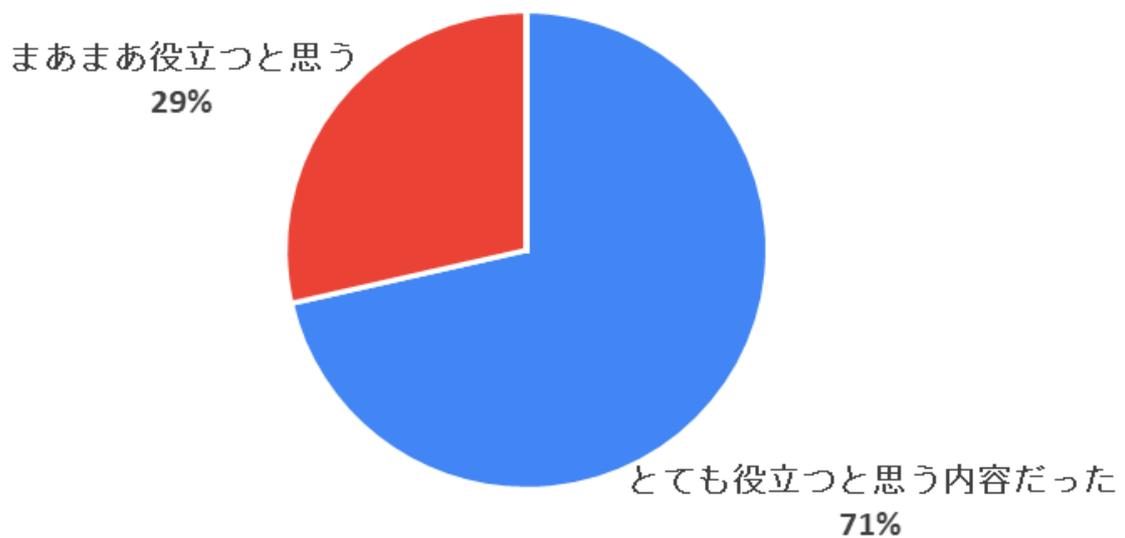


講座申し込んだ第一理由に「就業体験(インターシップ)ができるから」を挙げている人が約半数。介護職への転職・保育職への復職を明確な目的としている人の参加も多く、就業体験や講座が就職活動のきっかけになると考えられる。また、受講前の期待値から受講後の満足度を比較すると、満足度が高まっていることがわかる。85%以上の受講生に満足してもらった。

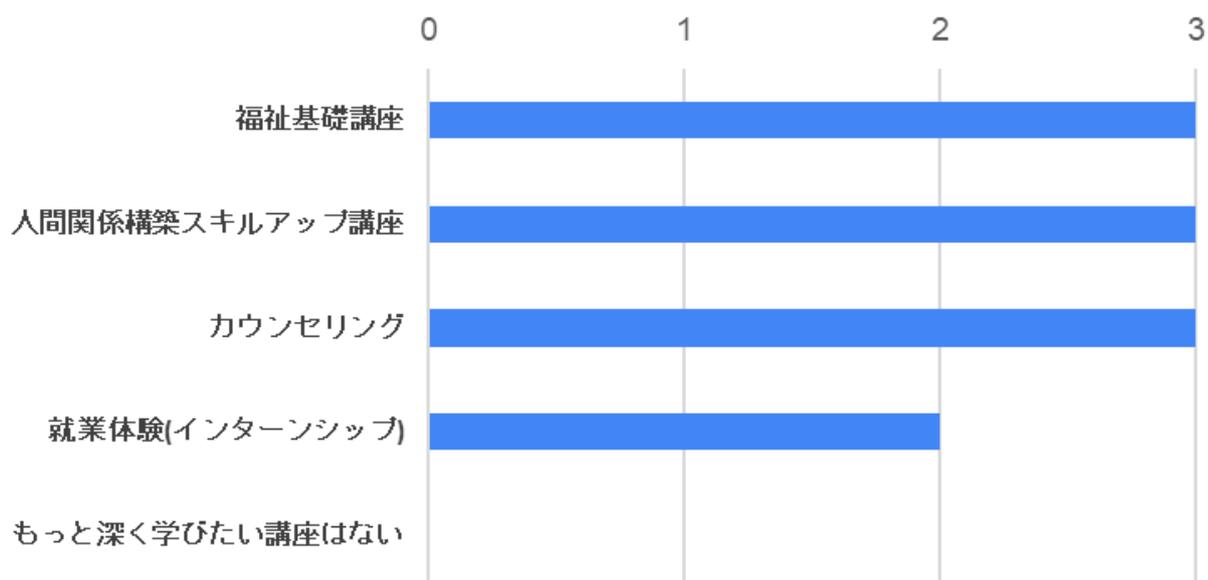
### 短期講座の理解度について



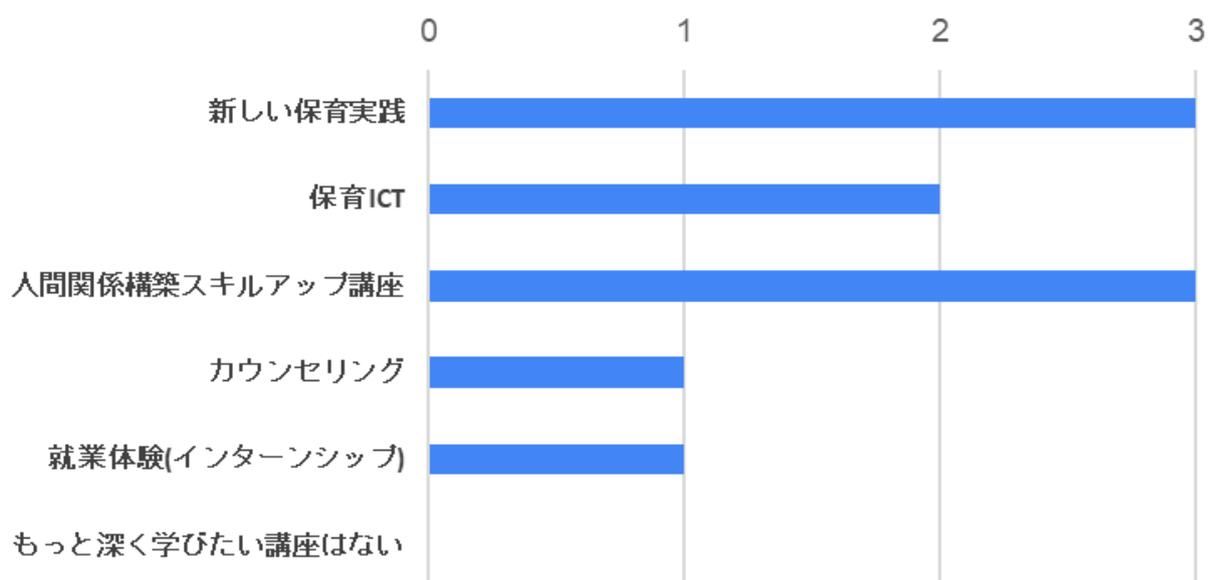
### 短期講座は今後の就職や仕事に役立つか



## もっと深く学びたい講座（介護）

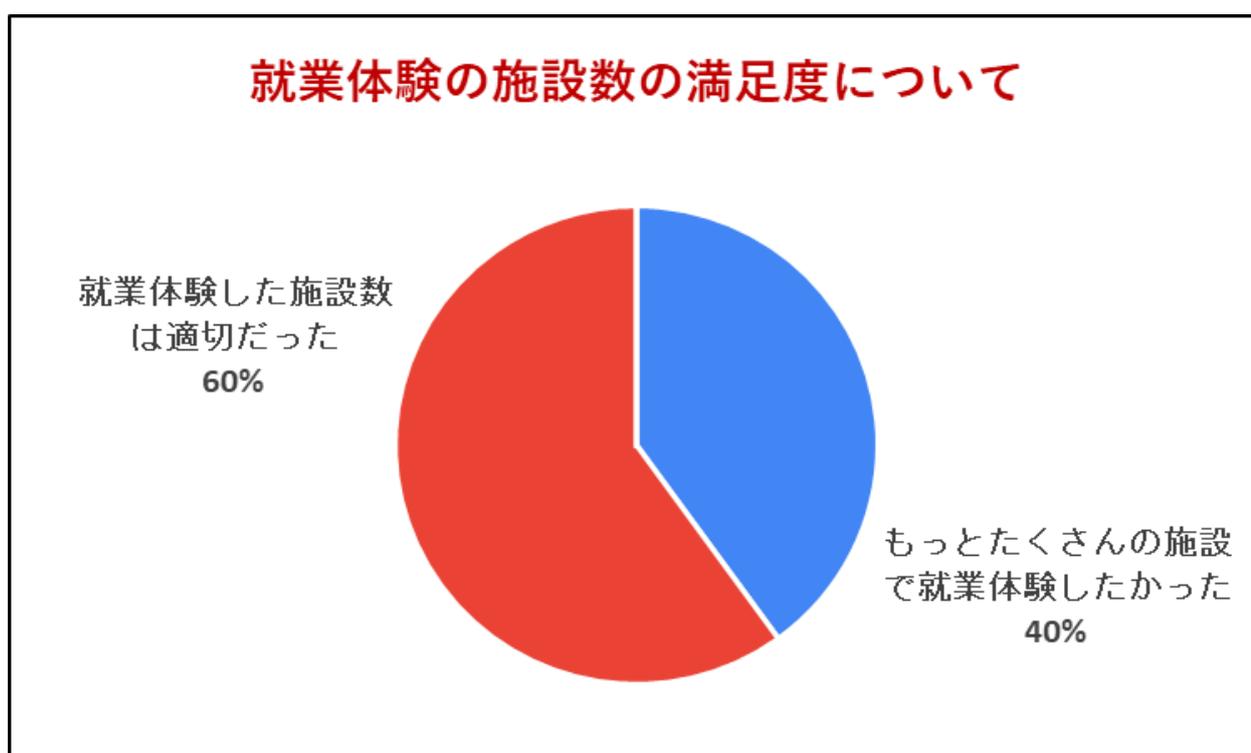
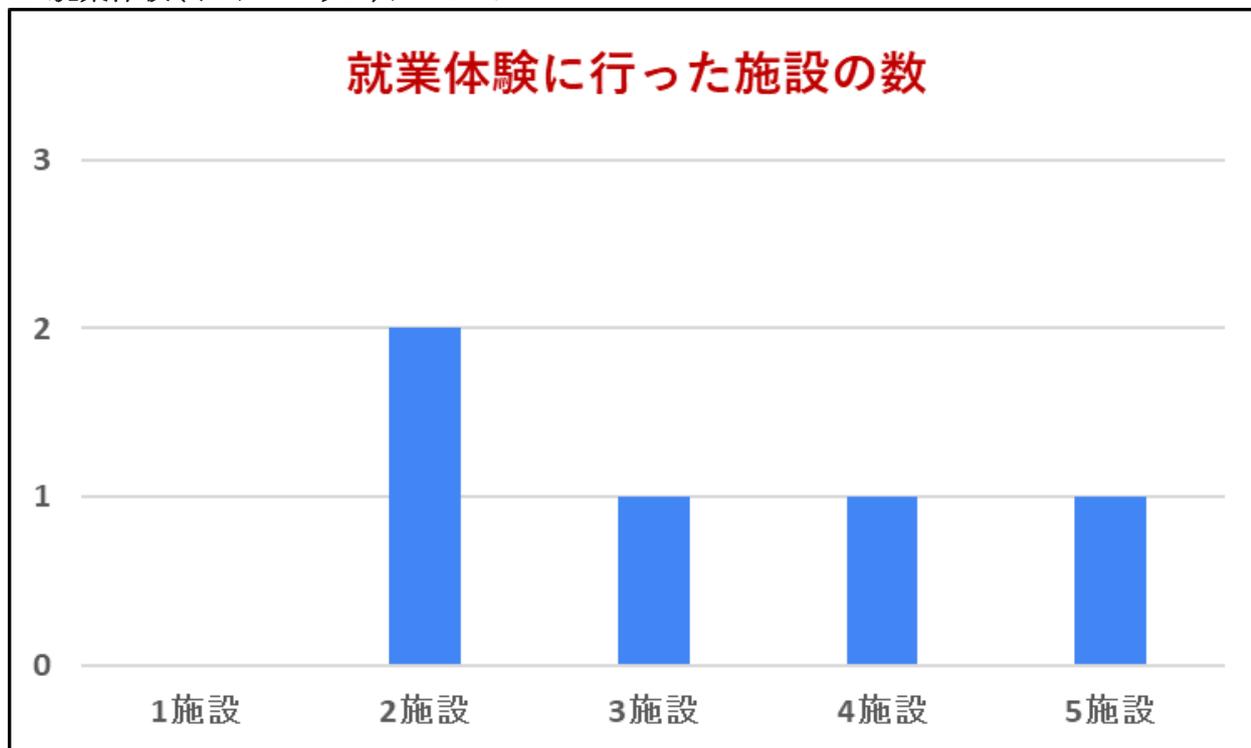


## もっと深く学びたい講座（保育）



講座内容も半数以上の受講生が十分に理解することができ、今後の就職に役立つと実感してもらえている。さらに、ほとんどの受講生が全講座に対して「もっと深く学びたい」と回答しているので、学び直しの意欲を掻き立てることができたのではないだろうか。

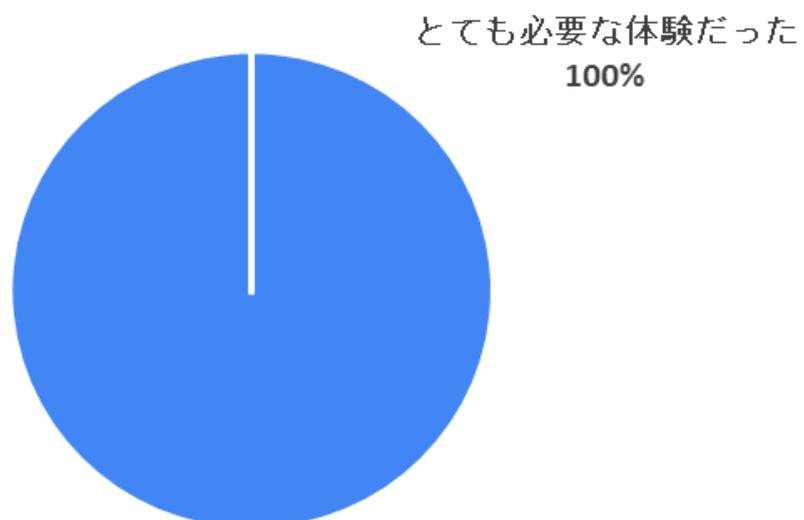
### ■ 就業体験(インターシップ)について



## 就業体験の満足度について

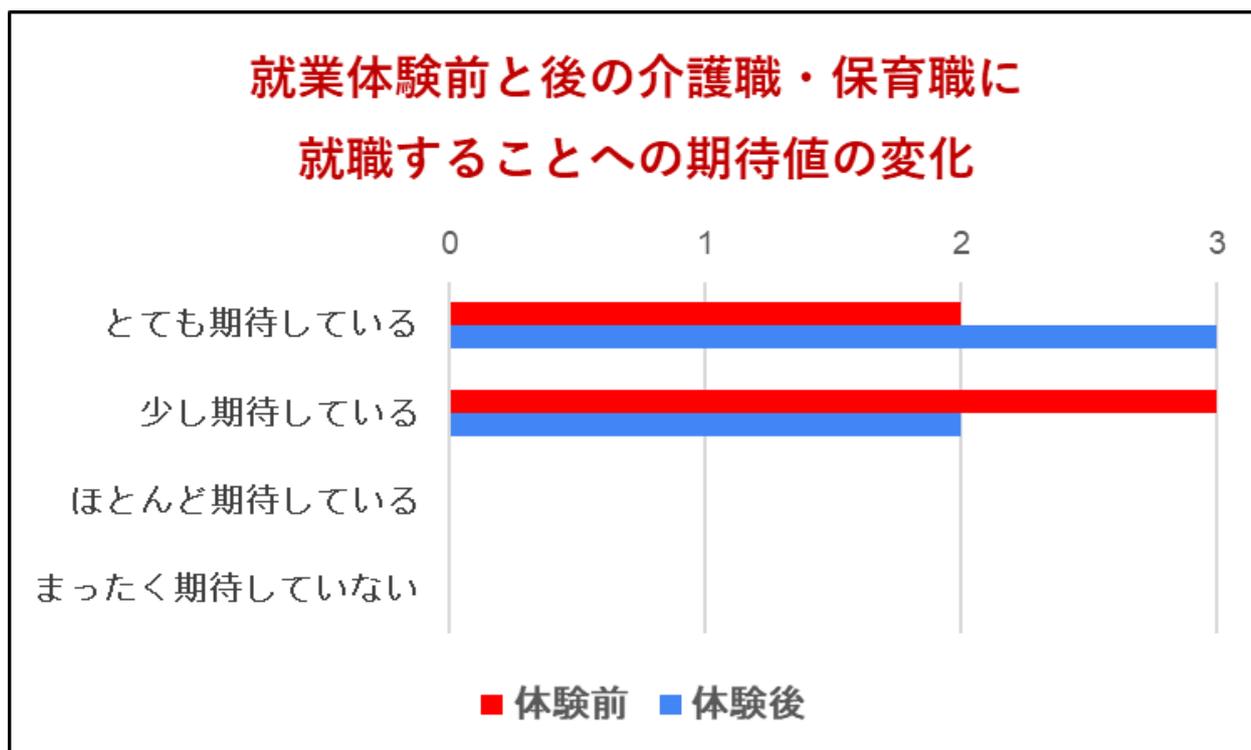
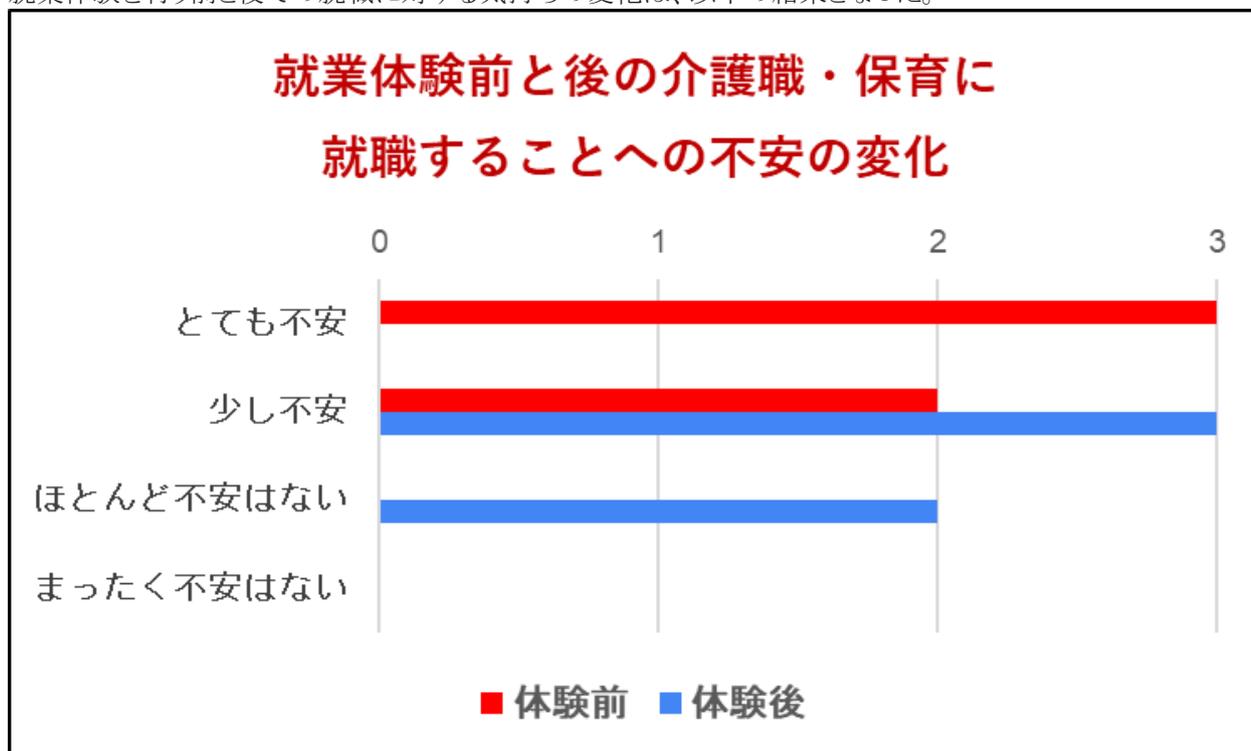


## 就業体験の必要度について

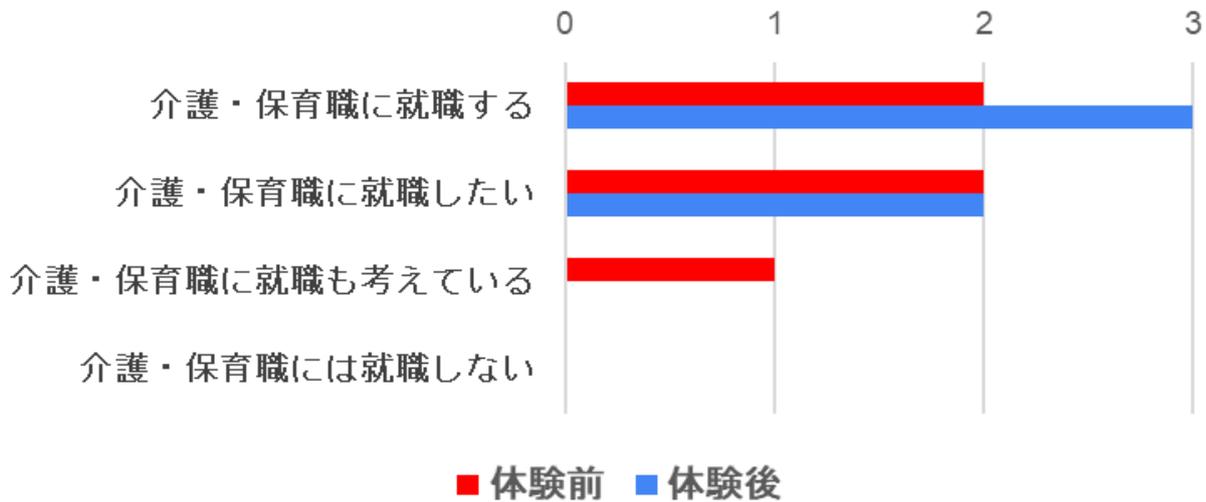


受講生 7 人のうち 5 人が就業体験に参加し、1 人 2 施設以上、多い人は 5 施設で体験した。行きたい施設の選定や体験する施設数は本人の希望に任せたが、スケジュールが合わず体験できない施設もあったため「もっとたくさんの施設で就業体験したかった」との回答も多かった。また、就業体験の内容は施設に託したため体験内容にばらつきが生じてしまい、あまり満足できなかった受講者もいた。しかし、就業体験は全員が「とても必要な体験だった」と回答している。ニーズは高いので、就業体験者が何を経験したいのかヒアリングし受け入れ施設と事前にすり合わせをするなど、今後の運用方法や体験内容を見直したうえで継続していきたい。

就業体験を行う前と後での就職に対する気持ちの変化は、以下の結果となった。



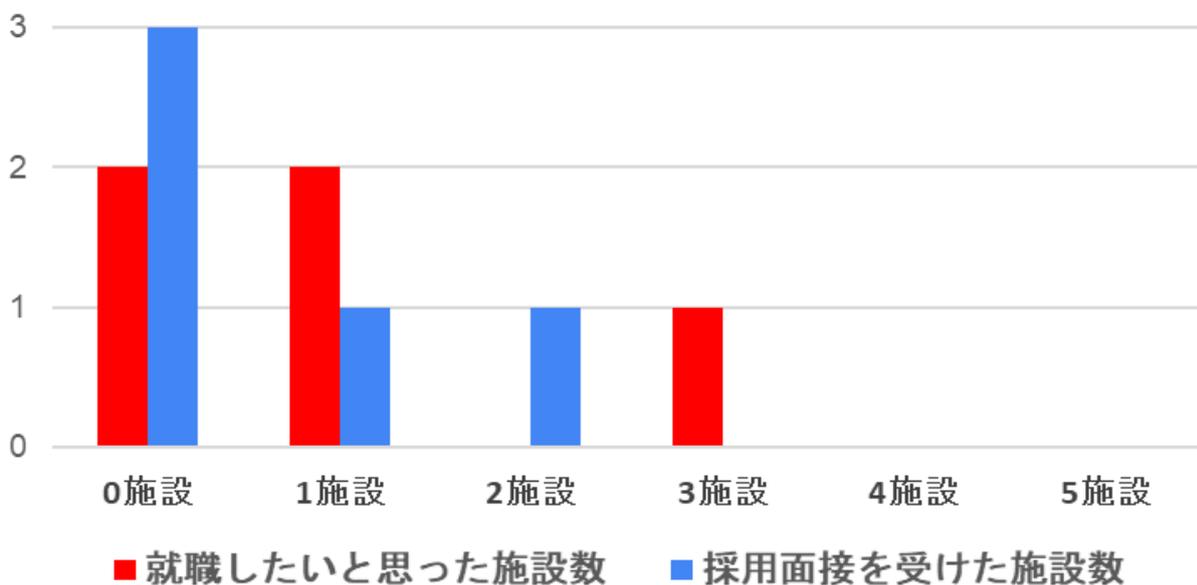
## 就業体験前と後の介護職・保育職に 就職する気持ちの変化



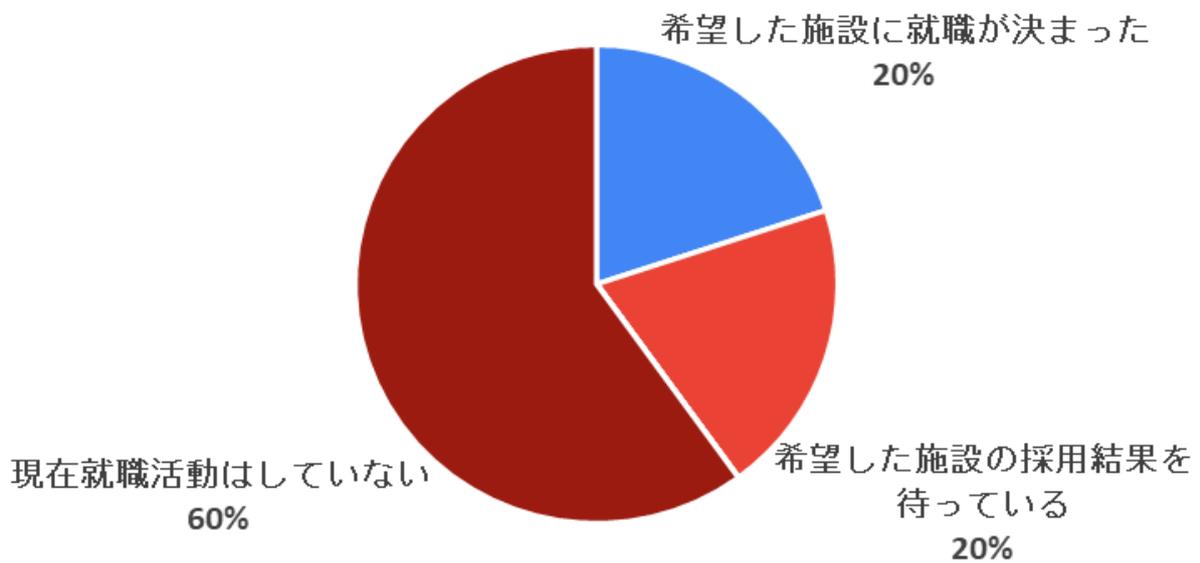
就業体験後は介護職に転職・保育士に復職することへの不安が少し払しょくされ、期待値が上がり就職希望の意思が高まっている。実際の業務や職場を体験することで未知の世界に飛び込むという不安がなくなり、「自分にもできる」「ここならやっていける」などと確信し、前向きに検討できるようになるようだ。

### ■ 就職マッチングについて

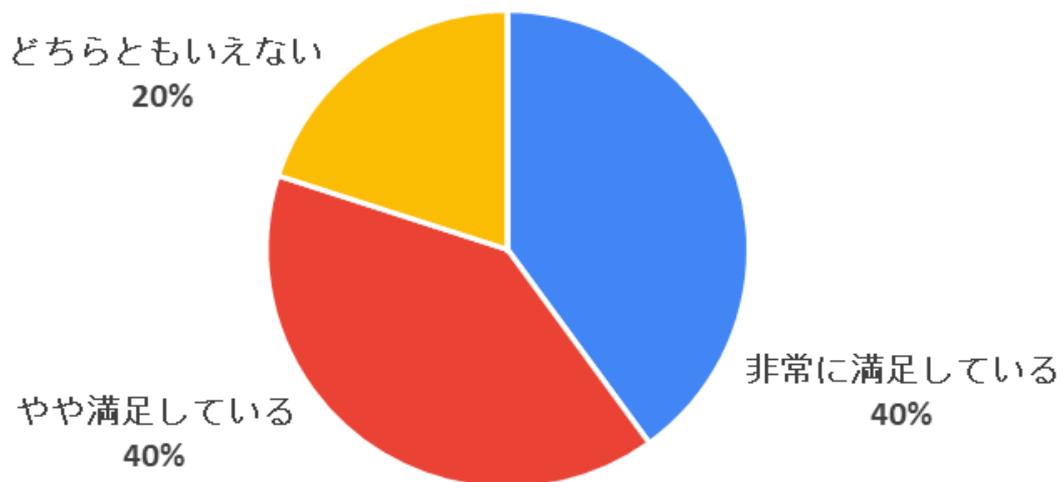
## 就業体験後に就職したいと思った施設の数



## 現在の就職状況について

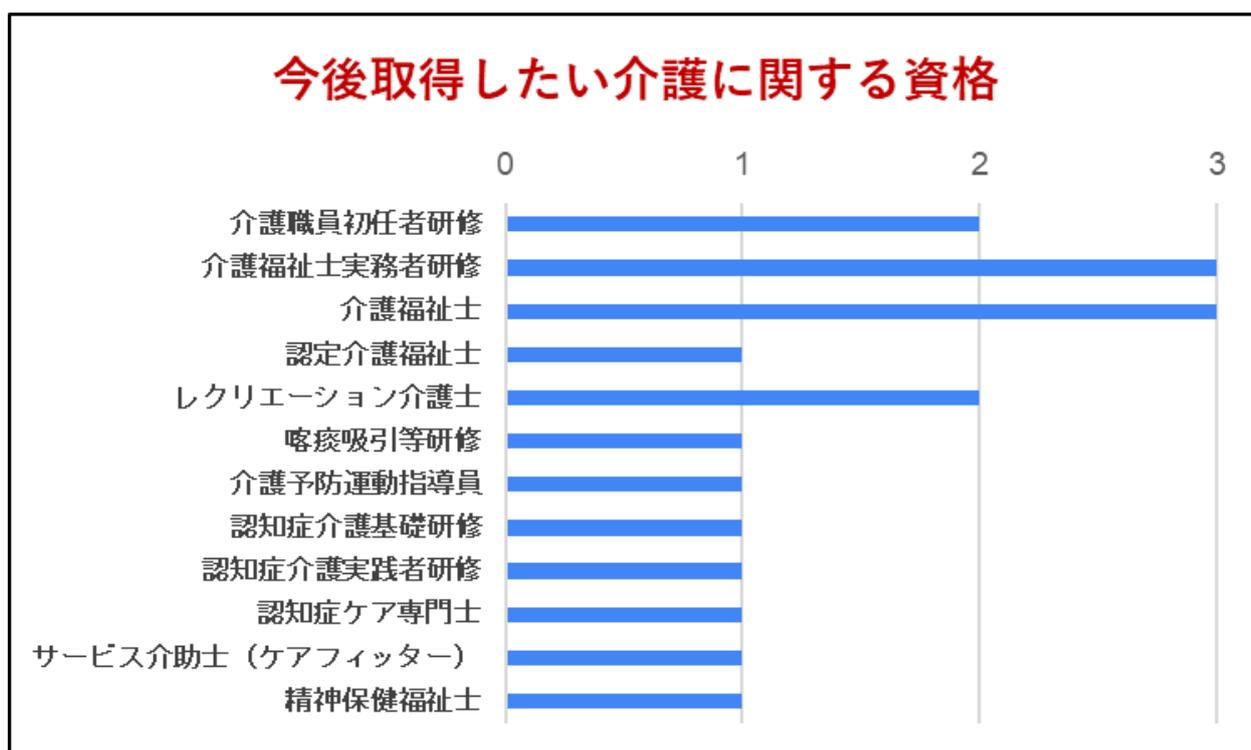
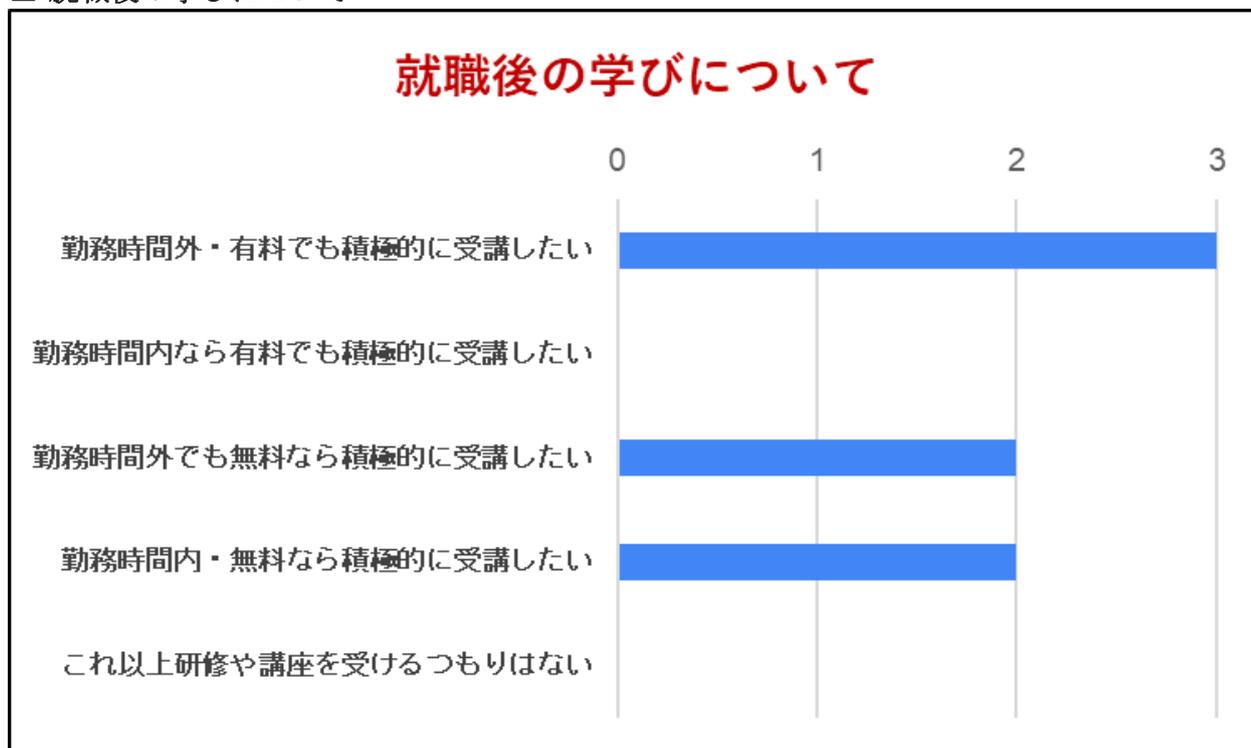


## 今回の就職マッチング制度の満足度について

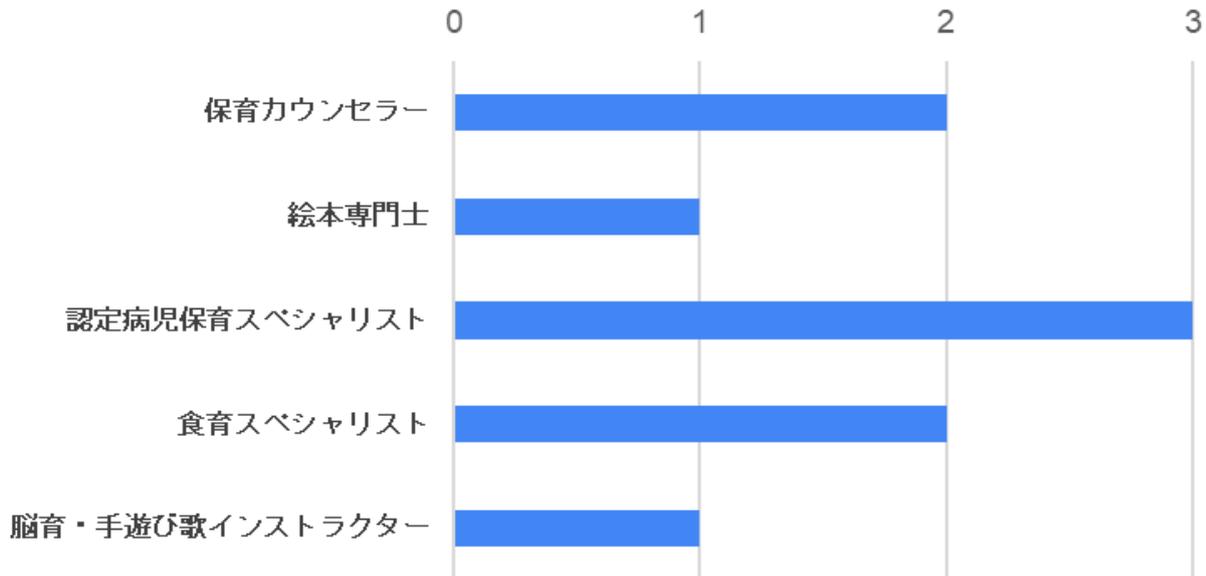


就業体験をした施設に就職を希望し採用面接を受けたのは2人で、2人とも希望する施設に就職が決まった。現在の仕事や家庭の事情ですぐには就職できない、就職を希望する施設に巡り合えなかった、などの理由で面接を受けていない受講者もある。しかし、前出の回答にもあるように全員が介護職に転職・保育士に復職することを前向きに検討している。体験施設数に関しては「もっとたくさんの施設で就業体験したかった」という回答が40%あったことから、多くの施設を知ったうえで自分にぴったり合う職場を慎重に探したいようである。就職に直結してはいなくても、就職マッチング制度は80%の受講生に満足してもらえている。

### ■ 就職後の学びについて



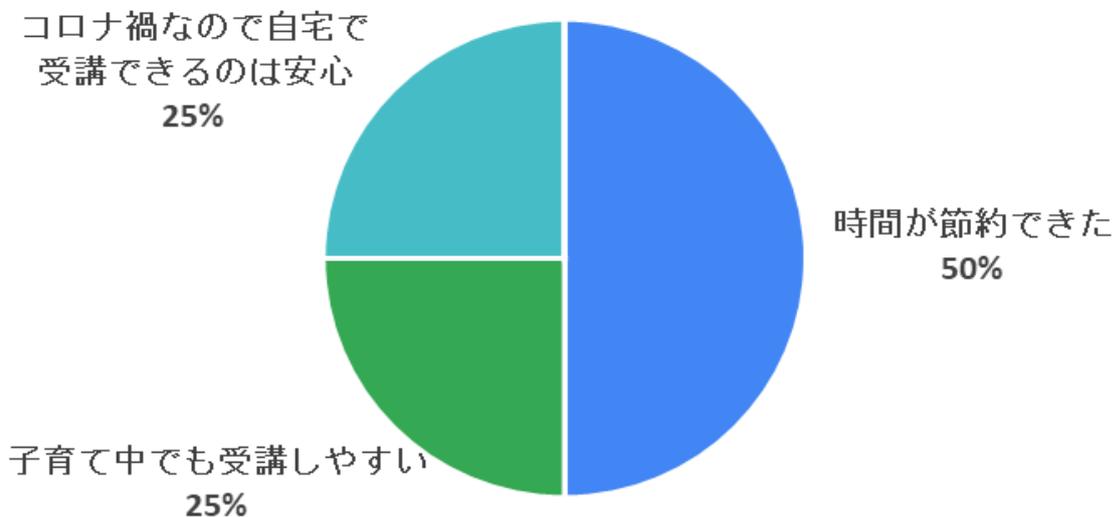
## 今後取得したい保育に関する資格



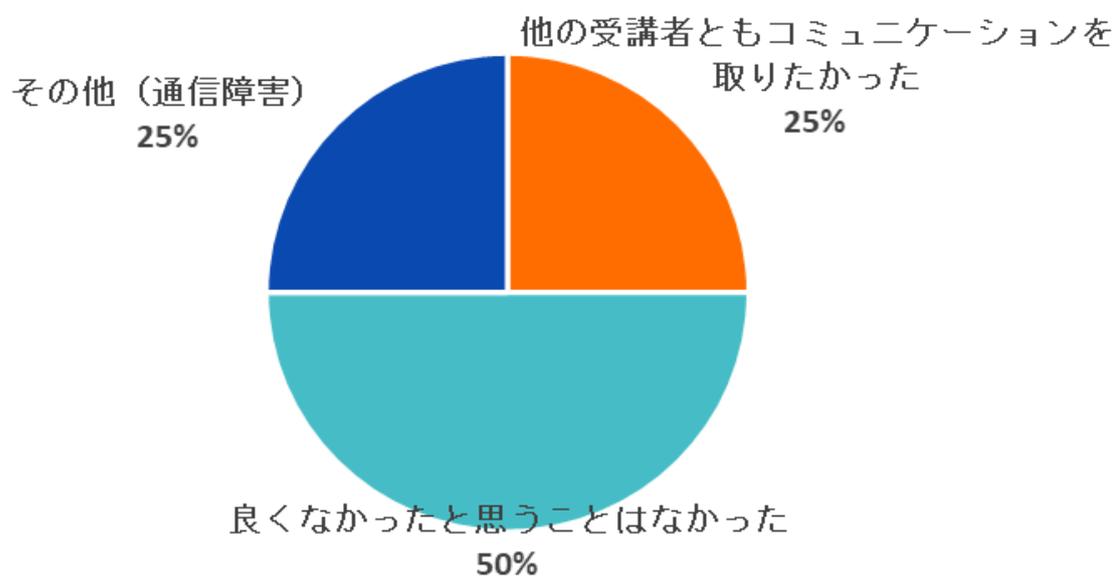
今後のスキルアップや学びについては「勤務時間外・有料でも積極的に参加したい」という回答が3人、「無料なら受講したい」という時間は割いてもお金を出すことには難色を示す回答が計4人いた。しかし、全員が何らかの資格を取得したいと回答していることから、学び続けていくことに対してはかなり前向きだと考えられる。資格取得のサポート講座など、学びが形になるような講座が求められているようだ。

### ■ オンライン講座について

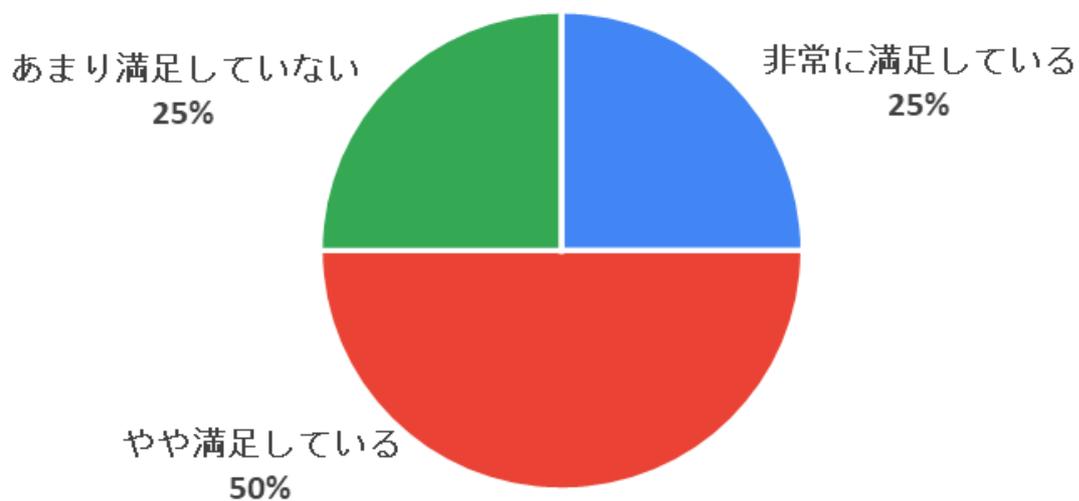
## オンライン講座で一番良かったこと



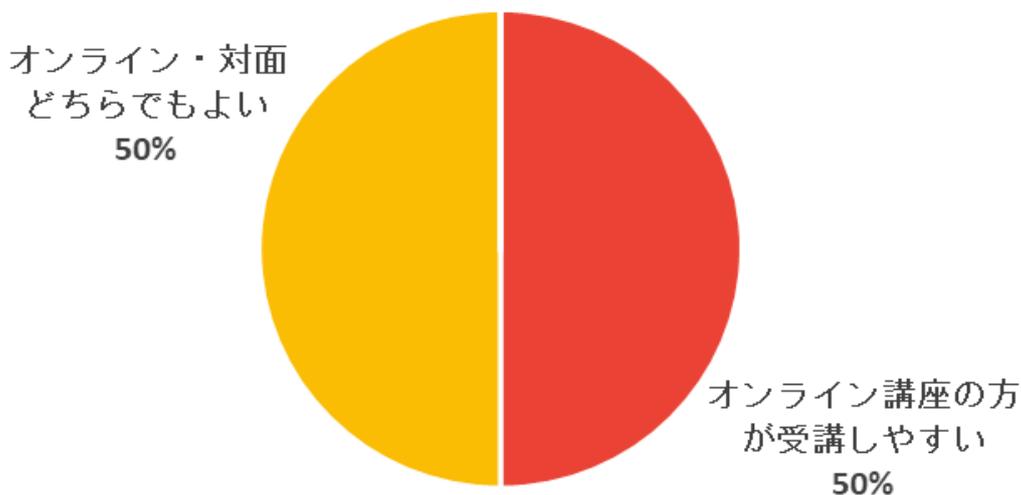
## オンライン講座で一番良くなかったこと



## オンライン講座に対する満足度について



## 今後の講座や研修について



《保育リカレント短期講座》の受講者は子育て中の人や在職中の人もいたため、一部の講座はオンラインで行った。通信環境が悪くて満足できなかった人もいたが、75%の人はオンラインの開催に満足している。しかし「他の受講者ともコミュニケーションを取りたかった」などの意見もあるため、今回のようにオンライン講座と対面講座を組み合わせたカリキュラムが求められている。

### ■ 受講者の感想

介護のお仕事は小さい頃から興味、就きたかった職業だったのですが、家庭の事情で一步踏み出す事が出来ないまま現在に至り、今回のマッチング型インターンシップが受講出来ると知り、不安と期待でいっぱいでしたが、どちらかと言うと「やっと介護の事を学べる！」と嬉しさの方が強かったです！ 講座、カウンセリングの受講を通して、福祉、介護職の基礎、これから福祉に携わる職業に必要なスキルなどを学ぶ事ができ、講師の方々もこちらの質問や不安要素などを話すに凄く親身に傾聴していただき、解決へと繋がるお話やアドバイスをもらいモチベーションを高めていただきとても学びのある講座になりました！ インターンシップではいろいろな施設を周り、一人一人状態の違う利用者さん、施設で働く職員さん、その人間関係などを実際にみて体感し、マイナス的に想像してた介護職とは違い、インターンシップを体験する事で疑問、不安要素を払拭する事ができ、更に介護職に就く意欲が高まりました。「利用者さん、一人一人に寄り添い観察力を極めて利用者さんの身体、心身の苦痛を軽減させる介護士」を目指して頑張りたいと思います！

とても良い機会をいただいて、感謝しています。これから、介護、福祉について沢山学び、社会に貢献したいと思います。ありがとうございます。

インターンシップのみ希望でしたが講座がとても興味深い内容だったので受講しました。

保育の技術面での講義や実習をもっと多くして欲しかった。インターンシップ先のリストは早めにあげていただけたら職場の休みも調整出来て参加しやすくなったと思います。インターンシップの保育園の数をもっと多いと良かったと思います。講師の先生方のご指導も今後の保育士の仕事に活かしていきたいです。

受講内容等きめ細かにご連絡頂きありがとうございます。今回は体調不良で受講出来ない日も多く残念でした。オンライン講座は聞き流しも選択出来たら育児や家事をしながら、体調不良で横になりながらなど、受講できたらよかったなと感じました。

講座はとても充実して新しい学びと復習にもなりました。ありがとうございました。

概ね満足度の高い感想をいただいている。特に《介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座》は未経験者や介護福祉士資格を保持していない人が対象だったため、新しい学びや新しいことへの挑戦となり吸収することが多かったようである。

《保育リカレント短期講座》は資格保持者が対象だったため、学びたい内容が明確であり離職年数や資格取得方法によってもニーズが異なるようであった。

また、就業体験についてはスケジュールや受け入れ施設数など改善すべき点が指摘されている。こちらに関しては引き続き受け入れに協力してくれる施設を増やし、事前打ち合わせや説明会を開催するなど連携を強化していく必要がある。

## 【福祉リカレント短期講座 参加施設のアンケート調査結果】

調査方法:オンラインアンケート

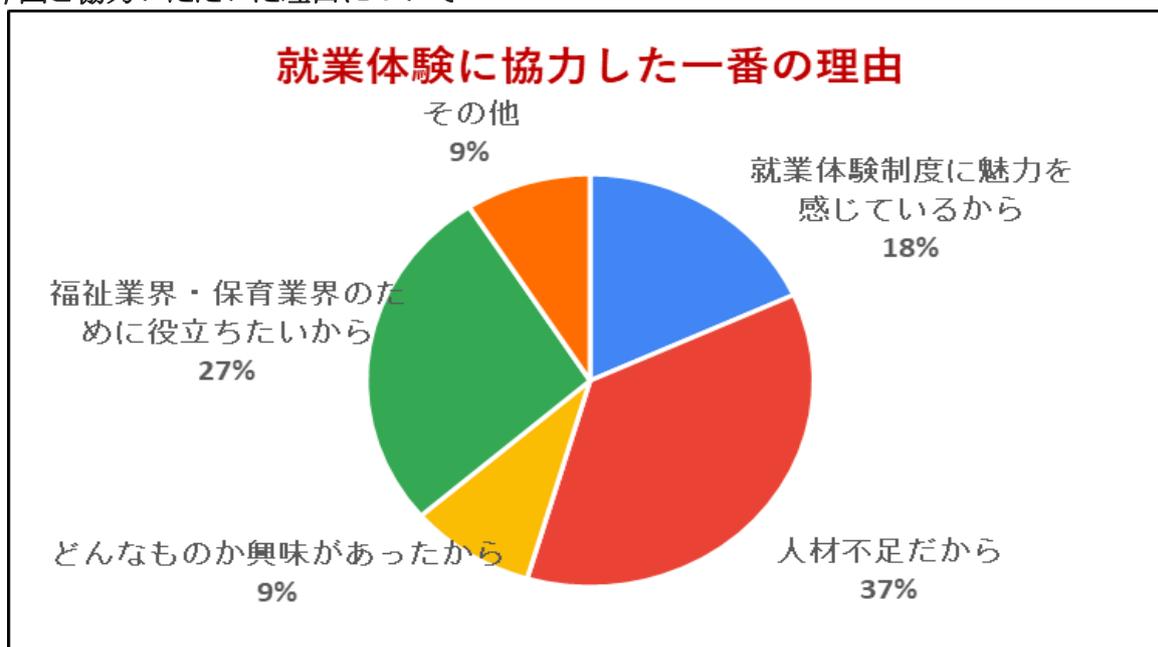
対象者:受講者の就業体験を受け入れてくれた施設の担当者

介護福祉施設 6カ所、担当者 7人／保育施設 4カ所、担当者 4人

調査期間:2023年1月31日～2月3日

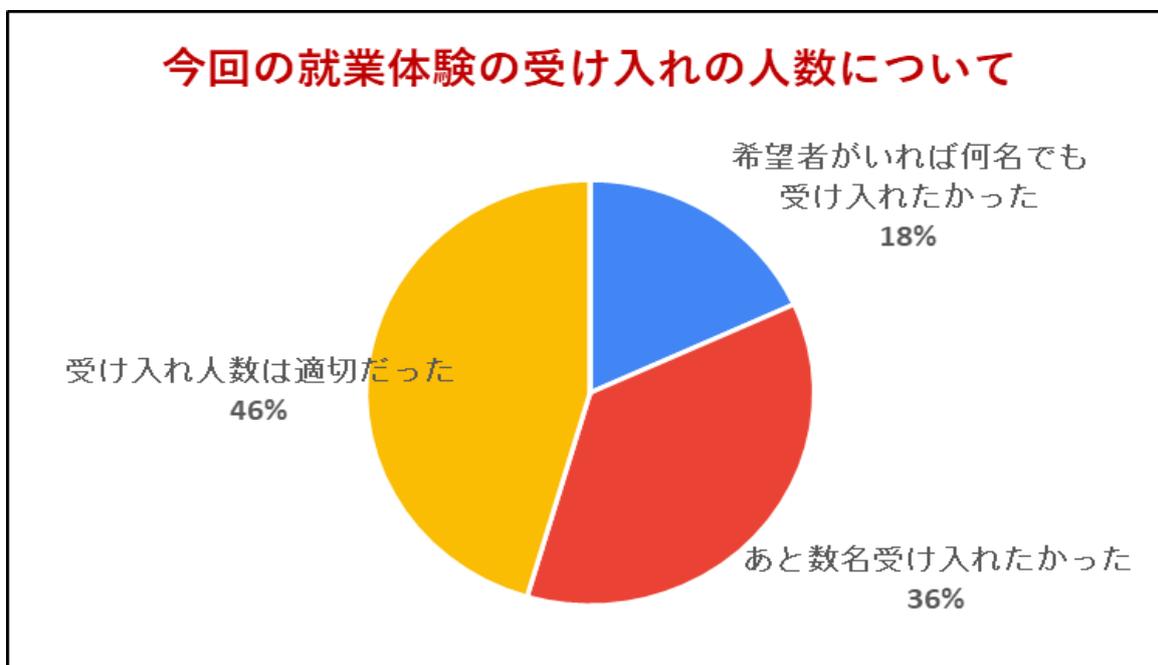
有効回答数:11人

### ■ 今回ご協力いただいた理由について

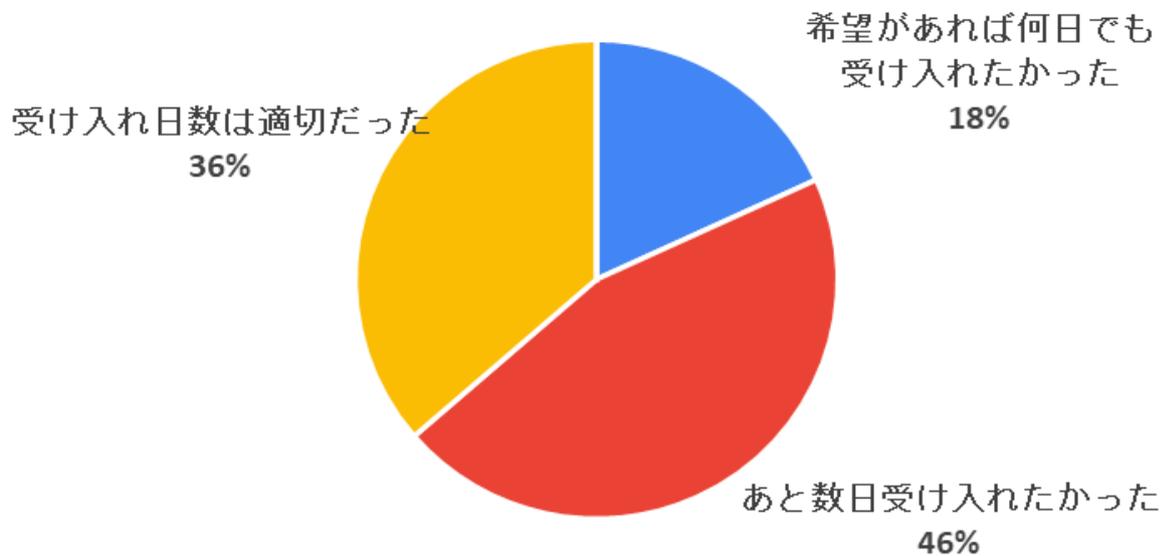


「人材不足だから」という理由で就業体験の受け入れに協力した施設が 37%あり、介護施設・保育施設の人材不足問題の深刻さがうかがえる。また「就業体験制度に魅力を感じているから」「どんなものか興味があったから」という回答は合計 27%。採用後の離職を避けるためお互いの適性を知りアンマッチを防ぐ手段として、施設側にもニーズのある制度であることがわかった。

### ■ 今回の就業体験(インターシップ)受け入れ内容について

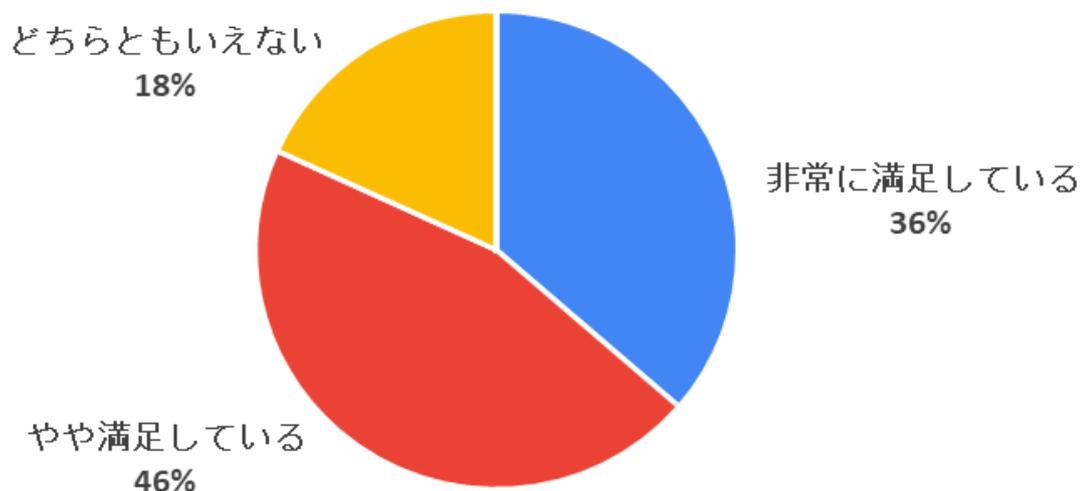


## 今回の就業体験受け入れの日数について



受け入れ人数については「希望者がいれば何名でも受け入れたかった」「あと数名受け入れたかった」が合計54%。受け入れ日数についても「希望があれば何日でも受け入れたかった」「あと数日受け入れたかった」が合計54%と、約半数の施設が人数や日数に物足りなさを感じている。今回は講座のスケジュールもあり、1施設1日の体験に制限してしまったが、施設側からは「1日1名の体験者が妥当だが、2～3日あればより保育内容を理解できるのではないかと思います」「まだまだ余裕がありました」「たくさんの方に体験していただきたい」などの声をいただいた。より多くの人にしっかり体験して欲しいと考えているようだ。また、就業体験の受け入れ全体の満足度は以下になる。

## 就業体験を受け入れての満足度

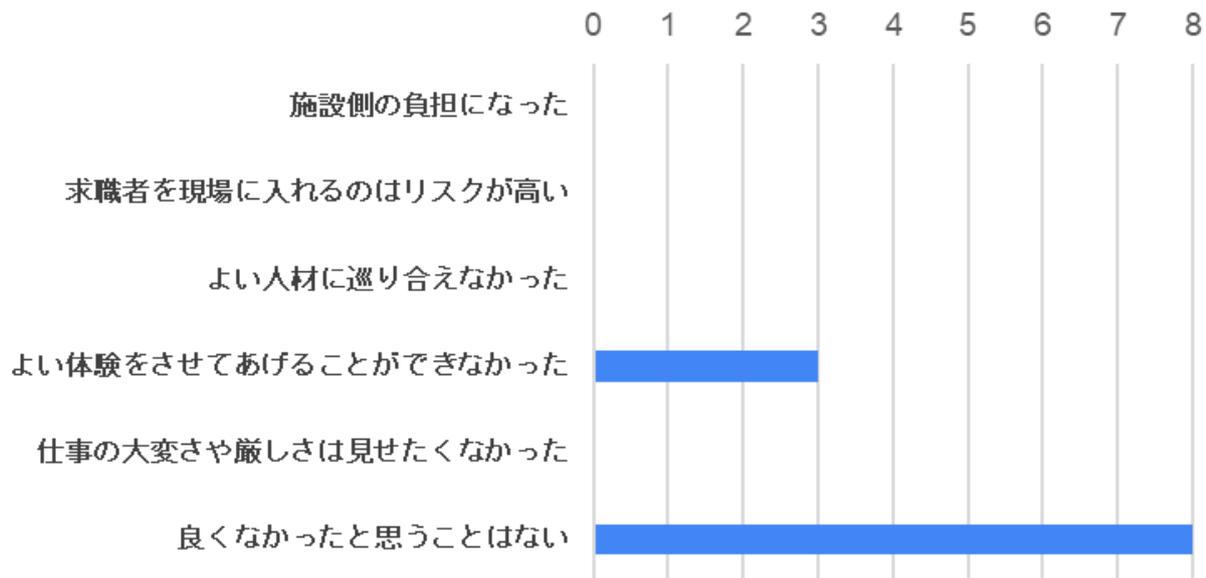


82%の施設に「非常に満足している」「やや満足している」との回答をいただいた。

## 就業体験を受け入れて一番良かったこと



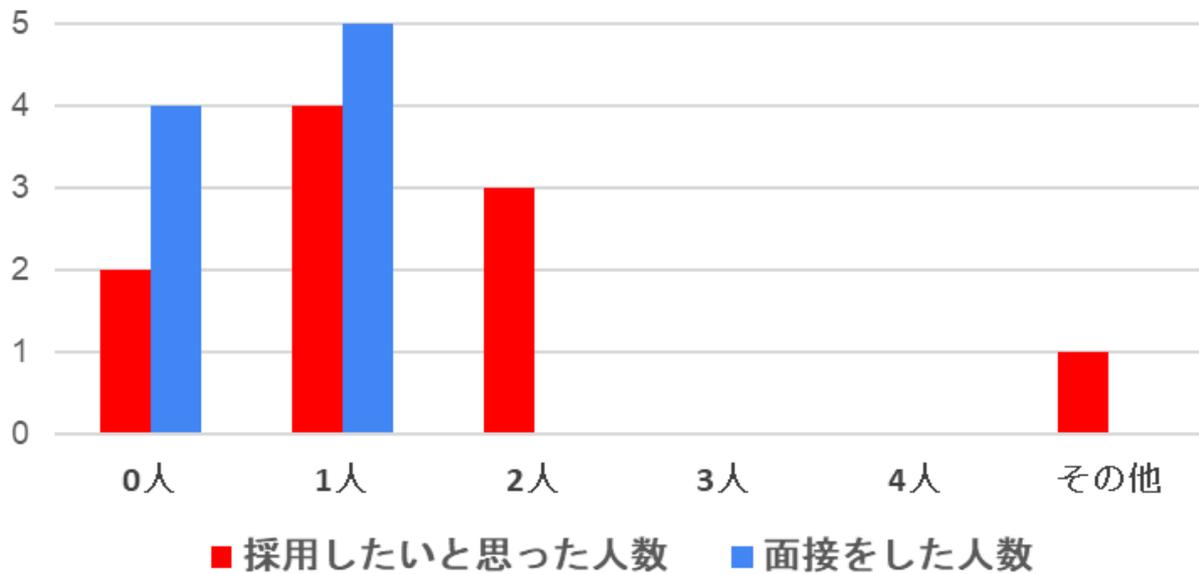
## 就業体験を受け入れて良くなかったこと



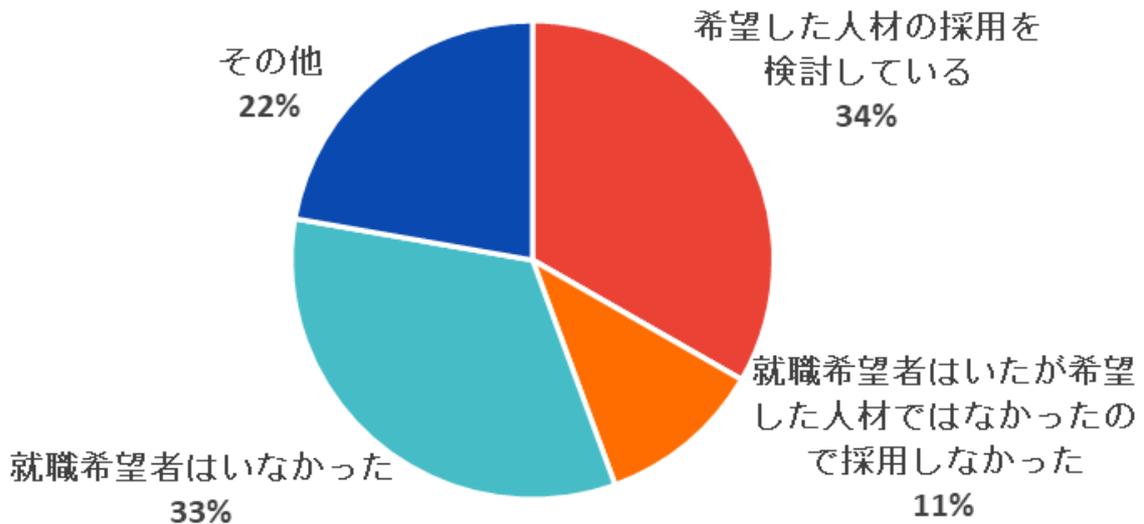
満足している理由や就業体験を受け入れて良かった点では「求職者の不安を払拭できる」「施設側と求職者のギャップを埋められる」という回答が多く、求職者にしっかり介護職・保育職や施設の方針などを理解してほしいという思いが現れている。また、多くの施設は「良くなかったと思うことはない」と回答しているが、「良い体験をさせてあげることができなかった」と反省点を挙げている施設もある。人手不足や就業体験に慣れていないことが原因と思われるので、事前に体験内容をすり合わせるなど施設側をサポートすることも検討する。今回の就業体験を終えて「求職者の不安を払拭するいい機会」「現場職員の評価も良好であったため、今後も前向きに受け入れたい」「人材確保を考えると福祉系学校との連携は必要。お互い相談できるような関係で関わるとよい」「積極的に学びたいという意思が伝わってきたので、受け入れた側としても良かった」という感想をいただいた。施設側にもよい経験となり、今後も継続したいという施設がほとんどであった。

■ 就職マッチングについて

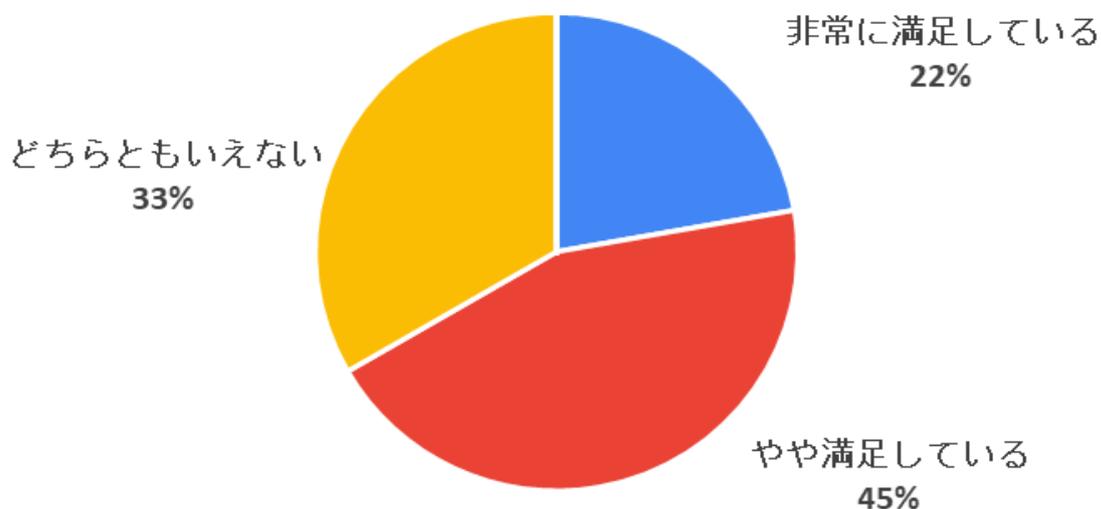
### 今回の就業体験で採用したいと思った人数



### 現在の採用状況について



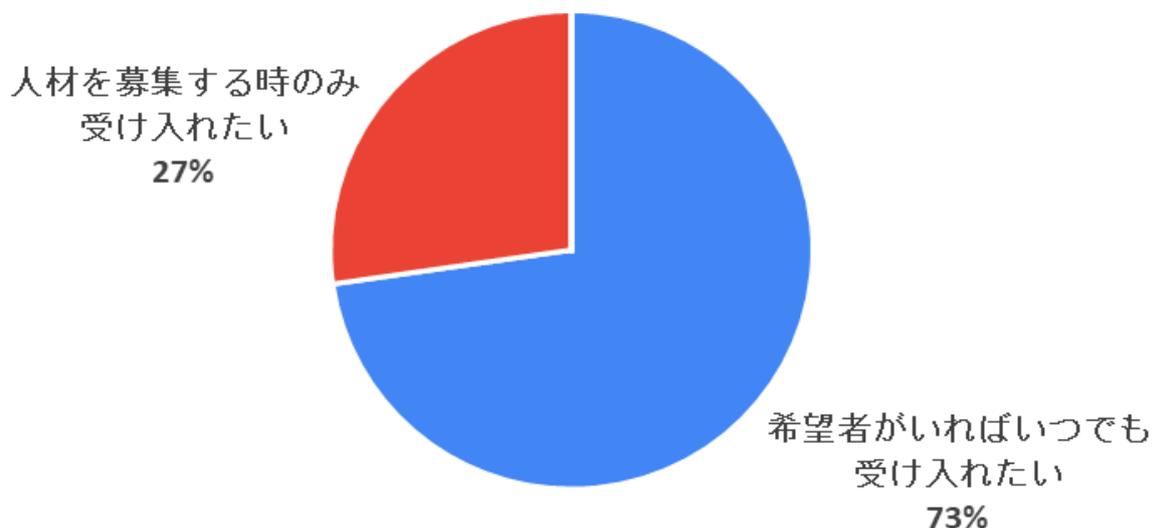
## 今回の就職マッチング制度について



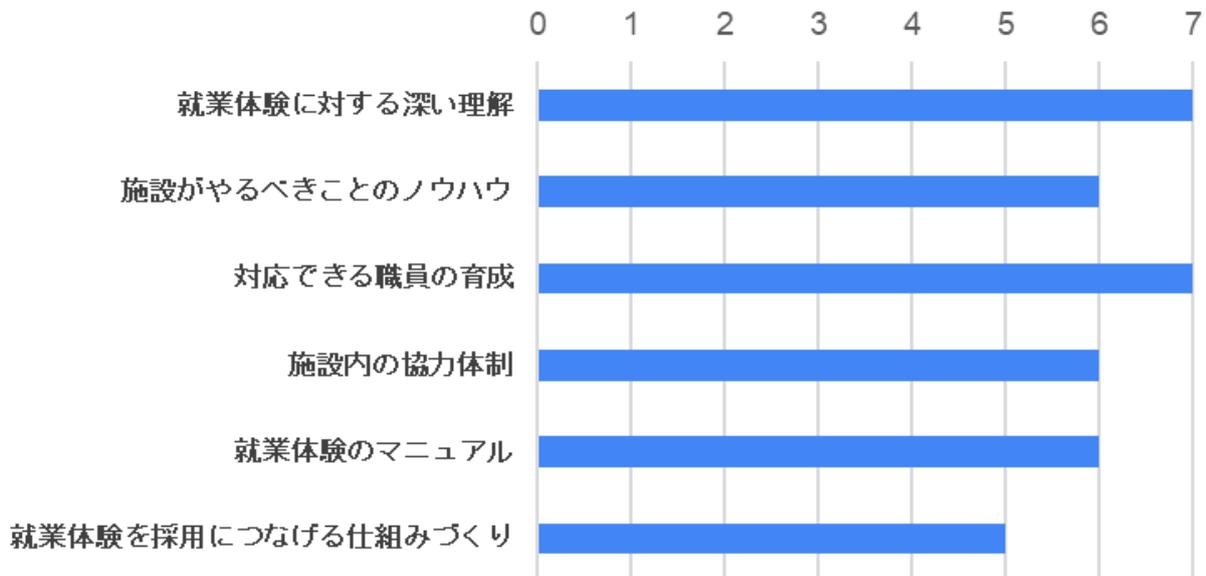
実際の就職マッチングは「希望した人材の採用を検討している」施設が34%(1月31日時点)だが、就職マッチング制度については「非常に満足している」「やや満足している」との回答を67%の施設からいただいた。「求人者と企業の双方にミスマッチングを防止するいい制度だと考えます」「今後も就業体験を受け入れ、採用担当の職員との間で定着率にも目を向けていきたい」「体験して職場が選べるのはいいこと」「園の方針に合う人が就職を希望してくれると助かる」「自分に合った職場を見つけることができれば離職しないと思うのでいい制度」などの意見をいただいた。継続してくれる人や業務や施設の方針を理解している人を採用したいと、数よりも質の確保にこだわっているのがわかる。

### ■ 今後の就業体験(インターシップ)受け入れについて

## 今後の就業体験の受け入れについて



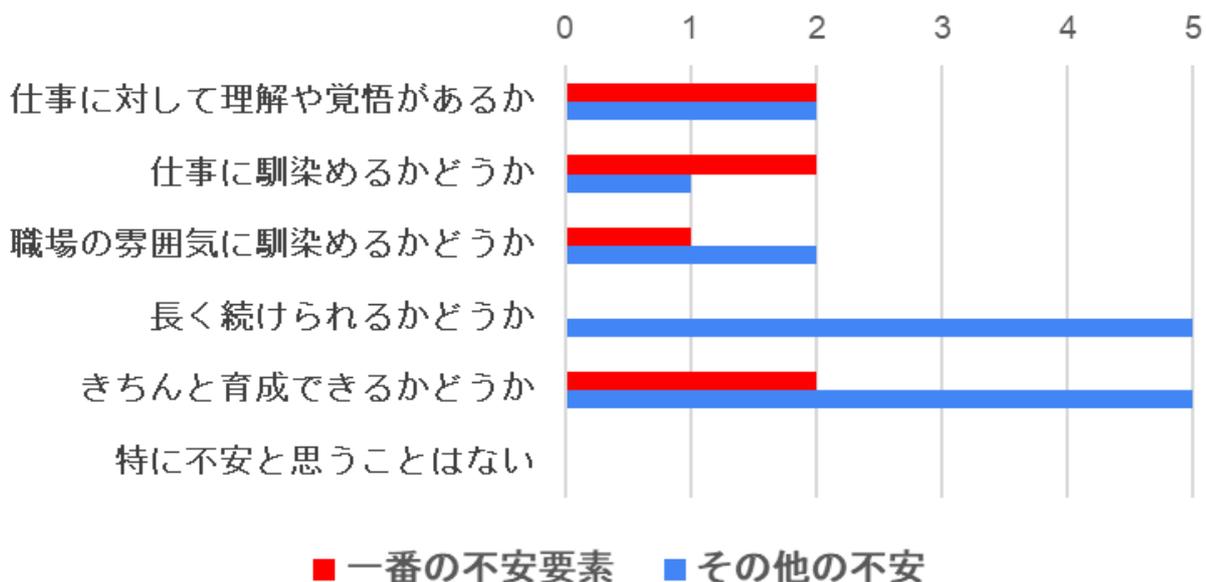
## 就業体験を受け入れる際に必要だと思うこと



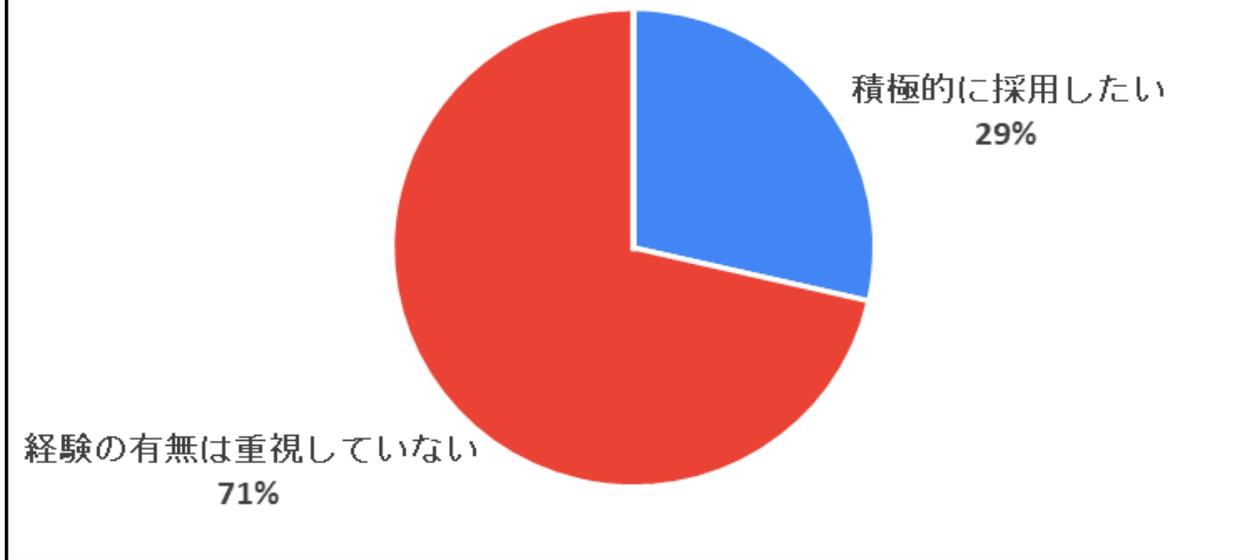
全施設が今後も就業体験を受け入れたいと考えている。そのうち73%は人材募集の時期でなくて「希望者がいればいつでも受け入れたい」と回答。その理由として「求人活動の一つとして活用したい」「潜在保育士の掘り起こしになるため」「保育士の現場復帰を応援したい」などがあり、積極的によい人材を確保する姿勢だ。そのためには「就業体験に対する深い理解」「対応できる職員の育成」「就業体験のマニュアル」など受け入れ側の準備も必要だと回答している。求職者により良い体験をしてもらい採用につなげる仕組みづくりが必要となるので、施設側にも勉強会や講座などが必要であることがわかった。また、「就業体験後に就職したいと選んでもらえたなら施設として自信がつくし、選んでもらえなかったら改善点があると職場環境の向上につながると思う」と、選ばれる職場になるために努力をするという施設もあった。就業体験は人材不足解消だけでなく、職場環境の改善にもつながりそうである。

### ■ 介護福祉士資格を保持していない人の採用について

## 無資格者を採用することについての不安要素



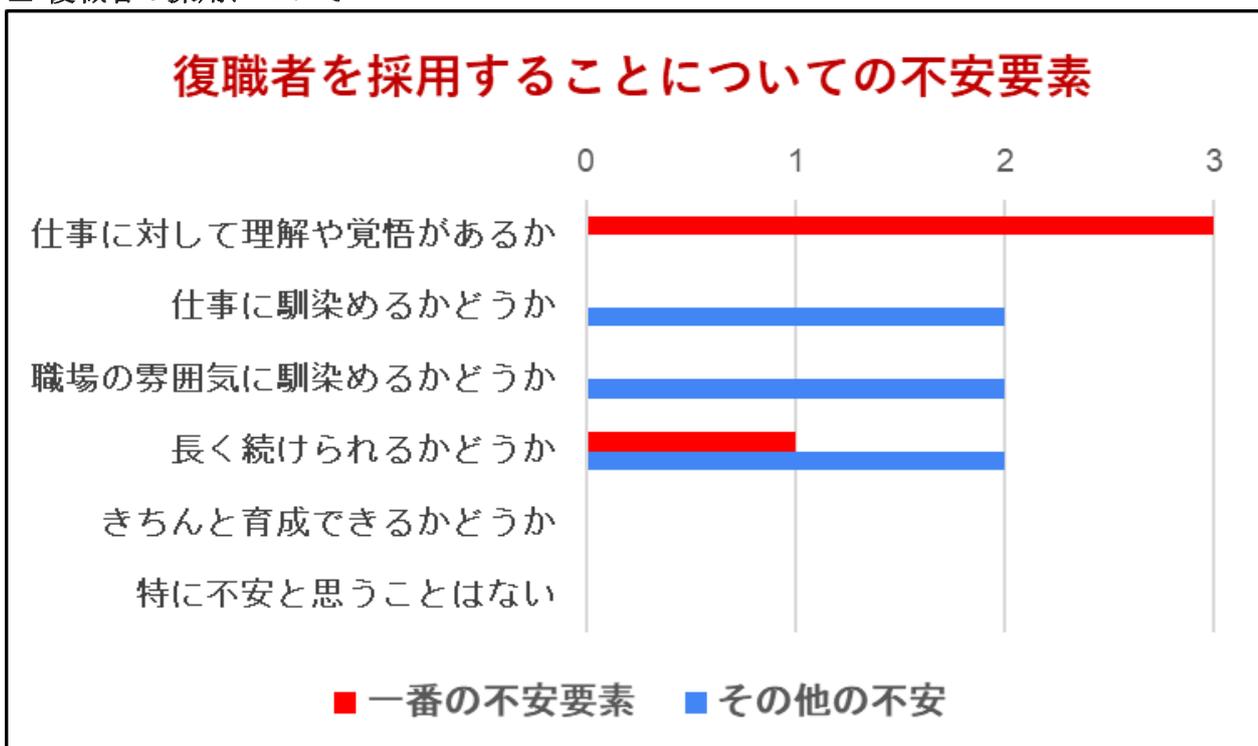
## 無資格者を採用することについて



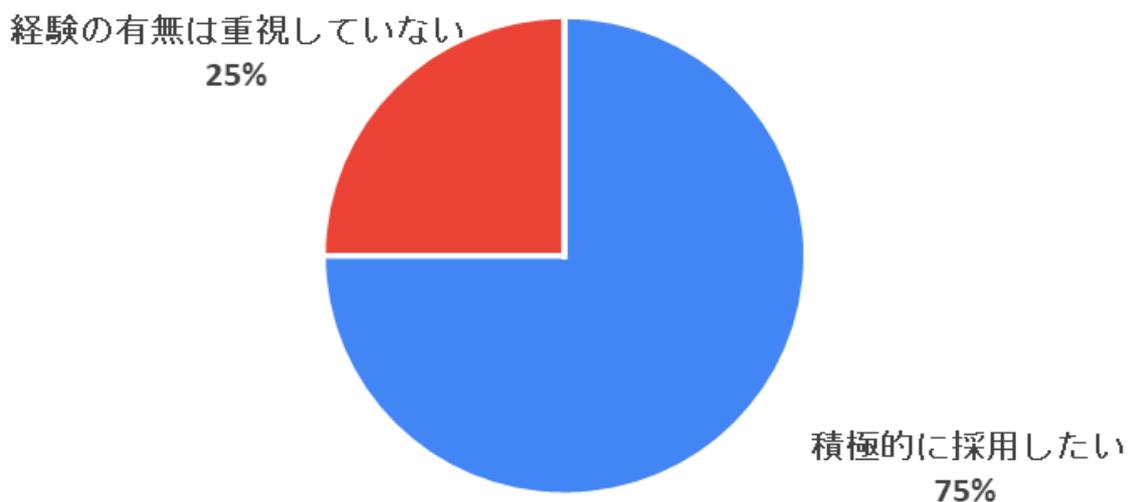
《介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座》の対象となった介護福祉士資格を保持していない人を採用することについて、なにかしら不安に思うことはあるが70%以上の施設が「経験の有無は重視していない」と回答、残り29%の施設は「積極的に採用したい」と回答している。

不安要素の中には「きちんと育成できるかどうか」もあり、採用後の研修や教育が重視されている。研修内容については「介護・福祉・医療の倫理感や接遇面に対する研修はもちろん、アンガーマネジメント研修で介護現場特有のストレスにさらされやすい状況に対処できるマネジメントを学んでほしい」「事前に基礎研修か初任者研修を受けていれば入職後も介護とは何かを理解できると思う」「コミュニケーションスキル」などの意見があった。不安要素に「長く続けられるかどうか」を挙げている施設も多いので、アンガーマネジメント、介護職の理解、コミュニケーションなどはストレスを回避し長く続けるためのスキルとして求められているようである。

### ■ 復職者の採用について



## 復職者を採用することについて



《保育リカレント短期講座》の対象となった保育職から長年離れている潜在保育士を採用することについては「仕事に対する理解や覚悟があるか」が一番の不安要素として挙げられている。時代の流れのなかで何度も制度の改正などがあり、変化に対応できるかどうか不安視されている。しかし、潜在保育士のニーズは高く75%の施設が「積極的に採用したい」と回答している。

採用後に必要な研修としては「専門職としての自信と誇りが持てるような精神面の研修」「コミュニケーションを円滑に図るためにメンター制度を導入する」「以前と現場の中身や考え方が変わっているので、現在の保育を理解してもらおう研修」などの意見があった。保育の現場でも、基礎知識とコミュニケーションやメンタルサポートなどのスキルが求められている。

## 【考察と課題】

### 《介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座》

未経験者や介護福祉士資格を保持していない人でも就業体験(インターンシップ)を実施することで介護職への不安が払拭され、やりがいを感じて就職に前向きになることがわかった。未経験という不安を抱えているものの、新しい学びや新しい職種に挑戦することへの前向きな気持ちで受講しているように感じられた。学ぶこともほとんどが初めて、未知のことなので吸収することも多く学びに対する満足度は高いと思われる。このモチベーションを維持したまま就職につなげるためには、カウンセリングや講師のサポートが重要となる。

また、今回は募集に対して応募者数が少なかったことから、やりがいと魅力のある職業であることを発信し続け興味を持ってもらうための広報活動も引き続き必要である。

### 《保育リカレント短期講座》

保育士経験はあるが保育職から長年離れている潜在保育士は、経験者なので自分に足りないものや学びたい内容が明確である。指定保育士養成学校卒業者と独学と実務経験で資格を取得した人でも、学びたい内容に違いがあるようだ。ニーズをヒアリングしたり学んできた環境や実務経験などを考慮したりするなどの工夫も検討したい。

また、保育士を離職・休職している人のほとんどが出産や育児が理由のため、外に出でる時間や曜日に制限がある。座学はオンラインで開催するなど、無理なく学べる環境を提供することも重要である。

### 就業体験(インターンシップ)制度

《介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座》の受講生3名のうち2名が就職内定した。《保育リカレント短期講座》の受講生4名は今回の就業体験(インターンシップ)から就職には結びつかなかったが、前向きに復職を検討し準備をしている状態である。また、参加施設のほとんどが今後も就業体験(インターンシップ)を受け入れたいと前向きである。就職マッチングの精度を高めるためにより多くの介護福祉施設に協力してもらい、1人が体験できる施設の数を増やしたい。また、受け入れ側が就業体験から採用につなげる仕組みをつくる必要がある。よりよい体験をしてもらうために、採用担当者の育成や現場での対応、体験前後のヒアリングなど、施設に対しての事前講習やサポートなども検討したい。質の高いマッチングを成功させ、業界の人材不足解消のため引き続き事業を推進する。

## 4 福祉リカレント短期講座を効果的・効率的に実施するための成果物

### ① 福祉の理解を深めるために介護業界・保育業界の最新事情動画

福祉リカレント短期講座の広報動画として作成した。単なる講座の案内で作成するのではなく、福祉業界の最新事情を内容に取り組み、福祉業界で働く魅力向上に向けた動画を作成した。

### ② 介護職のための就職マッチング型ステップアップ短期講座の教材動画

福祉基礎講座で活用する事を目的にパラパラ漫画の動画教材を作成した。

### ③ e-learning システム(Moodle)を活用した介護福祉士国家試験過去問題コンテンツ

Moodle は、学びたい時間に学びたい場所において、何度でも見返すことができるため、受講生のペースに合わせた学びが可能になります。そのため国家試験介護福祉士の過去問題を学べるコンテンツも作成し、経済的に進学することができない方がこのコンテンツを活用して学び直しができるようになります。

## 5 福祉人材リスタート教育事業委員会

【実施委員会等の開催実績】 本年度は委員会を3回開催した。

第1回 福祉人材リスタート教育事業委員会	
日時・会場	【第1回】日時:令和4年8月4日(火) 10時~12時 会場:沖縄福祉保育専門学校 302・303教室
会議内容	【報告事項】 令和3年度福祉人材リスタート教育事業報告について 【審議事項】 令和4年度福祉人材リスタート教育事業概要(案)説明(意見聴取)

第2回 福祉人材リスタート教育事業委員会	
日時・会場	【第2回】日時:令和4年11月10日(金) 13時~15時30分 会場:沖縄福祉保育専門学校 302・303教室
会議内容	【報告事項】 福祉人材リスタート教育事業検証講座調査報告について 【審議事項】 令和4年度福祉人材リスタート教育事業 短期リカレント講座 について(案)説明(意見聴取)

第3回 福祉人材リスタート教育事業委員会	
日時・会場	【第3回】日時:令和5年2月14日(火) 10時~12時 会場:沖縄福祉保育専門学校 401・402教室
会議内容	【報告事項】 福祉人材リスタート教育事業 リカレント短期講座報告について

### 福祉人材リスタート教育事業 委員会の構成員(委員)

氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1 諸見里 安知	沖縄福祉保育専門学校 校長	委員長	沖縄県
2 大城 貴博	大庭学園 法人事務局	委員(事務局)	沖縄県
3 糸数 浩史	沖縄福祉保育専門学校 課長	委員(カリキュラム担当)	沖縄県
4 仲間 優子	沖縄福祉保育専門学校 主任	委員(カリキュラム担当)	沖縄県
5 新良 典子	ソーシャルワーク専門学校 課長	委員(カリキュラム担当)	沖縄県
6 比嘉 良洋	ソーシャルワーク専門学校 推進	委員(カリキュラム担当)	沖縄県
7 喜納 啓二	北中城村 福祉課 課長	委員(情報提供・広報)	沖縄県
8 岡 剛	与那原町 福祉課 課長	委員(情報提供・広報)	沖縄県
9 上地 和香子	西原町教育委員会	委員(情報提供・広報)	沖縄県
10 渡嘉敷 聡	沖縄県社会福祉協議会 福祉人材研修センター所長	委員(情報提供・広報)	沖縄県
11 渡口 治	名護市社会福祉協議会 事務局長	委員(情報提供・広報)	沖縄県
12 山下 尊之	介護労働安定センター沖縄支部長	委員(情報提供・広報)	沖縄県
13 渡慶次 直人	有限会社ケアセンターきらめき 代表取締役社長	委員(開発・広報)	沖縄県
14 天願 順優	社会福祉法人 勇翔福祉会 コスモストーリー保育園 園長	委員(開発・広報)	沖縄県
15 伊佐 智樹	社会福祉法人 ハイジ福祉会 グリーンホーム	委員(開発・広報)	沖縄県
16 幸喜 穂乃	合同会社 HappyJoy	委員(開発・広報)	沖縄県
17 小林 清彦	医療法人 愛生館	委員(開発・広報)	沖縄県
18 原田 竜生	社会福祉法人ながよ光彩会 新規事業準備室 室長	委員(開発・広報)	沖縄県
19 喜屋武 央	社会福祉法人翔福祉会 かりゆし諸見保育園	委員(開発・広報)	沖縄県

## V 令和5年度以降への展開

福祉人材リスタート教育事業の集大成である令和4年度では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で令和3年度は一部しか実施できなかった「福祉リカレント短期講座」を再度検証し、介護職だけではなく保育職のリカレント教育の実施・検証も行い、就職氷河期世代向け福祉人材リカレント教育プログラムを完成させた。令和5年度以降は、オンライン講座の e-Learning システム学習 Moodle のコンテンツを充実させ、今年度活用した Microsoft Teams も最大限に生かし、受講生にとって学習しやすい環境を構築し学校法人大庭学園のプログラムとして活用していく予定である。

## appendix

福祉人材確保に向けた市場アンケート調査  
資料一式

令和4年7月吉日

各 位

学校法人大庭学園  
法人事務局

### 「福祉人材確保に向けた市場アンケート調査」のご依頼

時下、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、学校法人大庭学園では、文部科学省の委託事業として、「福祉人材リスタート教育事業」を実施しております。本事業は、職業において必要となる能力を養成する専修学校が既存のカリキュラムを就職氷河期世代向けにカスタマイズし、非正規雇用者等のキャリアアップを目的としたリカレント(学び直し)合同講座の開発・実証を専修学校、行政及び企業等が連携して取り組んでおります。就職氷河期世代に福祉職に興味を持ってもらい、福祉の人材不足解消に繋がる事業展開を目指しています。

つきましては、県内の介護福祉施設の現状やニーズを把握するためアンケート調査を行うこととなりました。ご多忙のなか誠に恐縮ではございますが、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。皆様からのご回答を参考に、無資格者で介護業界に興味がある方を対象にした就職マッチング型のリカレント教育(学び直し)講座を11月頃に開校する予定です。その際には、インターシップの受入れ先等をお願いすることもあると思いますがご協力いただければ幸いです。

お忙しい中、大変恐縮ではございますがご協力いただきますよう、何卒よろしくようお願い申し上げます。

記

#### 1. 調査内容

福祉人材確保に向けた市場アンケート調査

#### アンケートの回答期限

2022年8月1日(月)12時 (FAX 返送先:098-869-6104)※株式会社プラスキャリア

#### 2. アンケートに関するお問合せ窓口

株式会社プラスキャリア(委託事業者)

沖縄県那覇市おもろまち1-5-26 TEL 098-868-9339 FAX 098-869-6104

担当:中村成志

#### 3. 本事業に関するお問合せ窓口

学校法人大庭学園 沖縄福祉保育専門学校

沖縄県那覇市久米1-5-17 TEL:098-988-0238

法人事務局 大城貴博

以上

[ 添付資料 ]

**FAX 送信先:098-869-6104**

## 介護福祉施設:福祉人材確保に向けた市場調査 現状調査アンケート

- 1 現在、介護福祉士の資格を持たない職員(正規雇用・非正規雇用)は、在籍していますか？  
 いない  1~2名  3~4名  5名以上( 名) ※「 いない」と答えた方は⑤にお進みください。
- 2 無資格職員の職歴をお教えてください。  
 6カ月未満( 名)  1年未満( 名)  3年未満( 名)  3年以上( 名)
- 3 無資格職員の年齢と職員数をお教えてください。  
 10代( 名)  20代( 名)  30代( 名)  40代( 名)  50代以上( 名)
- 4 無資格職員の雇用形態と職員数をお教えてください。  
 正規雇用職員( 名)  非正規雇用職員( 名)
- ⑤ 無資格職員のうち、初任者研修と実務者研修を受講した職員数をお教えてください。  
●初任者研修  
 受講した正規雇用職員( 名)  受講した非正規雇用職員( 名)  未受講者( 名)  
●実務者研修  
 受講した正規雇用職員( 名)  受講した非正規雇用職員( 名)  未受講者( 名)
- ⑥ 介護福祉士の無資格職員のための資格取得やスキルアップのための研修制度はありますか？  
研修制度あり  研修制度なし(  今後は検討したい  今後も予定していない )  
(現在行っている研修内容 : \_\_\_\_\_ )  
(今後行いたい研修内容 : \_\_\_\_\_ )
- ⑦ 無資格職員の研修や講座のために1人当たり年間どのくらい予算を考えていますか？  
 予算なし  1万円以内  5万円以内  10万円以上  内容に応じて検討する
- ⑧ 無資格職員に研修や講座を受講させる場合、ご希望の曜日をお教えてください。  
 月～金曜日  土曜日  日曜日・祝日  いつでも可  業務時間内可  業務時間不可
- ⑨ 大庭学園では、「福祉人材リスタート教育事業」のプログラムとして貴職員の30代以上の無資格者の方を対象に9月に福祉基礎講座開講を検討しておりますが興味ありますか？  
 興味がある  興味なし  内容による  
●講座について大庭学園からご案内させていただくことは可能でしょうか？  
 連絡可 (ご担当者名: \_\_\_\_\_ ご連絡先: \_\_\_\_\_ )  連絡不可
- ⑩ 大庭学園では、「福祉人材リスタート教育事業」のプログラムとして、介護業界に興味がある方を対象に「就職マッチング型リカレント講座」を検討しており、その際にインターシップ先としてご協力いただけますでしょうか？  
 協力可能  検討したい (ご担当者名: \_\_\_\_\_ ご連絡先: \_\_\_\_\_ )  協力不可

施設名	(フリガナ)	お名前	(フリガナ)	お役職
住所	〒 _____		TEL _____	
メールアドレス			FAX _____	

※アンケートは以上となります。ご協力頂きまして誠にありがとうございます。

※当アンケートで得た情報や個人情報に関しましては、当事業以外ではご活用いたしません。

令和4年7月吉日

各 位

学校法人大庭学園  
法人事務局

### 「福祉人材確保に向けた市場アンケート調査」のご依頼

時下、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、学校法人大庭学園では、文部科学省の委託事業として、「福祉人材リスタート教育事業」を実施しております。本事業は、職業において必要となる能力を養成する専修学校が既存のカリキュラムを就職氷河期世代向けにカスタマイズし、非正規雇用者等のキャリアアップを目的としたリカレント(学び直し)合同講座の開発・実証を専修学校、行政及び企業等が連携して取り組んでおります。就職氷河期世代に福祉職に興味を持ってもらい、福祉の人材不足解消に繋がる事業展開を目指しています。

つきましては、県内の保育施設の現状やニーズを把握するためアンケート調査を行うこととなりました。ご多忙のなか誠に恐縮ではございますが、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。皆様からのご回答を参考に、潜在保育士に向けた就職に直結するリカレント教育(学び直し)講座を11月頃に開校する予定です。その際には、インターンシップの受入れ先等をお願いすることもあると思いますがご協力いただければ幸いです。お忙しい中、大変恐縮ではございますがご協力いただきますよう、何卒よろしくようお願い申し上げます。

記

#### 4. 調査内容

福祉人材確保に向けた市場アンケート調査

#### 5. アンケートの回答期限

6. 2022年7月27日(水)15時 (FAX 返送先:098-869-6104)株式会社プラスキャリア

#### 7. アンケートに関するお問合せ窓口

株式会社プラスキャリア(委託事業者)

沖縄県那覇市おもろまち1-5-26 TEL 098-868-9339 FAX 098-869-6104

担当:中村成志

#### 8. 本事業に関するお問合せ窓口

学校法人大庭学園 沖縄福祉保育専門学校

沖縄県那覇市久米1-5-17 TEL:098-988-0238

法人事務局 大城貴博

以上

FAX 送信先:098-869-6104

保育施設:福祉人材確保に向けた市場調査 現状調査アンケート

- ①保育者(幼稚園教諭も含む)歴3年未満の職員(正規雇用・非正規雇用)は在籍していますか?  
 いない  1~2名  3~4名  5名以上( 名) ※「いない」と答えた方は③にお進みください。
- ②保育者歴3年未満の職員の年齢と職員数をお教えてください。  
 10代( 名)  20代( 名)  30代( 名)  40代( 名)  50代以上( 名)
- ③無資格の職員(子育て支援員含む)は在籍していますか?  
 いない  1~2名  3~4名  5名以上( 名) ※「いない」と答えた方は⑤にお進みください。
- ④③の無資格職員は資格取得に向けて勉強していますか?該当する職員数まで教えてください。  
 資格取得に向けて勉強している( 名)  資格取得を目指していない( 名)  
 具体的な勉強方法をお教えてください( )
- ⑤無資格職員や新人・潜在保育士のため資格取得やスキルアップのための研修制度はありますか?  
 研修制度あり  研修制度なし(  今後は検討したい  今後も予定していない )
- ⑥無資格職員や復職保育士等向けの研修に1人当たり年間どのくらい予算を考えていますか?  
 予算なし  1万円以内  5万円以内  10万円以上  必要に応じて検討している
- ⑦復職保育士の研修や講座を受講させる場合、ご希望の曜日をお教えてください。  
 月~金曜日  土曜日  日曜日・祝日  いつでも可  業務時間内可  業務時間不可
- ⑧大庭学園では、「福祉人材リスタート教育事業」のプログラムとして貴職員の30代以上の保育職3年未満の方を対象に9月に「新しい保育実践」講座開講を検討しておりますが興味ありますか?  
 興味がある  興味なし  内容による  
 ●講座について大庭学園からご案内させていただくことは可能でしょうか?  
 連絡可 (ご担当者名: \_\_\_\_\_ ご連絡先: \_\_\_\_\_ )  連絡不可
- ⑨大庭学園では、「福祉人材リスタート教育事業」のプログラムとして、就職に直結する「潜在保育士向けリカレント講座」を検討しており、その際にインターシップ先としてご協力いただけますでしょうか?  
 協力可能  検討したい (ご担当者名: \_\_\_\_\_ ご連絡先: \_\_\_\_\_ )  協力不可
- ⑩今後、保育職員にどのような講座を受講させたいですか?具体的な内容をお教えてください。  
 (内容: \_\_\_\_\_ )

施設名	(フリガナ)		お名前	(フリガナ)		お役職
住所	〒 _____			TEL		
メールアドレス				FAX		

※アンケートは以上となります。ご協力頂きまして誠にありがとうございます。  
 ※当アンケートで得た情報や個人情報に関しましては、当事業以外ではご活用いたしません。

福祉人材の継続的人材確保に向けた検証講座  
関連資料 一式

[ 添付資料 ]

令和4年度 文部科学省 委託事業  
専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト



「福祉人材リスタート教育事業」

## 福祉人材の継続的人材確保に向けた検証講座 【介護リカレント検証講座】



「心は豊かに技は確かに」  
～ちむながさの想いを育てる～

施設名	
受講者氏名	



学校法人 大庭学園  
沖縄福祉保育専門学校

## I. 検証講座の実施について

### 1. 検証講座実施日

日程:令和4年9月8日(木)・15日(木)・22日(木)の3日間

時間:朝9時～16時20分

- ・9月8日はオリエンテーションの為、8時30分開始
- ・9月22日はアンケート実施の為、17時10分迄となっておりますがアンケートが出来次第、退出可能です。

場所:・9月8日・15日 沖縄福祉保育専門学校(那覇市久米1-5-17)

・9月22日 ソーシャルワーク専門学校(北中城村屋宜原212-1)

### 2. 検証講座の内容

#### ①福祉基礎講座

介護福祉従事者としての基本体勢、健康保持と基本的な感染予防の基礎、生活支援技術の基礎

#### ②人間関係構築スキル

#### ③カウンセリング(※1時間程度・受講生と別日に調整)

※カウンセリングを受講生の希望日程に合わせて上記日程以外に実施します。(1時間程度)対談で実施するか、オンライン(ZOOM等)で実施するか、ご選定の程宜しくお願いします。カウンセリング希望日を複数日確保するよう、宜しくお願い致します。

※上記のスケジュールやプログラムに関しては、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、変更となる場合もございますので、ご了承ください。変更の際は事前にご連絡申し上げます。

## II. 検証講座内容

●介護検証講座1日目 9/8(木) 8:30～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
8:30～ 9:00	オリエンテーション	大城 貴博 (法人事務局)	302・303 (3階)
9:00～ 12:10	人間関係構築スキル	仲地 織江先生	302・303 (3階)
12:10～ 13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～ 16:20	人間関係構築スキル	松原 千秋先生	302・303 (3階)

[ 添付資料 ]

●介護検証講座 2 日目 9/15(木) 9:00～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～ 12:10	福祉基礎講座①	担当者 調整中	302・303 (3 階)
12:10～ 13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～ 16:20	福祉基礎講座②	担当者 調整中	302・303 (3 階)

●介護検証講座 3 日目 9/22(木) 9:00～17:10 会場: ソーシャルワーク専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～ 12:10	福祉基礎講座③	担当者 調整中	302・303 (3 階)
12:10～ 13:10	休憩 ※近隣にお弁当屋や定食屋が無いので、お弁当持参をお勧めします※		
13:10～ 16:20	福祉基礎講座④	担当者 調整中	302・303 (3 階)
16:20～ 17:10	アンケート回収 ※出来次第退出可※	仲西 なほこ様	302・303 (3 階)

※福祉基礎講座①～④の内容に関しては、現在内容調整中となります。  
内容調整完了後に追ってご連絡申し上げます。

### Ⅲ. 持ち物

- 筆記用具

#### IV. 受講にあたってのご協力願い

1. 会場である、沖縄福祉保育専門学校の館内はすべて禁煙です。
2. 携帯電話等をお持ちの方は、受講中は電源を切るか、マナーモードに切り替えてください。
3. 受講中に講師の許可なく、講座を録音・写真撮影はしないでください。
4. 【沖縄福祉保育専門学校駐車場 9月8日・15日】

久米パーキン[那覇市久米 2-11-2]です。(先着順で奥に詰めて駐車して下さい)

※縦列駐車となりますので、講座終了まで車の出し入れができなくなります。

#### 【ソーシャルワーク専門学校駐車場 9月22日】

第5駐車場に駐車するようお願いします。

5. 発熱等、体調のすぐれない方は、参加をご遠慮ください。  
感染対策として、1F玄関にて検温をお願い致します。また、マスク着用もお願いします。
6. 感染対策として、常に教室は換気しております。
7. 受講に際して、交通費・昼食費は各自己負担になります。
8. やむを得ず欠席する場合は、下記まで必ずご連絡ください。

#### 【お問い合わせ】

学校法人大庭学園 法人事務局 担当:大城 貴博

TEL:098-988-0238 メールアドレス:[houjin-recurrent@ooba-gakuen.ac.jp](mailto:houjin-recurrent@ooba-gakuen.ac.jp)

令和4年度 文部科学省 委託事業  
専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト

保育

「福祉人材リスタート教育事業」

## 福祉人材の継続的人材確保に向けた検証講座 【保育リカレント検証講座】



「心は豊かに技は確かに」  
～ちむながさの想いを育てる～

施設名	
受講者氏名	



学校法人 大庭学園  
沖縄福祉保育専門学校

## I. 検証講座の実施について

### 1. 検証講座実施日

日程: 令和4年9月7日(水)・14日(水)・21日(水)・28日(水)の4日間

時間: 朝9時～16時20分

- ・9月7日はオリエンテーションの為、8時30分開始
- ・9月28日はアンケート実施の為、17時10分迄となっておりますがアンケートが出来次第、退出可能です。

場所: 9月7日・21日・28日 沖縄福祉保育専門学校(那覇市久米1-5-17)

・9月14日 ソーシャルワーク専門学校(北中城村屋宜原212-1)

### 2. 検証講座の内容

#### ①新しい保育実践

今求められる保育実践、保育における環境校正、身体を使った遊び、言葉・音楽を使った遊び、物とのかかわり等

#### ②人間関係構築スキルアップ講座

#### ③保育 ICT

#### ④カウンセリング(※1時間程度・受講生と別日に調整)

※カウンセリングを受講生の希望日程に合わせて上記日程以外に実施します。(1時間程度)

対談で実施するか、オンライン(ZOOM等)で実施するか、ご選定の程宜しく願います。

カウンセリング希望日を複数日確保するよう、宜しく願ひ致します。

※上記のスケジュールやプログラムに関しては、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、変更となる場合もございますので、ご了承ください。変更の際は事前にご連絡申し上げます。

## II. 検証講座内容

●保育検証講座1日目 9/7(水) 8:30～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
8:30～ 9:00	オリエンテーション	大城 貴博 (法人事務局)	302・303 (3階)
9:00～ 12:10	人間関係構築スキル	仲地 織江先生	302・303 (3階)
12:10～ 13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～ 14:40	人間関係構築スキル	仲地 織江先生	302・303 (3階)
14:50～ 16:20	保育 ICT	玉城 伸悟先生	302・303 (3階)

[ 添付資料 ]

●保育検証講座 2 日目 9/14(水) 9:00～16:20 会場: ソーシャルワーク専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～ 12:10	今求められる保育実践	比嘉 良洋先生	
12:10～ 13:10	休憩 ※近隣にお弁当屋や定食屋が無いので、お弁当持参をお勧めします※		
13:10～ 16:20	言葉・音楽を使った遊び	大城 了子先生	

●保育検証講座 3 日目 9/21(水) 9:00～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～ 12:10	保育における環境構成	比嘉 良洋先生	302・303 (3 階)
12:10～ 13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～ 16:20	物とのかかわり	仲宗根 由美先生	302・303 (3 階)

●保育検証講座 4 日目 9/28(水) 9:00～17:10 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～ 12:10	身体を使った遊び ※動きやすい格好と着替え※	大城 克也先生	302・303 (3 階)
12:10～ 13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～ 16:20	発達支援等	仲間 優子先生	302・303 (3 階)
16:20～ 17:10	アンケート ※出来次第退出可※	仲西 なほこ様	302・303 (3 階)

### Ⅲ. 持ち物

- 筆記用具
- 9月28日(水)の午前中は「身体を使った遊び」を実施しますので、動きやすい格好(ジャージ/トレパン等)と、汗をかくと思いますので、着替えもご準備してください。

### Ⅳ. 受講にあたってのご協力願い

1. 会場である、沖縄福祉保育専門学校とソーシャルワーク専門学校の館内はすべて禁煙です。
2. 携帯電話等をお持ちの方は、受講中は電源を切るか、マナーモードに切り替えてください。
3. 受講中に講師の許可なく、講座を録音・写真撮影はしないでください。
4. **【沖縄福祉保育専門学校駐車場 9月7日・21日・28日】**

久米パーキン[那覇市久米2-11-2]です。(先着順で奥に詰めて駐車して下さい)

※縦列駐車となりますので、講座終了まで車の出し入れができなくなります。

#### **【ソーシャルワーク専門学校駐車場 9月14日】**

第5駐車場に駐車するようお願いします。

5. 発熱等、体調のすぐれない方は、参加をご遠慮ください。  
感染対策として、1F玄関にて検温をお願い致します。また、マスク着用もお願いします。
6. 感染対策として、常に教室は換気しております。
7. 受講に際して、交通費・昼食費は各自己負担になります。
8. やむを得ず欠席する場合は、下記まで必ずご連絡ください。

#### **【お問い合わせ】**

学校法人大庭学園 法人事務局 担当:大城 貴博

TEL:098-988-0238 メールアドレス:[houjin-recurrent@ooba-gakuen.ac.jp](mailto:houjin-recurrent@ooba-gakuen.ac.jp)

福祉リカレント短期講座  
関連資料 一式



未経験・無資格  
からでも挑戦できる!

募集締切

令和4年

12/28 水

15時まで

目指せ介護職  
リカレント教育  
(学び直す教育)

介護職への就職マッチング型  
ステップアップ短期講座

# 受講生募集

受講料  
無料

福祉の基本・基礎を講座で学び、  
就業体験(インターンシップ)を通し  
て就職マッチングをサポート!  
介護職に興味のある方は、本講座  
をぜひ受講ください!

スマホやPCで  
オンライン受講も対応

＼ 沖縄本島内どこからでも受講可能 /



※一部、講座によっては対面で行う場合がございます。

∥ 詳細に関してお話しを聞いてみたい方 ∥  
お気軽にご連絡ください!!

お気軽にお問い合わせください。

福祉人材リスタート教育事業 リカレント短期講座運営事務局(担当:中村)

TEL 098-868-9339

MAIL oobagakuen.recurrent@gmail.com

講座開催場所

沖縄福祉保育専門学校  
(那覇市久米1-5-17)

※開催場所については、一部変更となる可能性があります。

主 催

学校法人大庭学園 法人事務局  
098-988-0238

# 最新の介護業界を知るために まずは動画を観てください！

今、セカンドキャリアの転職先として注目されているのが「介護業界」です。

介護現場のイメージから驚くかもしれませんが、職場環境の改善や介護器具の進歩により働きやすい業界になっております。さらに給与面も改善しておりますので、ぜひ動画を視聴して最新の介護業界を知ってください。介護業界に戻りたい方も、以前と最新の介護業界を比較してみてください。

最新の介護業界の  
イメージが変わります



最新の介護業界がわかる動画を公開中!!  
QRコードから今すぐアクセス



## 講座内容

令和5年1/10(火)～令和5年2/11(土)

受講対象者

就職氷河期世代(概ね35歳～55歳等)で、介護業界に興味のある方。  
(経験者でも可能です※対象外の方でも、気になる方はお気軽にお問い合わせください。)

### STEP 1

#### 社会人のための就業体験 (インターンシップ)

福祉施設(介護、障がい、児童デイ、病院等)で、就業体験(インターンシップ)を行います。複数箇所の施設を回ることができ、自分に合った介護業界にチャレンジできます。

### STEP 2

#### 採用試験～ 福祉施設へ就職決定 (就職採用マッチング)

- 採用後は、勤務扱いで講座を受講します。
- 内定まで丁寧にフォローアップ!!

### STEP 3

#### 講座

- 座学
- グループワーク

- 福祉基礎講座
- 人間関係構築スキルアップ講座
- キャリアデザイン等

#### 講座開始

■1月10日(月)

#### 就業体験(インターンシップ)説明会

■1月11日(火)

就業体験(インターンシップ)+就職採用期間  
(時間と日程は就業体験先(インターンシップ先)との調整)

■1月16日(月)～31日(火)

#### 福祉の基礎講座

(朝9時～16時20分)

■1月13日(金)～14日(土)

■2月1日(水)～7日(火)

※2月5日(日)は休講

※講座期間中にカウンセリングも実施します。※講座内容と日程、時間などに関しては変更する場合がございます。

講座日程はコチラから

#### 就業体験 (インターンシップ)

自宅の近くや、就業体験(インターンシップ)説明会で良いと思えた施設等、自由に複数箇所の施設で体験できます。



講座へのお申し込みは Google フォームまたは、メールで

#### Googleフォーム申し込み

エントリーフォーム  
QRコード



#### メール申し込み

【メールアドレス】 oobagakuen.recurrent@gmail.com

福祉人材リスタート教育事業 リカレント短期講座運営事務局 (担当: 中村 宛)

履歴書を添付または、下記の内容をメール本文にご記入下さい。

【件名】

保育リカレント短期講座

【メール本文】

名前(カナ)・生年月日・性別(任意)  
郵便番号・住所・電話番号(自宅・携帯)

新しい保育を  
学び直すチャンス!!

もう一度、保育業界で  
働きたい方へ

募集締切

令和4年

12/28水

15時まで

保育者向け

保育リカレント短期講座  
(新しく学び直す教育)

受講生募集

受講料  
無料

保育業界を離れ、長年の空白があっても大丈夫!

就業体験(インターンシップ)を通して、  
保育業界への復職をサポートします!  
再び、保育の現場で即戦力として活躍  
できる本講座をぜひ受講してください!

スマホやPCで  
オンライン受講も対応

＼ 沖縄本島内どこからでも受講可能 /



※一部、講座によっては対面で行う場合がございます。

〓 詳細に関してお話しを聞いてみたい方  
お気軽にご連絡ください! 〓

お気軽にお問い合わせください。

福祉人材リスタート教育事業 リカレント短期講座運営事務局(担当:中村)

TEL 098-868-9339

MAIL oobagakuen.recurrent@gmail.com

講座開催場所

沖縄福祉保育専門学校  
(那覇市久米1-5-17)

※開催場所については、一部変更となる可能性があります。

主催

学校法人大庭学園 法人事務局  
098-988-0238

# 最新の保育業界は 働きやすくなっています!

Q1

今の時代の保育の知識  
技能がわからない

A 最新の保育を細かく  
学び直します。受講後  
は即戦力として保育  
の現場に戻れます。

Q2

子育て中なので家庭と  
仕事のバランスが難しい

A ライフスタイルに合わ  
せた働き方をご相談  
しながら、最善の働き  
方を見出しましょう!

まずは動画を視聴してください。



Q3

保育業界は給料が  
低いんだよね・・・。

A 昔と変わって今は、  
給与面も改善されて  
おりますので、動画  
で確認して下さい。

Q4

残業や持ち帰る仕事が  
多くて大変なイメージ

A 保育ICT等を用いて  
業務改善がなされて  
います。

最新の保育業界がわかる動画を公開中  
QRコードから今すぐアクセス



## 講座内容

令和5年1/7<sup>±</sup>～令和5年2/11<sup>±</sup>

受講対象者

就職氷河期世代(概ね35歳～55歳等)で、介護業界に興味のある方。  
(経験者でも可能です※対象外の方でも、気になる方はお気軽にお問い合わせください。)

STEP 1 オンライン・対面  
同時開講

講座 ●座学  
●グループワーク

- 新しい保育実践
- 保育ICT
- 人間関係構築スキルアップ講座
- キャリアデザイン 等

STEP 2

社会人のための就業体験  
(インターンシップ)

講座で学んだ知識を就業  
体験(インターンシップ)  
で活かす!

STEP 3

保育業界へ復職サポート

最新の保育知識と、就業体験(イ  
ンターンシップ)で得た実践力  
で、復職できるようサポート!

講座開始

■1月7日(土)

オンライン型講座日程(夕19時～21時30分)

■1月11日(水)、12日(木)、16日(月)、17日(火)

対面型講座日程(朝9時～16時20分)

■1月14日(土)、21日(土)

就業体験(インターンシップ)説明会

■1月20日(金)

就業体験(インターンシップ)期間

■1月23日(月)～2月4日(土)

※講座期間中にカウンセリングも実施します。※講座内容と日程、時間などに関しては変更する場合がございます。

講座日程はコチラから

就業体験  
(インターンシップ)

自宅の近くや、就業体験(インターンシップ)説明会で良いと思えた  
施設等、自由に複数箇所の施設で体験できます。



講座へのお申し込みは Google フォームまたは、メールで

Googleフォーム申し込み

エントリーフォーム  
QRコード



メール申し込み

【メールアドレス】 oobagakuen.recurrent@gmail.com

福祉人材リスタート 教育事業 リカレント短期講座運営事務局 (担当: 中村 宛)

履歴書を添付または、下記の内容をメール本文にご記入下さい。

【件名】  
保育リカレント短期講座

【メール本文】  
名前(カナ)・生年月日・性別(任意)  
郵便番号・住所・電話番号(自宅・携帯)

リカレント教育PR映像 映像構成案 介護①

B	C	TIME	イメージ	内容・動き	テロップ	ナレーション	使用イラスト
1	1	0:00		介護、いいかも！ 一緒に暮らし、おカネもいっしょへの保証		介護、いいかも！ 一緒に暮らし、おカネもいっしょへの保証	e1c1.a1
2	1	0:02		介護のため働く方も 働きたい人まで、介護 施設の仕事。いろいろな 仕事があります。おカネも		介護のため働く方も 働きたい人まで、介護 施設の仕事。いろいろな 仕事があります。おカネも	e2c1.a1 e2c1_1.a1 e2c1_2.a1
3	2			おカネもいっしょに おカネもいっしょに		おカネもいっしょに おカネもいっしょに	e2c2.a1 e2c2_2.a1
3	1	0:15		おカネもいっしょに おカネもいっしょに		おカネもいっしょに おカネもいっしょに	e2c3.a1
4	2	0:20		おカネもいっしょに おカネもいっしょに		おカネもいっしょに おカネもいっしょに	e2c4.a1 e2c4_2.a1 fairy.a1
2	1	0:34		介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	1. 介護 施設	介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	e3c1.a1 e3c1_2.a1 fairy.a1
2	1	0:51		介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	1. 介護 施設	介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	e3c1.a1 e3c1_2.a1 fairy.a1
3	1	1:00		介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	1. 介護 施設	介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	e3c1.a1 e3c1_2.a1 e3c1_3.a1 e3c1_4.a1 e3c1_5.a1 e3c1_6.a1 fairy.a1
4	1	1:15		介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	1. 介護 施設	介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	e3c4.a1 e3c4_2.a1 fairy.a1
5	1	1:22		介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	1. 介護 施設	介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	e3c5.a1 fairy.a1 e3c4_2.a1
6	1	1:37		介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	1. 介護 施設	介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	e3c6.a1 e3c6_2.a1 fairy.a1
7	1	1:46		介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	1. 介護 施設	介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	e3c1.a1 e3c1_2.a1 fairy.a1
8	1	1:50		介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	1. 介護 施設	介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	e3c4.a1 e3c4_2.a1 e3c8.a1 e3c8_2.a1 fairy.a1
4	1	2:10		介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	1. 介護 施設	介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	
5	1	2:13		介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	1. 介護 施設	介護施設 （介護施設） 「おカネもいっしょに」の イメージを	e3c4.a1 e3c4_2.a1 e3c8.a1 e3c8_2.a1 fairy.a1

※ナレーションイメージ  
男性  
女性  
録音

[ 添付資料 ]

リカレント教育PR映像 映像構成案 介護②

S	C	TIME	イメージ	内容・動き	テロップ	ナレーション	イラスト
1	1	0:00		DP	介護、いいかも！ 一緒に学び、ササドキャリアへの挑戦		追加イラスト以外は介護①と同じものを使ってください
2	1	0:04		介護の学びとキャリアの進化	2月開校 短大4校編成がスタート！	さて、介護業界の需要は年々増加傾向です。介護の学びとキャリアの進化は、一人でも多くの人材を育てるための重要な役割です。	
2	2	0:15		資格マッキング	短大マッキング型 介護マッキング講座	どんな資格の組み合わせがおすすめですか？ 今の高卒生が学ぶべき資格は何か？ 介護マッキング講座	
3	2	0:25		学び × 就職	学び × 就職	介護の学びと就職の関係を学ぶ。学びと就職の関係を学ぶ。学びと就職の関係を学ぶ。	
4	2	0:41		1. 介護の仕事	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	
5	2	0:54		2. 介護の仕事	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	s2c5_01 s2c5_21 s2c5_31 s2c5_41
6	2	1:00		3. リカレント教育	リカレント教育 ・高卒生が学ぶ ・介護の仕事の魅力	リカレント教育のメリット、デメリット、学びと就職の関係を学ぶ。	
7	2	1:15		4. 介護の仕事	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	s2c7_01
8	2	1:20		5. 介護の仕事	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	s2c8_01
9	2	1:33		6. 介護の仕事	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	
10	2	1:48		7. 介護の仕事	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	s3c1_01 s3c1_21 s3c1_31
11	2	1:55		8. 介護の仕事	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	s3c2_01
12	2	2:00		9. 介護の仕事	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	介護の仕事の種類、仕事内容、求められるスキル、介護の仕事の魅力	s4c3103

※ナレーションイメージ  
男性  
女性  
高齢者



[ 添付資料 ]

リカレント教育PR映像 映像構成案 保育②

S	C	TIME	イメージ	内容・動き	テロップ	ナレーション	使用イラスト
1	1	0:00	また保育の世界に！ ～潜在保育士、復職への道～ 	OP	また保育の世界に！ ～潜在保育士、復職への道～		追加イラスト以外は保育①と 同じものを使ってください
2	1	0:04	2時間目 安心の復職サポート 	台詞の後にテロップ表示	2時間目 安心の復職サポート	うーん、待遇が改善されたのは分かったけど復職準備って大変じゃない？大丈夫でしょ！今は保育士の復職サポートも充実しているんですよ！	
2	2	0:22	数字準備金貸付制度 復職する潜在保育士に就学準備金として最大40万円を貸付 本給学費の復職料を一部貸付 下宿費等の必要経費を一部貸付 		・就学準備金貸付制度 復職する潜在保育士に就学準備金として最大40万円を貸付 ・未就学児の保険料を一部貸付 未就学児のいる潜在保育士に保育料の一部を貸付	例えば！金銭面でのサポート！え～！こんなに手厚いサポートが！？	s2c2.ai
3	3	0:33	対象施設、事業所において保育士として2年間勤務した場合返戻免除 	イラストポップアップ	対象施設、事業所において保育士として2年間勤務した場合返戻免除 参照※沖縄県社会福祉協議会 沖縄県福祉研修センターHP	しかも、復職して2年間勤務すると返戻は免除されるんですよ！へえ～！復職者に優しい…	s2c3.ai s2c3-2.ai s2c3-3.ai
4	4	0:45	復職相談 	建物と名所を出した後 話し3つ順番に出現	沖縄県保育士・保育所支援センター 就労相談 復職相談 説明会	他にも、沖縄県には保育士・保育所支援センターが設置されているんですよ。気軽に相談に向けての相談ができるから安心でしょよ。そうなんだ！田や宮さんからもちゃんとサポートしてもらえるのは嬉しいね！	s2c4.ai
3	1	1:06	つづく…		つづく…		
4	1	1:09	介護・保育の ooba OSKIDA 大蔵学園 令和3年度 文部科学省委託事業 「専修学校リカレント教育 総合推進プロジェクト」 		令和4年度 文部科学省委託事業 「専修学校リカレント教育 総合推進プロジェクト」		

※ナレーションイメージ

男性  
女性  
赤ちゃん

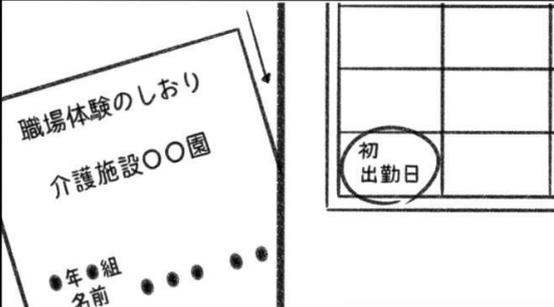
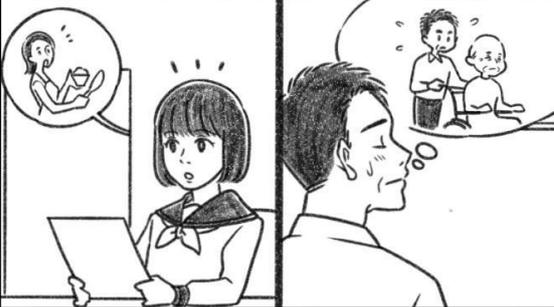
1.02958687

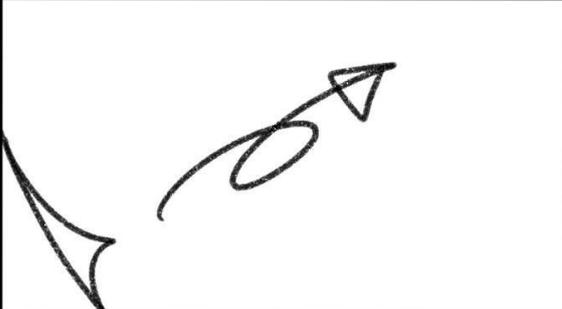
リカレント教育PC状況 取組構成表 保育士

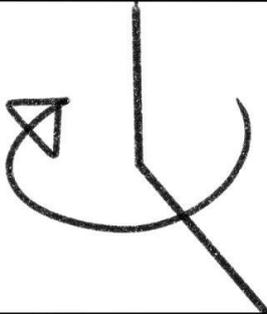
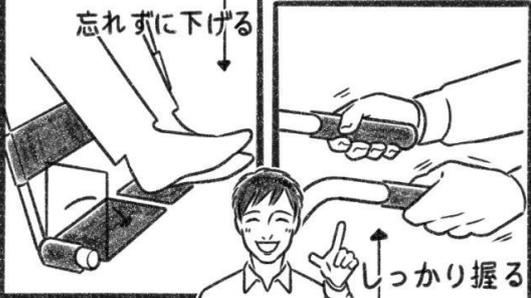
№	Tab	イメージ	内容・目的	学習ステップ	アクション	イラスト
1	303		また教育の世界に！ ～が実現できる、保育士へ～			講師イラストは標準的な 図にも必ず添えてください
2	305		3分程度 知識講座を見直しましょう！	知識講座 見直しをしましょう！	講座と資料を再度確認していただき、質問できる機会があるため必ず見直しをお願いします	
3	311		1時間 オンラインで 保育士研修プログラムの確認		研修プログラムの確認 研修プログラムの確認 研修プログラムの確認	
3	327		学び × 発表	学び 発表	研修内容の振り返りや質問を促すため、学びの発表を促すように、公開講座の発表を促すように、発表の機会を設けていただきます	
4	303		上記講座と1人1課 研修	上記講座 1人1課 研修	研修内容の振り返りや質問を促すため、学びの発表を促すように、公開講座の発表を促すように、発表の機会を設けていただきます	
5	310		1人1課 研修	1人1課 研修	研修内容の振り返りや質問を促すため、学びの発表を促すように、公開講座の発表を促すように、発表の機会を設けていただきます	
3	100		研修内容の確認	研修内容の確認	研修内容の確認 研修内容の確認 研修内容の確認	
5	120		研修内容の確認	研修内容の確認	研修内容の確認 研修内容の確認 研修内容の確認	
4			研修内容の確認	研修内容の確認	研修内容の確認 研修内容の確認 研修内容の確認	
3			研修内容の確認	研修内容の確認	研修内容の確認 研修内容の確認 研修内容の確認	
1			研修内容の確認	研修内容の確認	研修内容の確認 研修内容の確認 研修内容の確認	
4	120		その後... 研修	その後... 研修	その後... 研修	
2	100		研修内容の確認	研修内容の確認	研修内容の確認 研修内容の確認 研修内容の確認	
3	100		研修内容の確認	研修内容の確認	研修内容の確認 研修内容の確認 研修内容の確認	
1	100		研修内容の確認	研修内容の確認	研修内容の確認 研修内容の確認 研修内容の確認	
5	700		研修内容の確認	研修内容の確認	研修内容の確認 研修内容の確認 研修内容の確認	
2	733		研修内容の確認	研修内容の確認	研修内容の確認 研修内容の確認 研修内容の確認	

研修  
研修  
研修

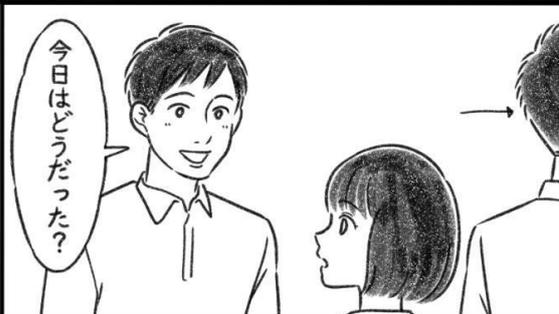
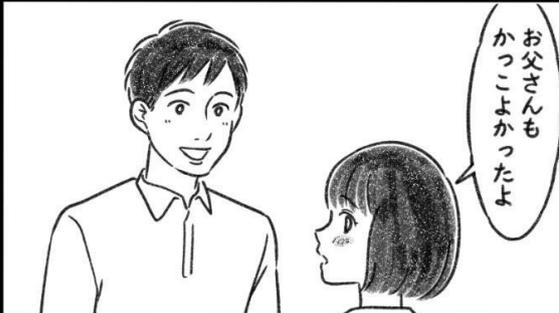
1310000

	画面・絵	内容
1		<p>&lt;娘&gt; 1：職場体験のしおりアップ 画面外へ消えると次のシーンが出てくる</p>
2		<p>お年寄りの想像するがあまり楽しみではない様子</p> <p>&lt;新入社員&gt; 1：カレンダーに書かれている「初出勤日」という文字</p>
3		<p>画面が引くと新入社員が出てくる</p> <p>2：そのカレンダーを不安そうな表情で眺めてる新入社員</p> <p>&lt;娘&gt; ドアから吹き出し 母がご飯だと呼んでいる</p>
4		<p>新入社員のシーンが消える</p>
5		<p>画面が切り替わり</p> <p>だらけている父の元にやってくる娘</p>

	画面・絵	内容
1		<p>父を見て うんざり嫌そうな顔をする</p>
2		<p>画面がめくれる</p>
3		<p>職場体験の当日 友達と一緒に 施設にいる担当者に案内されている 新入社員の人と一緒に 活動していきますと案内される ※娘たちは学校指定のジャージの イメージです。</p>
4		<p>車椅子を押す介護士(父)が 画面に入ってくる</p>
5		<p>画面が切り替わり その施設で働く父の存在に気づき 驚く娘 父も驚いている</p>

	画面・絵	内容
1		<p>時計の針のように 針が一周して画面が切り替わる</p>
2		<p>&lt;娘&gt; 介護施設の体験(食事介助)をしている &lt;新入社員&gt; 利用者の起き上がり介助を行っている</p>
3		<p>時計の針のように 針が一周して画面が切り替わる</p>
4		<p>新入社員娘たちに対して 父が車椅子を押すときのポイントを 教えている</p>
5		<p>2つの画面が スライドして入ってくる</p>

	画面・絵	内容
1		<p>2つの画面が消え画面が戻る</p> <p>普段の父の姿との 違いに少し驚いている娘</p>
2		<p>画面がめくれる</p>
3		<p>施設のレクリエーション 花紙で花を作っている</p> <p>ついさっき食事介助をした 利用者の認知症の症状が出てしまう</p>
4		<p>娘や友達はさっき食べたよな…と 混乱している</p> <p>そこへ父が現れる</p>
5		<p>画面が切り替わり 父が利用者へ声を掛ける</p>

	画面・絵	内容
1		画面が切り替わり 娘に話しかける父 新入社員は利用者の方へ行く (画面外へ移動)
2		
3		娘は恥ずかしそうに話す
4		娘からの言葉に嬉しくて 笑顔になる父
5		シーンが徐々に消えると キャッチコピーが現れる

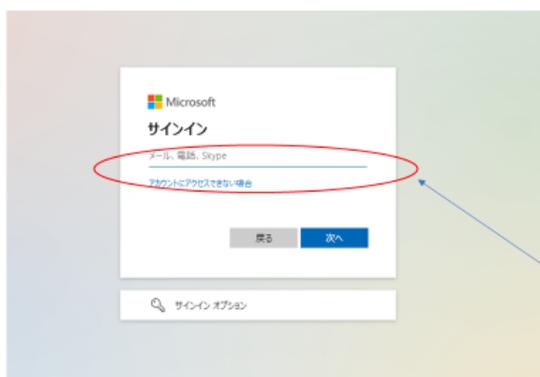
	画面・絵	内容
1	<p>キャッチコピー</p>	<p>キャッチコピー</p>
2	<p>介護と保育の</p>  <p>学校法人 大庭学園</p> <p>令和4年度 文部科学省委託事業 「専修学校リカレント教育 総合推進プロジェクト」</p>	<p>ロゴ</p>
3		
4		
5		

## 1 Moodle を活用した国家試験介護福祉士過去問題コンテンツ

Moodle は、学びたい時間に学びたい場所において、何度でも見返すことができるため、受講生のペースに合わせた学びが可能になります。そのため国家試験介護福祉士の過去問題を学べるコンテンツも作成し、経済的に進学することができない方がこのコンテンツを活用して学び直しができるようにします。

### 2-1 画面インターフェース

#### 【ログインページ】

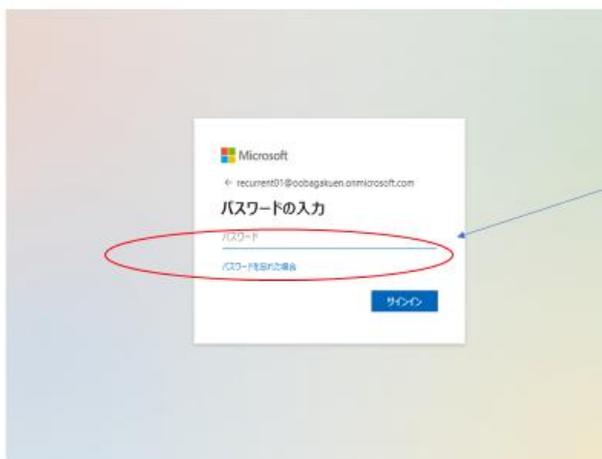


【moodle 介護福祉士過去問題 URL】  
<https://okifuku.jp/>



ID : ○○

※teamsログインIDを入力



PASS:○○

※ teamsパスワードを入力

## 2-2 画面インターフェース

### 【コースページ】

「介護福祉士過去問題」  
をクリックします。



①受験したい問題をクリック



## 2-2 画面インターフェース

### 【問題ページ】

「受験する」をクリック

Home / マイコース / 介護福祉士過去問題 / 令和3年度 介護福祉士過去問題 / 令和3年度 介護福祉士過去問題

### 令和3年度 介護福祉士過去問題

判定方法: 最高評点

受験件数: 1

あなたの前回の受験概要

受験	状態	評点 / 125.00	レビュー
プレビュー	終了 送信日時: 2022年11月18日(土曜日) 08:51	0.00	レビュー

最高評点: 0.00 / 125.00

もう一度受験する

管理メニュー

- コース登録
- ユーザー登録
- ユーザー一覧

学習履歴

- 保育リカレントコースの学習履歴
- 介護福祉士過去問題の学習履歴
- 動画練習用の学習履歴
- TEST1の学習履歴

管理

Home / マイコース / 介護福祉士過去問題 / 令和3年度 介護福祉士過去問題 / 令和3年度 介護福祉士過去問題 / プレビュー

### 介護福祉士過去問題

問題1

未回答

最大評点: 1.00

問題をマーク  
をつける

問題を編集  
する

解説: ケアの本来「生きることの意味」の中で、「一人の人 相手ケアするとは、最も深い意味で、その人が成 熟すること、自己実現することを目指すことである」と述べた人物として、正しいものを1つ選びなさい。

- カル・ヤマト
- 神谷美恵子
- いづみやす
- 赤見一穂
- フローレンス・ナイチンゲール (Nightingale, F.)
- ミルトン・メイヤロフ (Mayeroff, M.)
- ベンクト・ニリエ (Njira, B.)

次のページ

ジャンプ...

令和3年度 介護福祉士過去問題

小テストナビゲーション

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54	55	56
57	58	59	60	61	62	63	64
65	66	67	68	69	70	71	72
73	74	75	76	77	78	79	80

# ライブラリエ LibrariE™ 使い方ガイド



LibrariEは「いつでも」「どこでも」読書できる電子図書館サービスです。スマートフォン、タブレット、PCなどご自身の端末で自由に利用できます。ぜひ、電子図書館をご活用下さい！

QRコード



## 1 電子図書館システムにログインする <https://www.d-library.jp/ooba/>



### 【貸出条件】

- ・貸出上限数：5冊
- ・貸出日数：7日
- ・予約上限数：5冊
- ・取置日数：7日
- ・延長回数：1回

※画面はイメージです。

ご自分の利用者IDとパスワードを入力して「ログインする」ボタンを押してログインします。



## 2 電子書籍を借りて読む

読みたい電子書籍の「借りる」ボタンを押します。

貸出完了画面が表示されますので、すぐに読む場合は「今すぐ読む」ボタンを押します。

画面で矢印の出る方向で読み進めてください。ブラウザのウィンドウを閉じれば、終了となります。

※次回閲覧時は、続きから表示されます。



### 貸出結果

「ココミル 箱根 (2017年版)」の貸出が完了しました。2017年10月18日までご利用いただけます。なお、ご利用期限日を過ぎると自動的に返却されます。

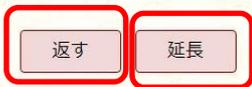
今すぐ読む

借りている資料一覧へ

閉じる

### 3 電子資料を返却する・貸出延長する

電子資料は貸出期限が終了すると自動返却されます。  
貸出期限以前に返却する場合は、  
「マイページ」に移動して「返す」ボタンを押します。



「延長」ボタンを押すことで  
貸出延長も可能です。  
※予約の方がいない時一回のみ  
延長が可能です。

### 4 貸出中の電子資料を予約する

資料が貸出中の場合、予約をすることができます。



予約している資料が利用できるようになると  
トップ画面にメッセージが表示され、  
置き期間中(5日間)に貸出できます。



### 5 ビューワ設定 (文字サイズなど) の変更方法

閲覧中に画面左上をクリックすると設定変更画面が表示され、設定を変更することができます。

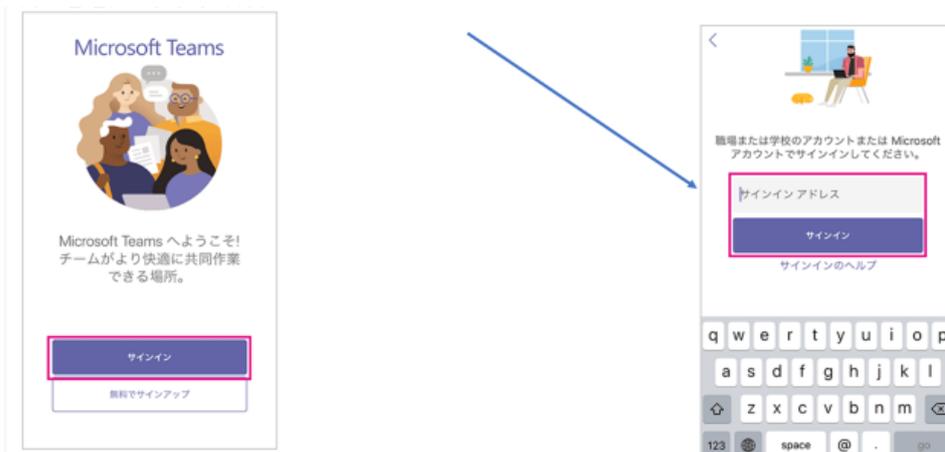
(文字サイズ最大化および色反転の例)



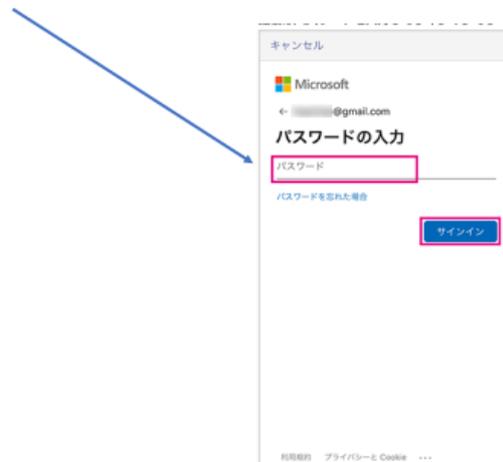
①App Store 又はGoogle play  
より 「Microsoft teams」 をインストール



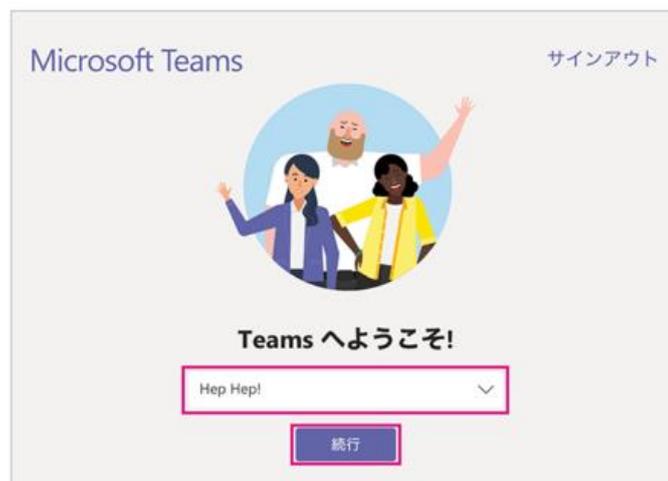
②サインイン画面で、自分のアカウントを入力する



### ③パスワードを入力する



### ④登録完了です



令和4年度 文部科学省 委託事業  
専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト

「福祉人材リスタート教育事業」

介護

【介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座】

## 事業概要書



「心は豊かに技は確かに」  
～ちむながさの想いを育てる～

受講者氏名	
-------	--



学校法人 大庭学園  
沖縄福祉保育専門学校

※状況に応じてスケジュールやプログラムに一部変更を伴う場合もございます。その際は、事前にご連絡いたします※

[ 添付資料 ]

## I. 介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座の実施について

1. 日程・概要・場所(期間:令和5年1月10日(火)～令和5年2月11日(土))

■令和5年1月10日(火) 朝9時30分～16時20分(9時10分集合)

オリエンテーション、就業体験(インターンシップ)説明会

場所:沖縄福祉保育専門学校(那覇市久米1-5-17)

■令和5年1月11日(水) 朝10時20分～16時20分(10時00分集合)

就業体験(インターンシップ)説明会

場所:沖縄福祉保育専門学校(那覇市久米1-5-17)

■令和5年1月16日(月)～1月31日(火) ※時間は各施設にて変動

就業体験(インターンシップ)・就職採用マッチング期間

場所:各自ご希望する介護、障がい、児童デイ、病院等の施設

■令和5年1月14日(土)、2月1日(水)～7日(火)※5日は休み

講座(内容は以下をご覧ください)

朝9時～16時20分(8時50分集合)

場所:沖縄福祉保育専門学校(那覇市久米1-5-17)※予定

### 2. 講座の内容

#### ①福祉基礎講座

介護福祉従事者としての基本体勢、健康保持と基本的な感染予防の基礎、生活支援技術の基礎、認知症 等

#### ②人間関係構築スキルアップ講座

#### ③カウンセリング(※1時間程度×1回・受講生と別日に調整)

※カウンセリングを受講生の希望日程に合わせて上記日程以外に実施します。

(1時間程度×1回)対談で実施するか、オンライン(ZOOM等)で実施するか、ご選定の程、宜しくお願いします。

カウンセリング希望日を複数日確保するよう、宜しくお願い致します。

## II. 講座内容

●介護講座1日目 1月10(火) 9:30～16:20 場所: 沖縄福祉保育専門学校

オリエンテーション・就業体験(インターンシップ)説明会

時間	内容	担当者	教室
9:30～10:10	オリエンテーション	大城 貴博 (法人事務局)	401・402 (4階)
10:20～10:50	沖縄一条園(オンライン説明) 生活指導員 神里 一希様		401・402 (4階)
11:00～11:30	医療法人タピック 沖縄リハビリテーション病院 管理本部課長 中山 真様		
12:00～13:00	休憩		

近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です

13:00～13:30	メディケアハウス 前島 人事部 川満 猛尊様	401・402 (4階)
13:40～14:10	特別養護老人ホーム皇・おてだま 施設長 当間 順子様	
14:20～14:50	ぶからす長田デイサービス 施設長 山里 靖様	
15:00～15:30	ケアハウスはいびすかす 管理係長兼生活相談員 祝嶺 賢宅様	

●介護講座 2 日目 1 月 11(水) 10:20～16:20 場所: 沖縄福祉保育専門学校  
就業体験(インターンシップ)説明会

時間	内容	教室
10:20～10:50	医療法人陽和会 南山病院 福祉事業部長 阿部 慎哉様	401・402 (4階)
11:00～11:30	特別養護老人ホーム つじまち 事務長 磯 健太様	
12:00～13:00	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です	
13:00～13:30	緑樹苑(ケアハウスていんさぐぬ花) 砂川 智規	401・402 (4階)
13:40～14:10	高齢者ハウスりゅうしん 管理者 當山 昌樹様	
14:20～14:50	社会福祉法人彩生会 副施設長 末吉 淳志様	
15:00～15:30	障害者支援施設 都屋の里 管理部長 宮里 美奈子様	

●介護講座 3 日目 1 月 14 日(土) 9:00～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校  
就業体験(インターンシップ)事前研修

時間	内容	担当者	教室
9:00～12:10	就業体験(インターンシップ) 事前研修	幸喜先生	401・402 (4階)
12:10～13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～16:20	就業体験(インターンシップ) 事前研修	幸喜先生	401・402 (4階)

●令和 5 年 1 月 16 日(月)～1 月 31 日(火) ※時間は各施設にて変動

就業体験(インターンシップ)・就職採用マッチング期間

場所:各自ご希望する介護、障がい、児童デイ、病院等の施設

[ 添付資料 ]

●介護講座 4 日目 2 月 1 日(水) 9:00～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～12:10	福祉基礎講座 健康保持と基本的な感染予防の 基礎	新良 典子先生	401・402 (4 階)
12:10～13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～16:20	福祉基礎講座 健康保持と基本的な感染予防の 基礎	新良 典子先生	401・402 (4 階)

●介護講座 5 日目 2 月 2 日(木) 9:00～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～12:10	人間関係構築スキル	仲地 織江先生	401・402 (4 階)
12:10～13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～16:20	福祉基礎講座 生活支援技術の基礎	長嶺 規恵先生	401・402 (4 階)

●介護講座 6 日目 2 月 3 日(金) 9:00～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～12:10	人間関係構築スキル	仲地 織江先生	401・402 (4 階)
12:10～13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～16:20	認知症について	知念先生	401・402 (4 階)

●介護講座 7 日目 2 月 6 日(月) 9:00～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～12:10	人間関係構築スキル	仲地 織江先生	401・402 (4 階)
12:10～13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～16:20	人間関係構築スキル	仲地 織江先生	401・402 (4 階)

## ●介護講座 9 日目 2 月 7 日(火) 9:00～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～12:10	カウンセリング	幸喜先生	オンライン
12:10～13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～16:20	福祉基礎講座 生活支援技術の基礎	長嶺 規恵先生	401・402 (4階)

※調整中の内容に関しては、調整後に追ってご連絡申し上げます※

### Ⅲ. 持ち物

- 筆記用具

### Ⅳ. 駐車場に関して

駐車場に関しては、都度駐車場所が変更となりますので講座前に追ってご連絡致します。  
駐車場の場所が分からない際は下記連絡先までお電話ください。

### Ⅴ. 受講にあたってのご協力願い

1. 会場の館内はすべて禁煙です。
2. 携帯電話等をお持ちの方は、受講中は電源を切るか、マナーモードに切り替えてください。
3. 受講中に講師の許可なく、講座を録音・写真撮影はしないでください。
4. お車で来校される際は、駐車場に関して追ってご連絡いたします。
5. 発熱等、体調のすぐれない方は、参加をご遠慮ください。  
感染対策として、1F 玄関にて検温をお願い致します。また、マスク着用もお願いします。
6. 感染対策として、常に教室は換気しております。
7. 受講に際して、交通費・昼食費は各自己負担になります。
8. やむを得ず欠席する場合は、下記まで必ずご連絡ください。

#### 【お問い合わせ】

学校法人大庭学園 法人事務局 担当:大城 貴博

TEL:098-988-0238 メールアドレス:[houjin-recurrent@ooba-gakuen.ac.jp](mailto:houjin-recurrent@ooba-gakuen.ac.jp)

[ 添付資料 ]

令和4年度 文部科学省 委託事業  
専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト

「福祉人材リスタート教育事業」

保育

## 【保育リカレント短期講座】 事業概要書



「心は豊かに技は確かに」  
～ちむながさの想いを育てる～

受講者氏名	
-------	--



学校法人 大庭学園  
沖縄福祉保育専門学校

## I. 保育リカレント短期講座の実施について

### 1. 日程・概要・場所(期間:令和5年1月7日(土)～令和5年2月11日(土))

#### ■令和5年1月7日(土)、14日(土)、21日(土)、28日(土)

朝9時00分～16時20分 ※1月7日のみオリエンテーションの為、朝8時30分開始

【対面型講座】

場所: 沖縄福祉保育専門学校(那覇市久米 1-5-17)

#### ■令和5年1月11日(水)、12日(木)、16日(月)、17日(火)

夜19時00分～21時30分 ※10分前には待機して下さい。

【オンライン型講座】

#### ■令和5年1月23日(月)～2月4日(土)

時間は各施設にて変動

就業体験(インターンシップ)

場所: ご希望する保育園等の施設

### 2. 講座の内容(座学・グループワーク)

#### ①新しい保育実践

今求められる保育実践、保育における環境校正、身体を使った遊び、言葉・音楽を使った遊び、物とのかかわり 等

#### ②人間関係構築スキルアップ講座

#### ③保育 ICT

#### ④カウンセリング(※1時間程度×2回予定・受講生と別日に調整)

※カウンセリングを受講生の希望日程に合わせて上記日程以外に実施します。

(1時間程度×2回予定)対談で実施するか、オンライン(ZOOM等)で実施するか、ご選定の程宜しくお願いします。

カウンセリング希望日を複数日確保するよう、宜しくお願い致します。

※状況に応じてスケジュールやプログラムに一部変更を伴う場合もございます。その際は、事前にご連絡いたします※

## II. 講座内容

### ●保育講座1日目[対面型]1月7日(土) 8:30～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
8:30～9:00	オリエンテーション	大城 貴博 (法人事務局)	501・502 (5階)
9:00～12:10	物とのかかわり	仲宗根 由美先生	501・502 (5階)
12:10～13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～16:20	言葉・音楽を使った遊び	大城 了子先生	ピアノ教室 (5階)

[ 添付資料 ]

●保育講座 2 日目[オンライン型]1 月 11 日(水) 19:00～21:30 オンライン

時間	内容	担当者	オンライン
19:00～21:30	今求められる保育実践	比嘉 良洋先生	オンライン

●保育講座 3 日目[オンライン型]1 月 12 日(木) 19:00～21:30 オンライン

時間	内容	担当者	オンライン
19:00～21:30	今求められる保育実践	比嘉 良洋先生	オンライン

●保育講座 4 日目[対面型]1 月 14 日(土) 9:00～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～12:10	人間関係構築スキル	仲地 織江先生	401・402 (4 階)
12:10～13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～16:20	人間関係構築スキル	仲地 織江先生	401・402 (4 階)

●保育講座 5 日目[オンライン型]1 月 16 日(月) 19:00～21:30 オンライン

時間	内容	担当者	オンライン
19:00～21:30	人間関係構築スキル	仲地 織江先生	オンライン

●保育講座 6 日目[対面型]1 月 21 日(土) 9:00～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～12:10	就業体験(インターンシップ) 事前研修	幸地先生	401・402 (4 階)
12:10～13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～16:20	就業体験(インターンシップ) 事前研修	幸地先生	401・402 (4 階)

●令和 5 年 1 月 23 日(月)～ 2 月 4 日(土) ※時間は各施設にて変動

就業体験(インターンシップ)期間

場所:ご希望する保育園等の施設

## ●保育講座 7 日目[対面型]1 月 28 日(土) 9:00～16:20 会場: 沖縄福祉保育専門学校

時間	内容	担当者	教室
9:00～12:10	身体を使った遊び ※動きやすい服装と着替え ※	大城 克也先生	401・402 (4階)
12:10～13:10	休憩 近隣には、お弁当屋や定食屋が徒歩圏内にあります。そちらをご利用頂くか、お弁当持参も可能です		
13:10～16:20	発達支援等	仲間 優子先生	401・402 (4階)

## ●保育講座 8 日目[オンライン型]2 月 3 日(金) 19:00～21:30 オンライン

時間	内容	担当者	オンライン
19:00～21:30	保育 ICT	玉城 伸悟先生	オンライン

## Ⅲ. 持ち物

- 筆記用具     動きやすい服装と着替え(1 月 28 日(土)のみ)

## Ⅳ. 駐車場に関して

駐車場に関しては、都度駐車場所が変更となりますので講座前に追ってご連絡致します。  
駐車場の場所が分からない際は、下記連絡先までお電話ください。

## Ⅴ. 受講にあたってのご協力願い

1. 会場の館内はすべて禁煙です。
2. 携帯電話等をお持ちの方は、受講中は電源を切るか、マナーモードに切り替えてください。
3. 受講中に講師の許可なく、講座を録音・写真撮影はしないでください。
4. お車で来校される際は、駐車場に関して追ってご連絡いたします。
5. 発熱等、体調のすぐれない方は、参加をご遠慮ください。  
感染対策として、1F 玄関にて検温をお願い致します。また、マスク着用もお願い致します。
6. 感染対策として、常に教室は換気しております。
7. 受講に際して、交通費・昼食費は各自己負担になります。
8. やむを得ず欠席する場合は、下記まで必ずご連絡ください。

## 【お問い合わせ】

学校法人大庭学園 法人事務局 担当:大城 貴博

TEL:098-988-0238 メールアドレス:[houjin-recurrent@ooba-gakuen.ac.jp](mailto:houjin-recurrent@ooba-gakuen.ac.jp)

[ 添付資料 ]

令和4年度 文部科学省 委託事業  
専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト

「福祉人材リスタート教育事業」

介護

【介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座】  
**就業体験(インターンシップ)実習要項**

[期間:令和5年1月16日(月)~31日(火)]



「心は豊かに技は確かに」  
～ちむながさの想いを育てる～

受講者氏名	
-------	--



学校法人 大庭学園  
沖縄福祉保育専門学校

## 就業体験(インターシップ)先一覧 期間:令和5年1月16日(月)~31日(火)

日程と集合時間	時間	実習 施設
1月16日~31日	8:30 ~ 15:00	医療法人陽和会 南山病院 糸満市嘉数 406-1 098-994-3660

日程と集合時間	時間	実習 施設
1月16日~31日	8:00 ~ 15:00	社会福祉法人おきなわ共生会 グループホーム おてだま 那覇市長田1丁目 18-10 098-987-0790

日程と集合時間	時間	実習 施設
1月16日~31日	8:30 ~ 15:00	社会福祉法人麗峰会 特別養護老人ホーム つじまち 那覇市辻 2-27-1 098-866-7200

日程と集合時間	時間	実習 施設
1月16日~31日	8:00 ~ 15:00	社会福祉法人おきなわ共生会 特別養護老人ホーム 皇(すめら) 那覇市長田1丁目 18-10 098-987-0790

日程と集合時間	時間	実習 施設
1月16日~31日	7:45 ~ 15:00	株式会社リンクス メディケアハウス前島 那覇市前島 2-22-8 098-894-6662

日程と集合時間	時間	実習 施設
1月16日~31日	14:00 ~ 15:00頃	沖縄県身体障害者福祉協会 障害者支援施設 太希おきなわ 八重瀬町仲座 1038 番地 1 098-851-7522

日程と集合時間	時間	実習 施設
1月16日~31日	8:30 ~ 17:30	社会福祉法人彩生会 百穂苑 那覇安里 51 098-868-1009

日程と集合時間	時間	実習 施設
1月16日~31日	10:00 ~ 15:00	株式会社ぶからす 長田デイサービス 那覇市長田 1-24-26 080-2772-7871

## 1.就業体験(インターンシップ)実習の時間について

- ・自身でご希望した時間内で就業体験(インターンシップ)を実施して下さい。
- ・集合時間はご自身でご希望した時間の 20 分前には到着するようにして下さい。

## 2.就業体験(インターンシップ)実習期間の持ち物

- 筆記用具 メモ帳
- 毎日、1着の着替えを準備する(Tシャツ、ジャージ、靴下など)
- ハンドタオル(自分のタオルを携帯し、常に使用できるようにする)
- 室内用シューズ

## 3.その他

### 1)心得と態度

- ①明るい笑顔でにこやかに挨拶を行う。
- ②言葉遣いは敬語を丁寧に使う。利用者、職員に敬称をつける。  
自分より年齢が下の利用者、職員であっても必ず敬称をつける。
- ③実習中の実習生間の言動について十分に注意する。
- ④実習の開始時間・終了時間は実習先の出勤時間に沿って行われる。  
時間を厳守する。
- ⑤無断欠席、遅刻はしない。体調不良や急な事情で欠席する際は必ず  
学校法人大庭学園法人事務局へ連絡する。
- ⑥終了時間ははじめをつけ、挨拶をしてから、帰宅する。
- ⑦忘れ物をしない。
- ⑧貴重品は自己管理する。紛失、盗難などは迷惑をかける。
- ⑨実習は積極的な態度で臨み、質疑応答についても活発に意欲をもって実践する。
- ⑩常にメモを取ることを心がける。
- ⑪責任を持って行動する。実習生として責任をもてない行動はしない。
- ⑫備品の使用については担当指導者の許可を受け、その取扱いや管理について  
責任を持つ。
- ⑬実習の事で悩んだり困難な事が生じた場合は、実習担当者に相談するか、あるいは早めに  
学校法人大庭学園法人事務局に相談し、解決するよう心がける。

### 2)健康管理

- ①実習期間中は体調を崩しやすいため、健康管理には十分気をつける。  
(食事、清潔保持、睡眠など)
- ②手洗い・うがいの徹底。
- ③マスクの着用をすること。
- ④体温チェック表の記入をすること。
- ⑤発熱等、体調のすぐれない方は、参加をご遠慮ください。

### 3)注意事項

- ①実習中は携帯電話を持ち歩かない。電源を切って荷物と一緒に置く。
- ②実習先で借用している場所(実習生控え室等)は常に整理整頓をする。
- ③実習時間内は実習生の安全確保の為、外出は禁止する。常に所在を明確にする。

- ④実習中に事故をおこした場合や発見した場合、些細な事でも速やかに職員に報告する。
- ⑤実習先への往復、実習中の事故については、速やかに必ず事務局へ報告する。
  - ・大庭学園法人事務局 大城 連絡先:098-988-0238
- ⑥水分補給の際は施設職員に断り、適当な場所(指定の場所)で、速やかにおこなう。
- ⑦その他、注意事項は必ず守る。
- ⑧実習中の交通費・昼食費は各自己負担。
- ⑨連絡は、チームスでも可。

#### **4)実習時の服装、身だしなみ**

- ①清潔で衛生的な実習着・シューズを着用する。  
(服装等については、各施設の要望に従う事)
- ②清潔に心がけ、不快な印象の無いように、毎日身だしなみを整え実習を行う。
  - ・喫煙は、原則禁止する。
  - ・その他、指導がある場合には従う事。

※就業体験(インターンシップ)先への採用試験や面接等を希望される際は、必ず学校法人大庭学園法人事務局へご連絡ください。

**【お問い合わせ】** 学校法人大庭学園 法人事務局 担当:大城 貴博  
TEL:098-988-0238 メールアドレス:[houjin-recurrent@ooba-gakuen.ac.jp](mailto:houjin-recurrent@ooba-gakuen.ac.jp)

[ 添付資料 ]

令和 4 年度 文部科学省 委託事業  
専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト

「福祉人材リスタート教育事業」

保育

【保育リカレント短期講座】

## 就業体験(インターンシップ)実習要項

[期間:令和 5 年 1 月 23 日(月)~2 月 4 日(土)]



「心は豊かに技は確かに」  
～むながさの想いを育てる～

受講者氏名	
-------	--



学校法人 大庭学園  
沖縄福祉保育専門学校

## 就業体験(インターシップ)先一覧 期間:令和5年1月23日(月)~2月4日(土)

日程と集合時間	時間	実習 施設
1月23日~ 2月4日	14:00 ~ 16:00	社会福祉法人ペリー福祉会ペリー保育園 那覇市山下町31-19 098-857-2765

日程と集合時間	時間	実習 施設
1月23日~ 2月4日	8:00 ~ 12:00	学校法人大庭学園立那覇市認定こども園 小禄こども園 那覇市小禄1150 098-857-7722

日程と集合時間	時間	実習 施設
1月23日~ 2月4日	9:00 ~ 12:00	社会福祉法人栄光福祉会 めぐみ野保育園 沖縄市宮里2丁目16番1号 098-938-2036

日程と集合時間	時間	実習 施設
1月23日~ 2月4日	10:00 ~ 12:00	社会福祉法人翔福祉会 かりゆし諸見保育園 沖縄市諸見里1-32-19 098-932-8200

## 1.就業体験(インターンシップ)実習の時間について

- ・自身でご希望した時間内で就業体験(インターンシップ)を実施して下さい。
- ・集合時間をご自身でご希望した時間の20分前には到着するようにして下さい。

## 2.就業体験(インターンシップ)実習期間の持ち物

- 筆記用具  メモ帳
- 毎日、1着の着替えを準備する(Tシャツ、ジャージ、靴下など)
- ハンドタオル(自分のタオルを携帯し、常に使用できるようにする)
- 室内用シューズ  エプロン

## 3.その他

## 1)心得と態度

- ①明るい笑顔でにこやかに挨拶を行う。
- ②言葉遣いは敬語を丁寧に使う。利用者、職員に敬称をつける。  
自分より年齢が下の利用者、職員であっても必ず敬称をつける。
- ③実習中の実習生間の言動について十分に注意する。
- ④実習の開始時間・終了時間は実習先の出勤時間に沿って行われる。  
時間を厳守する。
- ⑤無断欠席、遅刻はしない。体調不良や急な事情で欠席する際は必ず  
学校法人大庭学園法人事務局へ連絡する。

[ 添付資料 ]

- ⑥ 終了時間ははじめをつけ、挨拶をしてから、帰宅する。
- ⑦ 忘れ物をしない。
- ⑧ 貴重品は自己管理する。紛失、盗難などは迷惑をかける。
- ⑨ 実習は積極的な態度で臨み、質疑応答についても活発に意欲をもって実践する。
- ⑩ 常にメモを取ることを心がける。
- ⑪ 責任を持って行動する。実習生として責任をもてない行動はしない。
- ⑫ 備品の使用については担当指導者の許可を受け、その取扱いや管理について責任を持つ。
- ⑬ 実習の事で悩んだり困難な事が生じた場合は、実習担当者に相談するか、あるいは早めに学校法人大庭学園法人事務局に相談し、解決するよう心がける。

## 2)健康管理

- ① 実習期間中は体調を崩しやすいため、健康管理には十分気をつける。  
(食事、清潔保持、睡眠など)
- ② 手洗い・うがいの徹底。
- ③ マスクの着用をすること。
- ④ 体温チェック表の記入をすること。
- ⑤ 発熱等、体調のすぐれない方は、参加をご遠慮ください。

## 3)注意事項

- ① 実習中は携帯電話を持ち歩かない。電源を切って荷物と一緒に置く。
- ② 実習先で借用している場所(実習生控え室等)は常に整理整頓をする。
- ③ 実習時間内は実習生の安全確保の為、外出は禁止する。常に所在を明確にする。
- ④ 実習中に事故をおこした場合や発見した場合、些細な事でも速やかに職員に報告する。
- ⑤ 実習先への往復、実習中の事故については、速やかに必ず事務局へ報告する。  
・大庭学園法人事務局 大城 連絡先:098-988-0238  
※平日朝9時～16時迄対応可能
- ⑥ 水分補給の際は施設職員に断り、適当な場所(指定の場所)で、速やかにおこなう。
- ⑦ その他、注意事項は必ず守る。
- ⑧ 実習中の交通費・昼食費は各自己負担。
- ⑨ 連絡は、チームスでも可。

## 4)実習時の服装、身だしなみ

- ① 清潔で衛生的な実習着・シューズを着用する。  
(服装等については、各施設の要望に従う事)
- ② 清潔に心がけ、不快な印象の無いように、毎日身だしなみを整え実習を行う。  
・喫煙は、原則禁止する。  
・その他、指導がある場合には従う事。

※就業体験(インターンシップ)先への採用試験や面接等を希望される際は、必ず学校法人大庭学園法人事務局へご連絡ください。

**【お問い合わせ】 学校法人大庭学園 法人事務局 担当:大城 貴博**  
TEL:098-988-0238 メールアドレス:[houjin-recurrent@ooba-gakuen.ac.jp](mailto:houjin-recurrent@ooba-gakuen.ac.jp)

福祉人材リスタート教育事業委員会  
資料

## 令和4年度 第1回福祉人材リスタート教育事業委員会 議事録

開催日時	令和4年8月4日(木) 10:00 ~ 12:00	開催場所	沖縄福祉保育専門学校 301・302 教室
出席者	<p><b>【委員長】</b> 諸見里 安知 (沖縄福祉保育専門学校)</p> <p><b>【事務局】</b> 大城 貴博 (大庭学園 法人事務局)</p> <p><b>【委員】</b> 糸数 浩史 (沖縄福祉保育専門学校) 仲間 優子 (沖縄福祉保育専門学校) 岡 剛 (与那原町 福祉課) 喜納 啓二 (北中城村 福祉課) 上地 和香子 (西原町教育委員会) 新崎 盛信 (沖縄県社会福祉協議会 福祉人材研修センター) 山下 尊之 (公益財団法人 介護労働安定センター 沖縄支部) 幸喜 穂乃 (合同会社 HappyJoy) 小林 清彦 (医療法人 愛生館) 原田 竜生 (社会福祉法人ながよ光彩会)</p> <p>&lt;オンライン参加&gt; 渡慶次 直人 (有限会社ケアセンター きらめき) 比嘉 良洋 (ソーシャルワーク専門学校) 新良 典子 (ソーシャルワーク専門学校) 伊佐 智樹 (社会福祉法人 ハイジ福祉会 グリーンホーム) 喜屋武 央 (社会福祉法人翔福祉会 かりゆし諸見保育園)</p> <p>&lt;欠席&gt; 天願 順優 (社会福祉法人 勇翔福祉会 コスモストーリー保育園) 渡口 治 (名護市社会福祉協議会)</p> <p>&lt;オブザーバー&gt; 高宮城 浩之 (株式会社ワンダーサービス)</p>		
会議内容	<p><b>【福祉人材リスタート教育事業調査報告】</b></p> <p>諸見里委員長より挨拶 氷河期世代が就職し定着し機能するように願い 前年の課題を今年度につなげていけるように願っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県の人材育成・定着・確保、また職場での人材流出を防ぐ。</li> <li>・人を採用しても現場で辞める。</li> <li>・介護の離職率は平成29年度全国16.2%、沖縄県22.9%</li> <li>・3年越えると定着する。3年未満の施策が沖縄県は弱い。</li> <li>・離職理由としては人間関係、部下の不安、上司の不安、上司との意思疎通ができない、 経営理念と合わない等、コミュニケーションの部分が理由として一番多い。</li> <li>・沖縄県は採用時の研修が実際されていない。</li> <li>・3年未満で退職するきっかけを考える。</li> </ul>		

1 令和3年度 福祉人材リスタート教育事業調査報告について(事務局)  
事務局の大城より、下記の内容をもとに報告があった。

- ・文部科学省との委託事業は最終年度の年となる。
- ・今年度から西原町教育委員会の上地和香子氏が参加される。
- ・受講生の状況は3名の方が受講。1名は福祉現場に就職。
- ・今年度は参加人数参加を増やし、目的達成できるようにしたいと思う。
- ・QABの動画をご覧ください。
  - \* 学び直しリカレント教育について
  - \* 社会人の学び直しについて
  - \* 受講生本人からコメント
  - \* 今年度も事業運営の協力願ひ

**【審議事項】**

1 令和4年度福祉人材リスタート教育事業概要(案)説明(意見聴取)  
(委員長→各委員へ)

令和4年度福祉人材リスタート教育事業概要(案)について事務局の大城より説明  
があり

審議の結果、提案通り承認された。但し、下記の事項についてもあわせて承認され  
た。

2 令和4年度 事業計画と市場調査(事務局)

- ・氷河期世代 30代～50代
- ・3年未満で退職
- ・今年度9月に開校予定
- ・昨年度募集のマッチングした講座(介護)
- ・潜在保育士向け講座(保育)
- ・福祉人材アンケート調査(介護) 91件中34件回答
- ・福祉人材アンケート調査(保育) 115件中60件回答
- ・介護現場では無資格者も3年以上働いている方で正職員の方もいる  
このプログラムを活かしていければと考える。
- ・保育職歴3年未満の方の保育実践を検証する。
- ・60園中14園興味がある。12園は話を聞いてよい。
- ・主な事業計画による。

**【事務局より出張報告(碧南市)】**

岡氏、喜納氏、大城3名で愛知県の医療法人愛生館の小林清彦氏を訪問。  
小林氏は毎月30名参加の講義を開講している。

諸見里委員長

ダイアログ(対話)学校教育が主体性、対話力に関わってきている。  
心が離れたままで、対話する時間を見出していく介護、保育はない。  
1年間は基礎分野を学び、その後介護分野、保育分野を決める。  
上手な対話をもっている人、井戸端会議ができる人  
心と心がつながる対話が大切。  
次年度以降リカレント事業をどうなっていくのか?を考えている。  
継続して予算をもらってやっていければ知恵を出してやっていく。  
大人からの学び直しをソーシャルワーク専門学校で今後行っていく。  
通信が中心となってくる。

来年 4 月に西原町にこども園を開園する。運営には高齢者がキーワードとなる。  
働く上で 60 歳以上の方がどんな介護ができるか？  
先を見据えた体制づくりで繋いでいく社会づくりを考える。

#### 糸数委員

前年から関わりカリキュラムを作成している。  
調査や課題が見つかる思っています。

#### 仲間委員

社会人学生の学ぶ姿からヒントを得てる。  
また学生がどのような視点で学んで面白さを感じ、  
学びを教員に伝えることが今後につながるように考えている。

#### 比嘉委員

自宅以外に自分の居場所があることは良い。  
社会の中で活かせる場所があるのは良い。  
2025 年を境に人手があまってくる。選ばれる人材がテーマ。  
自分のあった職場を選ぶことが大切。  
キャリアアンカーは何を大事に働くのか、これが違くとミスマッチが起こる。  
チームでのやり方が合わないと退職する。養成校の課題。  
実習先にはっきりした理念を学んでいく。  
実際に保育に活かされているかを学生に見極めさせる。  
教員免許を取得するために介護体験が必要となるが、  
教員のたまごが介護を大変とってしまっている現状。  
県内の教員志望の方にやりがいのある体験をさせるように施設の方に協力お願いをする。

#### 新良委員

生まれてから死ぬまでに福祉にお世話にならない人はいない。  
生活に密着していることを、みんなが理解してくれば、介護が生活に役立つ勉強が多いことわかる。  
介護、保育に関しては家族に誰か関わっている人がいると、身近に魅力を伝えると力になる。  
それが学校の先生の言葉だと大きい。  
一般の方へ生活に役立つことを理解していただければと考えている。

#### 岡委員

行政として具体的に動いていく。  
全県として取り組んでいくためにはどのようにしたら良いのか、  
碧南市、行政、協議会、ハローワークとの取り組みが介護、福祉につながるきっかけになっている。  
勤務条件など誤解が解けたのではないかと思っている。  
関心のない人にどう取り組んでいくか？  
行政の立場で考えさせられた。介護と保育の福祉を考えるいい機会となった。

#### 喜納委員

愛知県碧南市へ視察に行った。  
介護のイメージを我々が理解しアプローチをしていかなければならない。

愛知県は行政と教育機関が近いところが印象的。沖縄県は市町村と取り組んでいくことが課題。  
 今後は会議の中でもリカレント教育を説明し、次年度以降も取り組んでいくように沖縄県に伝えた。

上地委員

今回から参加。個人的に興味がある。保育人材不足の解決の糸口が中々見つからない  
 保育士をやってみたいけど、きっかけがないという方がいると思う。何か力になればと思います。

新崎 盛信

アンケート調査やモデル実施事項、実体験のイメージがあるのかなと感じた。  
 人材研修センターでも無資格の方も就職できるように貸付金 20 万円 2 カ年働くことが条件  
 沖縄県はまだ数名程しか該当者がいない。  
 平成 27 年度の政策ガイドラインやシラバス、現場でアップデートし現場で活用できるように考えている。

山下委員

事前アンケートに無資格の方がこんなにいるんだと感じた。  
 離職率について 3 年未満の方の研修がない。  
 資格に取得の機会がない雇用保険受給者に介護労働研修を行っている。  
 介護福祉の試験を受験できることのできる事業所であれば定着につながるのではと感じた。  
 無資格の方の多さにビックリした。

幸喜委員

職場内の 1 回きりの講習では難しい、現場で活かせるようにトータルで見えていかないとアップデートできない。強みがわからない。  
 動きにいたるまでの課題など個々をどう見ていくかワンオーナー面談をしていく。  
 研修や講座の予算が 10 万円程で愕然とした。  
 人手が足りない状況。中々時間をつくれな実態が見えてきた。  
 職場でも、フォローやサポートがないと道が難しいと感じた。

伊佐委員

障害者施設は、一番遅くに光をあてられる業界なのかなと思っている。  
 人を募集しても一番後にくると思っている。  
 マッチングや定着が上手く働けばと思っている。  
 コロナで 1 日 50 施設の感染状況が入ってくる施設で働くクラスター等がこわいと思われている。  
 なかなか人が応募してこない福祉協会全 44 施設があるので、巻き込んで多くの施設の人材を確保していきたい。  
 ミスマッチな場合でも色んなところを見てもらうことの大切さを感じた。

喜屋武委員

保育資格を持っている方が多いマッチングサイトやハローワークと一緒にツアーを組んでタイアップして 6 年目。

1 名が園に興味をもって来て就職した理念を理解し就職してくれたらどれだけサポートできるか、  
入職するまでのサポート、入職後のサポートが、一番大切と感じた。

小林委員

碧南市に介護人材不足を解消するために、会議で行政と協力することを訴えてきた。会議を重ねる事で行政協力の基「介護のお仕事説明会」を実施する事ができた。

以前の碧南市はチェック表にある介護人材サービス 0 点だった。

次年度に補助金が給付され取り組みが変わった。

「介護のお仕事説明会」を通して自分たちの介護をしたいと伝える場に変化してきた。

リーダーの教育が欠かせない。法人内では人材育成に取り組んでいる。

10 人程度の事業所では難しい。リーダー教育にお金をかけてることを知らない。

穴が空いて出ていく人が多い。一部だけの教育に必要なはないと思っている。

原田委員

長崎県から参加

介護の魅力を伝え今年度 4 年目になる。

介護の仕事の魅力を伝え長崎県内 70 校 1500 名に説明している。

魅力伝道師 40 名 (30 歳未満の職員が現場の魅力を伝えている。)

介護の仕事は大変でハードルが高いと思われている。

小学校、中学校、高校生の誰かに何かをしてあげることが福祉につながると伝えている。魅力を伝えていければ…と考えている。

渡慶次委員

全国でもリカレント教育が進んでいる。

人材確保。福祉だけでなく他の業種でも労働人口が減る。

12 人に 1 人は減る。20 年後には介護が難しくなる。

需要は増えて供給は減る。県外ではもっと危機的な状況。

教員からアプローチしないと難しい。

リーダー研修のカリキュラムをつくって階層別で行っている。

リカレントをダブルでアプローチしていただく。(氷河期世代、リーダー)

【その他】

事務局より

(介護アンケート結果)

研修ができない社会人に向けて無資格の方の勉強をサポートしていきたい。

(保育アンケート結果)

潜在保育士が保育現場に戻れるような教育の仕組みをつくっていく。

専門性が必要となるので、現場に学校が入り込んでいくように考えている。

保育のインターンシップを行い、潜在保育士サポート。

国家資格を 1 年かけて対策講座を開催する等、念頭に置いている。

R5 年度からは施設から連携していただき、進めていく。

糸数委員

他の研修と差別化をはかる

	<p>仲間委員 ご意見いただいた内容を進めていきたい。 現場での壁となる保育理念にあったものであるかを、授業で伝えていきたい。</p> <p>岡委員 マッチングまた文科省の講座が終了した後、どう結び付いていけるか？今後考えていきたい。</p> <p>上地委員 福祉を考えていただいている現場があることに感謝しています。</p> <p>新崎委員 高校生を中心に福祉教育、介護コンテストに7校が参加。 地域事業の取り組み、学校に入り込んでいくことが大切。 県に実態を発信し伝えていきたい。</p> <p>山下委員 リカレント講座で98時間のカリキュラムを知りたい。 介護業界の担い手講座より時間数が多い。</p> <p>幸喜委員 インターンの方の施設の受け入れ先の想い、パッションを伝達できれば大変さとは比重が同じなのでどう伝えていくか？今後事業において動機付けをサポートできればと思います。</p> <p>小林委員 スマホからガラケーに変わると生活が出来ない時代。 実習生を選ばないと興味をもってくれた人が続かない。 全体の離職率の切り方によって見方が変わってくる。 アンケートの中で裏に見えているものを、正しくみることが大切。 デンマークでは中卒でも良い。専門職として国がサポートしている。</p> <p>原田委員 リスタート事業で対話の必要性、生の声が必要。 受講生がどういう意見をもっているのか、もちかえってつなぎ合わせる大切。 継続性が今後この授業がおわっても他県でもリカレント教育の開催が出来る。 新たなものをつくっていったらと思います。</p> <p>諸見里委員 氷河期世代の方に体験として、人の役に立つ喜び。 ありがとうといってもらい喜びを感じてもらいリーダー自身がワクワクしている環境を作り出す。 マネージャーがスタッフにワクワクをプレゼントできる人そういう教育ができればと思っています。</p>
<p>決定事項</p>	<p>・次回日程 2022年10月中旬予定(10時～ 会場:沖縄福祉保育専門学校</p>

令和4年度 第2回福祉人材リスタート教育事業委員会 議事録			
<b>開催日時</b>	令和4年11月10日 (木) 13:00 ~ 15:30	<b>開催場所</b>	沖縄福祉保育専門学校 校 302・303 教室
<b>出席者</b>	<p><b>【委員長】</b> 諸見里 安知 (沖縄福祉保育専門学校)</p> <p><b>【事務局】</b> 大城 貴博 (大庭学園 法人事務局)</p> <p><b>【委員】</b> 新良 典子 (ソーシャルワーク専門学校) 岡 剛 (与那原町 福祉課) 喜納 啓二 (北中城村 福祉課) 上地 和香子 (西原町教育委員会) 山下 尊之 (公益財団法人 介護労働安定センター 沖縄支部) 幸喜 穂乃 (合同会社 HappyJoy) 小林 清彦 (医療法人 愛生館) 原田 竜生 (社会福祉法人ながよ光彩会) 渡慶次 直人 (有限会社ケアセンター きらめき) 伊佐 智樹 (社会福祉法人 ハイジ福祉会 グリーンホーム) 喜屋武 央 (社会福祉法人翔福祉会 かりゆし諸見保育園) 天願 順優 (社会福祉法人 勇翔福祉会 コスモストーリー保育園)</p> <p>&lt; 欠席 &gt; 渡口 治 (名護市社会福祉協議会) 新崎 盛信 (沖縄県社会福祉協議会 福祉人材研修センター) 仲間 優子 (沖縄福祉保育専門学校) 比嘉 良洋 (ソーシャルワーク専門学校) 糸数 浩史 (沖縄福祉保育専門学校)</p>		
<b>会議内容</b>	<p><b>【福祉人材リスタート教育事業調査報告】</b></p> <p>諸見里委員長より挨拶</p> <p>1 令和4年度 福祉人材リスタート教育事業検証調査報告について(事務局) 事務局の大城より、下記の内容をもとに報告があった。</p> <p>資料:福祉人材の継続的人材確保に向けた市場調査[介護・保育リカレント検証講座]報告書</p> <p>I.福祉人材確保に向けた市場調査[介護・保育リカレント検証講座] ・目的と概要説明 ・検証講座調査内容説明</p> <p>II.福祉人材の継続的人材確保に向けた市場調査(検証講座)</p>		

[介護職]リカレント検証講座

- ・目的と概要説明
- ・参加施設及び受講者数報告
- ・介護リカレント検証講座内容報告

[保育職]リカレント検証講座

- ・目的と概要説明
- ・参加施設及び受講者数報告
- ・保育リカレント検証講座内容報告

Ⅲ.福祉人材確保に向けた市場アンケート調査結果

- ・【介護福祉施設】市場調査結果報告
- ・【保育施設】市場調査結果報告

Ⅳ.介護福祉人材の継続的人材確保に向けた検証講座のアンケート結果

- ・【介護リカレント検証講座】の受講者・施設側アンケート結果報告
- ・【保育リカレント検証講座】の受講者・施設側アンケート結果報告

◇報告を受けて意見徴収

カリキュラム内容・調査アンケート内容について

岡委員

- ・コロナ禍や慢性的な人材不足の中、なかなか外部研修に派遣できない
- ・参加率をどう伸ばしていくかも課題
- ・行政としても大きな課題
- ・町内の事業所とも意見交換していく

喜納 啓二

- ・調査結果として無資格者が多い
- ・職員のスキルアップが求められている

上地委員

- ・働き方改革の中での保育 ICT の取り組み

山下委員

- ・無資格職員数が多い施設は大規模施設ではないか母数が見えると比較しやすい
- ・沖縄県は特に無資格者が多い
- ・介護職は新卒者が少ないので、関心が高い講座になるのではないか

小林委員

- ・現在はまだ母数が少ないので、アンケートを継続実施して傾向値の推移を見たい
- ・組織における比率を見ないと影響が見えな
- ・愛知県では、介護の日に合わせて、アイドルを起用し介護の魅力を発信している

高校生と一緒に介護体験を行い、その様子を配信しハローワーク・事業所・行政が三位一体となって介護職をアピールしている※配布チラシ参照

原田委員

- ・アンケートは継続実施した方がよい
- ・新人教育については、人手不足で外部研修派遣が厳しく、中堅職員にしわ寄せがきている
  - ・中堅職員の聴くスキルが求められる
  - ・長崎県では、介護のしごと魅力伝道師 80 名が各学校へ行って介護職のやりがいや魅力をアピールする取り組みを行っている
  - ・小冊子作製や動画配信等で介護職についてイメージしやすい取り組みを行っている

渡慶次委員

- ・求職者の高齢化、80 代の方もいた
- ・氷河期世代の学び直しに絞らず、幅広い視点でのリカレント講座が求められる
- ・愛知県での取り組み(アイドル起用)や長崎県での取り組み(伝道師)のように、沖縄県でも何か取り組みができるよう考えていきたい

伊佐委員

- ・情熱、使命感、自己犠牲の中で、チームで動くときに空気のみみあい人間関係がぎくしゃくしているところも多い
- ・広報の手法は、今いる職員が輝いている姿を見せる事
- ・外部の方や上司と関わる時は、問題が起こった時などがほとんどで、ネガティブなイメージが多い、ポジティブな情報をもっと外部に出していけば自然と魅力発信につながる

幸喜委員

- ・アサーションを取り入れる
- ・ある情報を得た時に、勝手な思い込みで正しく情報を受け取ることが出来ず誤解を招くことも多い
- ・人手不足＝コミュニケーション不足とはいえない
- ・コロナ禍で必要なこと以外の会話が減りコミュニケーションや共有が減ってきている
  - ・多様化する中で人間関係構築スキルは必要

喜屋武委員

- ・入職前と入職後の新人研修ではカリキュラムの内容も変わってくる
- ・保育という狭い分野だけでなく、他業種や他県の取り組みも取り入れていく

天願委員

- ・研修を学んだ後の受講者が、現場に戻った時のギャップを聞くたびにもの足りないと感じる
  - ・受講生の今後の変化を見ていっても良いのではないか
- ・現場とのギャップを肯定的に捉えられたときに、より良い研修になるのではないか

新良委員

- ・受講生のコミュニケーション能力は決して低くない
- ・自分の職場との違いを聞く良い機会
- ・新人研修も良いが中堅者への研修も必要
- ・知っているつもりでやっていたことが、学び直すことで落とし込むことが出来る

- ・異年齢の相乗効果で共により良い環境になっていけばいい

#### 諸見里委員長

- ・学園内のこども園、保育所でアンケート及び面談を実施している
  - ・長年変わっていない古い基準では現状はこなせないという意見がある
  - ・古い基準でも成果を出しているところとの違いは何か
  - ・悩みの90%は人間関係
  - ・上下関係、保育感が違うとズレが生じてくる
  - ・中堅、上司に足りないのは対話、忙しいからこそダイアログが大切になる
  - ・中堅、上司には聞くスキルが必要、1on1ミーティングを行う
  - ・3年で定着するキーワード「ダイアログ」「セルフコンパッション」「マインドフルネス」
- ・講座の中で自分自身をほめるような内容も必要となってくる

#### 小林委員

- ・メンタル 心の距離感が大切
- ・サンクスカードの取組み、小さなありがとうの積み重ね
- ・受講して良かっただけでなく継続する事が大切
- ・マネジメント力の必要性

#### 渡慶次委員

- ・リフレーミングの必要性
- ・トップがどう伝えるがマネジメント力が問われる
- ・利益→事業を継続する事、生産性→地域からの信用信頼
- ・人間関係のストレス等は専門家に委託していくなど仕組みづくりをしていく

#### 諸見里委員

- ・管理職が疲弊している現状がある

#### 小林委員

- ・事業方針の明確化
- ・売上 謝意を合わせ
- ・利益→社会貢献

#### 天願委員

- ・研修で学び現場で実践していくための対話・議論の中からより良いものが生まれる
- ・可能性にひられた組織作りが重要

#### 幸喜委員

- ・心理的安全性
- ・反対意見を称賛、どう感じているか話すことが対話
- ・職員一人ひとりが経営者目線で考えることも大切
- ・承認欲求が足りていない

**【審議事項】**

1 令和4年度福祉人材リスタート教育事業短期リカレント講座について(意見聴取)

令和4年度福祉人材リスタート教育事業(案)について事務局大城より説明があり審議の結果、提案通り承認された。

「介護職への就職マッチング型ステップアップ短期講座」及び、「保育者向け保育リカレント短期講座」の実施

○介護職 R4.12.19～R5.2.11 実施 定員 20名

講座内容:①社会人のための就業体験②採用試験～福祉施設へ就職決定

③講座「福祉基礎講座」「人間関係構築スキルアップ」「キャリアデザイン」等

○保育 R4.12.18～R5.2.11 実施 定員 20名

講座内容:①講座「新しい保育実践」「保育 ICT」「人間関係構築スキルアップ」「キャリアデザイン」②社会人のための就業体験③保育業界へ復職サポート

・ユーチューブ配信及び全市町村、ハローワーク、事業所等でのチラシ設置にて募集する

・事前に連絡を入れ、各担当部署への設置を依頼する予定

◇意見聴取

岡委員

- ・周知協力致します
- ・母数をのをどう集めるかか課題

喜納委員

- ・市町村は受付部署によって周知方法が変わるので要件等

上地委員

- ・たくさんの方に周知できるよう協力致します

山下委員

- ・インターンシップは施設等のニーズがあるため期待出来る

小林委員

- ・情報の入手方法のアンケートを実施すると今後につながる

原田委員

- ・広報について視覚的にどう見せるか、イラストか写真か募集状況をみて検討してもよいのではないか

渡慶次委員

- ・申込フォームはネットが使える前提だけではなく、チラシやポスターなどのアナログとデジタル両方の活用がよいのではないか

伊佐委員

- ・インターシップ受入現場としてはニーズがあるため、定員を増やしてはどうか
- ・情報発信網はあるので協力できると思う

幸喜委員

- ・受講定員 20 名が少ないので増やすことを検討してもいいのでは
- ・相性のいい SNS を活用する

大城委員(事務局)

- ・受講定員については、募集状況により検討する
- ・インターンシップ前には、受け入れ先向けの説明会を実施する予定

喜屋武委員

- ・力になればいいと考えています

天願委員

- ・受講生が満足する講座
- ・受講生がマイナススタートではなく、経験も含めて活かせるような内容になるといい

新良委員

- ・コロナの第 8 波の波が起こり始めている、感染状況を踏まえながら無事講座が開校できるとよい
- ・コロナ感染をかわしながら講座を進めていければと思っている

【その他】

諸見里委員長

- 1 介護
  - ・今後の介護・保育人材確保について
  - ・介護のクラスの半数以上が外国人留学生
  - ・今後外国人の介護者が日本に入ってくる可能性はあるのか
- 2 保育
  - ・古い基準での人員配置
  - ・市町村の課題とは

小林委員長

- ・GDPも減少し、世界的にも高齢化が進んでいる中、日本に介護職を求めてくる外国人は少なくなるだろう
- ・業界団体も目指す方向に向けて一致団結する必要がある

原田委員長

- ・現在施設に外国人が 5 名在職し、学生の半数が外国人留学生
- ・日本での存在価値

岡委員長

- ・介護職の悪い面にばかり焦点を充て情報が広まっているため人がいなくなる介護職の良い面や魅力的な面を広報する必要がある
- ・処遇改善

[ 添付資料 ]

	<ul style="list-style-type: none"><li>・介護職員に対して敬意を払う体制づくり</li><li>・クレームではなく意見としてとらえる</li><li>・行政としてもほっておいてはいけない問題</li></ul> <p>喜納委員長</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・国力が落ちている中で日本人が外国に出ていく可能性もある</li><li>・外国人を含めての地域づくりを進める必要がある</li></ul> <p>上地委員長</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保育の現場でも外国人の子ども達が増えている</li><li>・言葉の壁がある</li><li>・危険を知らせる際アプリなど活用</li></ul> <p>諸見里 安知</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・認め合い支えあい学びあい</li></ul>
<b>決定事項</b>	次回日程 令和4年2月2～3週目予定

## 令和4年度 第3回福祉人材リスタート教育事業委員会 議事録

開催日時	令和5年2月14日(火) 10:00～12:00	開催場所	沖縄福祉保育専門学校 401・402 教室
出席者	<p><b>【委員長】</b> 諸見里 安知 (沖縄福祉保育専門学校)</p> <p><b>【事務局】</b> 大城 貴博 (大庭学園 法人事務局)</p> <p><b>【委員】</b> 新良 典子 (ソーシャルワーク専門学校) 岡 剛 (与那原町 福祉課) 上地 和香子 (西原町教育委員会) 新崎 盛信 (沖縄県社会福祉協議会 福祉人材研修センター) 山下 尊之 (公益財団法人 介護労働安定センター 沖縄支部) 小林 清彦 (医療法人 愛生館) 原田 竜生 (社会福祉法人ながよ光彩会) 伊佐 智樹 (社会福祉法人 ハイジ福祉会 グリーンホーム) 喜屋武 央 (社会福祉法人翔福祉会 かりゆし諸見保育園) 渡口 治 (名護市社会福祉協議会)</p> <p>&lt;欠席&gt; 喜納 啓二 (北中城村 福祉課) 幸喜 穂乃 (合同会社 HappyJoy) 渡慶次 直人 (有限会社ケアセンター きらめき) 天願 順優 (社会福祉法人 勇翔福祉会 コスモストーリー保育園) 仲間 優子 (沖縄福祉保育専門学校) 比嘉 良洋 (ソーシャルワーク専門学校) 糸数 浩史 (沖縄福祉保育専門学校)</p>		
会議内容	<p><b>【福祉人材リスタート教育事業報告】</b></p> <p>1 福祉人材リスタート教育事業 リカレント短期講座報告について事務局の大城より、下記の内容をもとに報告があった。</p> <p>福祉リカレント短期講座を1月～2月で下記の講座を開講した。</p> <p>①介護職のための就職マッチング型ステップアップ短期講座 受講生:3名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護未経験者、または経験者(無資格者・有資格者どちらも可)を対象に行った。40代女性2名、50代男性1名＝3名受講</li> <li>・講座の流れは、1月下旬に就業体験(インターンシップ)から実施した。</li> <li>・カウンセリングも一人1時間実施した(幸喜委員対応)</li> <li>・就業体験(インターンシップ)は、15施設のエントリーがあったが最終的には受講生の住所が沖縄県本島南部が中心であり、南部を中心とした7施設にて実施した。</li> <li>・一人あたり4～6施設で就業体験(インターンシップ)を実施した</li> <li>・受講生の3名中2名は、介護施設等に内定を取った。</li> </ul>		

残り1名は、3月に採用試験受験予定

②保育リカレント短期講座

受講生:5名

・潜在保育士を中心に実施

60代女性1名、50代女性1名、40代女性1名、30代女性2名=5名受講

・講座の流れは、1月から開講し、平日はオンライン、土日は対面で実施した。オンライン対応のため、本島北部や中部などの遠方からの参加もあった

・カウンセリングも一人1時間実施した(幸喜委員対応)

・就業体験(インターンシップ)は2名で4施設参加した

[アンケート\_施設(介護7施設・保育4施設)

※就業体験(インターンシップ)参加施設]

・介護・保育は人材不足もあり就業体験参加を希望する施設は多くいた

・就業体験が1DAYだと短いとの要望があった

・就職に繋がらなかった企業と繋がった企業があった

・今後の受け入れもぜひ参加したいという施設が多かった

・今後は、現状の社員にも勉強会を開催して欲しいと要望があった

・保育に関しては、復職者の採用も検討するキッカケになった

[課題]

・受講生の参加が少ない(広告、広報の手段や戦略)

◇報告を受けて意見徴収

カリキュラム内容・アンケート内容について

岡委員

・福祉リカレント短期講座の就業体験参加の1施設を見学した。受講生は明るく楽しそうだった。受講生は多くの人に体験して欲しいと思うが、コスト面が気になる(自走する際)、無資格の採用の育成に今後は1年目、2年目、3年目とステップアップしていきたい。広報面も前もって実施していくことを行政と連携できるようにしたほうが良い

上地委員

・保育オンライン講座は満足度が高いのは今後、役立てると感じた。西原町も保育人材不足なので、潜在保育士へのアプローチを検討していかないといけない

新崎委員

・就業体験(インターンシップ)の内容は良いと思う。施設側と学校側の内容をより深めて受講生一人ひとりの個別にあった就業体験ができることより良い事業になると思う

渡口委員

・福祉業界においては人手不足。求職者を探すのは難しい。就業体験(インターンシップ)の中身をブラッシュアップした方が良い。行政として手伝えることは(広報など)は協力していきたい。

山下委員

・受講生をもっと増やしていきたい。広報はLINEなどを使うのも効果的だ。また、潜在介護士へのアプローチを考えて確保していきたい。行政として協力しブラッシュアップしていきたいと考えている

	<p>伊佐委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・潜在保育士のアプローチ、給与面が改善したことへのアプローチ。カウンセリングで得た情報や結果を活かすのは良いと感じた。今回の事業で色々な課題を抽出することができたので、人材不足解消にむけて色々な取り組みをしていきたい。</li> </ul> <p>小林委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リカレントだけではなく、社会情勢日本の生活保護受給者の生きにくさも考えないといけない。手厚い体制などを整えて受給者の方とかをもっと支援していった方が良いと思う。また、広告や工法で集めた人材に対して、適性検査等を実施してみるのも良いと思う。広告に関しては、プロセス→認知→要求→行動となるパターンであり、これを活かし今回の広告展開を分析しながらブラッシュアップしたほうが良い。</li> </ul> <p>原田委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎県では介護の魅力を伝えるため「ICHIGO KAIGO」の冊子を作成した。今の介護業界は求人票の見せ方ばかりに注力している、学生に対して介護の魅力を伝える学校は少ないイメージ(福祉職はネティブなイメージを植え付けているような感じがする)また、介護の大変さや苦痛を伝えがちなので、社会人にももっと楽しいイメージを伝えるべき。今回の事業取組は福祉業界の魅力に繋がる良い取り組みであると思う。受講生を多く増やし人材不足解消に繋げてほしい</li> </ul> <p>喜屋武委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育リカレント短期講座のインターンシップ先の受入意見として2時間は少ないと感じた。引き受けてみて色々な気づきがあったので参考になった。得るものはたくさんあった。保育士の給与面も変えていきたい。今回のリカレント短期講座は学びが増えたので今後役立つと思った。</li> </ul> <p>新良委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護のリカレント講座を講義して、会話を中心とした講座にしてコミュニケーションを取り合える講座にした。心と身体のバランスの大切さも伝えた。批判する時は様々な背景があるので、簡単に人を批判したりするのは良くない。利用者さんに腹が立ったときは、利用者さんの隣に家族がいると思って接するように伝えている。介護支援を広い視野で伝えた。</li> </ul> <p>諸見里委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は、就職氷河期世代の仮説を立て、福祉人材リスタート教育事業を実践した。様々な意見をブラッシュアップしていくことで今回の事業ができた。</li> </ul>
<p>決定事項</p>	

令和 4 年度 文部科学省  
専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト  
**【福祉人材リスタート教育事業 成果報告書】**

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、学校法人大庭学園 沖縄福祉保育専門学校が実施した 令和 4 年度「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」の成果をとりまとめたものです。

発行日:令和 5 年 2 月

発行者:学校法人大庭学園 沖縄福祉保育専門学校

〒900-0033 沖縄県那覇市久米 1-5-17

TEL 098 (988) 0238 FAX 098 (988) 0239